



インフュージョン

クラウド/SaaS 在庫管理システム

「在庫スイートクラウド 棚卸」

本体マニュアル

改訂履歴

版数	発行日	改訂履歴
		改定時対応アプリケーション・資料
第 2.0 版	2016 年 01 月 25 日	初版
第 2.1 版	2016 年 03 月 16 日	・品名 1・2、摘要、備考の' (シングルクォーテーション) 対応 ・ポップアップ画面 (品目台帳情報) への対応
		本アプリケーションバージョン Ver 1.92 ファイルフォーマット資料 1.5 版
第 2.2 版	2016 年 04 月 27 日	・ユーザーによるパスワード再設定機能 ・品目台帳表示ポップアップの画像クリックによる画像ポップアップ対応
		本アプリケーションバージョン Ver 2.00 ファイルフォーマット資料 1.5 版
第 2.3 版	2016 年 10 月 06 日	・Windows10 に対応 ・インポート/エクスポート 10 万件に対応
		本アプリケーションバージョン Ver 2.10 ファイルフォーマット資料 1.5 版
第 2.4 版	2017 年 01 月 11 日	・在庫参照 品目名 AND・OR 検索対応 ・サムネイル画像サイズ可変対応
		本アプリケーションバージョン Ver 2.30 ファイルフォーマット資料 1.5 版
第 2.5 版	2017 年 06 月 07 日	・IP アドレス制限対応
		本アプリケーションバージョン Ver 2.40 ファイルフォーマット資料 1.7 版
第 2.6 版	2017 年 09 月 20 日	・動作環境から WindowsVista を対象外に
		本アプリケーションバージョン Ver 2.42 ファイルフォーマット資料 1.8 版
第 2.7 版	2017 年 11 月 15 日	・現品票ラベルプリンター対応 ・棚卸 実棚入力対応
		本アプリケーションバージョン Ver 2.43 ファイルフォーマット資料 1.9 版
第 2.8 版	2017 年 12 月 13 日	・注意付き現品票ラベル発行対応 ・独自バーコード対応 ・QR コード現品票の利用有無設定に対応(システム設定) ・動作環境に QR コード印刷時の DPI 設定の注意点を追加。
		本アプリケーションバージョン Ver 2.50 ファイルフォーマット資料 1.9 版

第 2.9 版	2018 年 02 月 21 日	・品目台帳 GS1→EAN/JAN 抽出 ・検索時の文字の区別について追記
		本アプリケーションバージョン Ver 2.60 ファイルフォーマット資料 2.0 版
第 3.0 版	2018 年 11 月 20 日	・システム設定 システム運用タブ内の設定名称変更と移動 項目の表示・入力→使用項目 流通バーコード→品目バーコード読み取り 検索項目 (システム運用タブから入力タブへ移動) ・システム設定 モバイル(拡張)タブの追加
		本アプリケーションバージョン Ver 2.64 ファイルフォーマット資料 2.0 版
第 3.1 版	2019 年 03 月 13 日	・動作環境 Windows DPI スケーリング設定変更 ・ユーザー権限『仕入先権限』追加 ・在庫管理の基本 棚卸を改訂 ・JAN(bowl)と ITF 専用項目追加
		本アプリケーションバージョン Ver 2.70 ファイルフォーマット資料 2.1 版
第 3.2 版	2019 年 06 月 26 日	・ログイン用バーコードラベルの帳票種別・レイアウト名変更 ・ユーザーの複数所属倉庫対応
		本アプリケーションバージョン Ver 2.80 ファイルフォーマット資料 2.2 版
第 3.3 版	2020 年 02 月 19 日	・ロット・ロケーションの指定なし検索に対応(在庫参照/棚卸)
		本アプリケーションバージョン Ver 2.93 ファイルフォーマット資料 2.2 版
第 3.4 版	2020 年 04 月 15 日	・画像ストレージオプション対応 ・品目台帳 略称の説明の改訂 ・ガイドメニューが「履歴・その他」に変更
		本アプリケーションバージョン Ver 3.00 ファイルフォーマット資料 2.4 版
第 3.6 版	2020 年 06 月 03 日	・PC 入力での GS1 対応廃止 ・専用検索項目のシステム設定タブを変更&UPC・GS1 対応追加
		本アプリケーションバージョン Ver 3.03 ファイルフォーマット資料 2.5 版
第 3.7 版	2020 年 09 月 16 日	・棚卸モバイル入力履歴対応 ・棚卸外部データ比較対応 ・在庫状態拡張対応 ・日付形式への整形対応 ・UPC-A 読み取り先頭 0 付加対応

		<ul style="list-style-type: none"> ・動作環境の Windows7 削除 ・権限に関する記載ミス修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.10 ファイルフォーマット資料 2.6 版
第 3.8 版	2020 年 10 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷日自動入力対応 ・品目コードのバーコード出力対応 ・棚卸外部データ比較に関する補足説明の追加 ・2 行目からのインポート方法に関する説明の追加 ・「第 4 章 在庫管理の基本」の説明の一部修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.12 ファイルフォーマット資料 2.7 版
第 3.9 版	2021 年 01 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・現品票機能強化 ・使用期限管理対応 ・一覧表示最大件数拡張 ・帳票「品目コード一覧表 (旧)」廃止 ・その他不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.20 ファイルフォーマット資料 2.8 版
第 4.0 版	2021 年 02 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ・注意メッセージ対応
		本アプリケーションバージョン Ver 3.22 ファイルフォーマット資料 2.9 版
第 4.1 版	2021 年 03 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ・不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.25 ファイルフォーマット資料 3.0 版
第 4.2 版	2021 年 04 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・動作環境 ネットワークの説明更新 ・品目別のロット入力設定対応 ・品目別のトレース情報入力対応
		本アプリケーションバージョン Ver 3.26 ファイルフォーマット資料 3.1 版
第 4.3 版	2021 年 06 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ログイン時のアプリバージョンチェック対応 ・品目台帳エクスポートの項目行出力対応
		本アプリケーションバージョン Ver 3.33 ファイルフォーマット資料 3.3 版
第 4.4 版	2021 年 9 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・在庫参照(品目別)発注点割れの機能改善 ・バックアップ名の最大文字数の修正 ・その他不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.40 ファイルフォーマット資料 3.4 版

第 4.5 版	2021 年 11 月 10 日	・品目入力についての説明を追加
		本アプリケーションバージョン Ver 3.41 ファイルフォーマット資料 3.4 版
第 4.6 版	2021 年 12 月 15 日	・エクスポートの項目行出力対応
		本アプリケーションバージョン Ver 3.42 ファイルフォーマット資料 3.5 版
第 4.7 版	2022 年 03 月 02 日	・HT のオープン化対応 ・品目入力強化対応 ・Windows11 対応 ・その他不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.50 ファイルフォーマット資料 3.5 版
第 4.8 版	2022 年 04 月 26 日	・使用期限管理の削除 ・その他不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.51 ファイルフォーマット資料 3.5 版
第 4.9 版	2022 年 08 月 03 日	・倉庫間入出荷機能強化 ・MD 自動ログアウト時間制御対応 ・各一覧画面のソート順を記載
		本アプリケーションバージョン Ver 3.54 ファイルフォーマット資料 3.6 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.1 版
第 5.0 版	2022 年 09 月 21 日	・QR コード現品票の入数印字対応
		本アプリケーションバージョン Ver 3.55 ファイルフォーマット資料 3.6 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.1 版
第 5.1 版	2022 年 12 月 13 日	・不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.56 ファイルフォーマット資料 3.6 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版
第 5.2 版	2023 年 06 月 14 日	・使用期限の末日自動付加対応 ・その他不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.58 ファイルフォーマット資料 3.6 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版
第 5.3 版	2023 年 07 月 19 日	・GTIN-14 インジケータ違いの検索対応 ・アクセスログ画面の表示項目に「処理時間」を追加

		本アプリケーションバージョン Ver 3.59 ファイルフォーマット資料 3.6 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版
第 5.4 版	2023 年 09 月 20 日	・説明を補足、不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.59 ファイルフォーマット資料 3.6 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版
第 5.5 版	2024 年 02 月 07 日	・独自バーコード強化対応
		本アプリケーションバージョン Ver 3.62 ファイルフォーマット資料 3.6 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版

はじめに

この度は、「在庫スイートクラウド 棚卸」をご利用いただきありがとうございます。
本書は、「在庫スイートクラウド 棚卸」の使用方法について説明しています。ご使用になる前に本書ならびに関連マニュアルをご覧ください、十分に理解した上でご使用ください。
本サービスの利用については、予め約款に同意いただくことを条件とします。

本文中の表記について

本文中では次のような表記を使っています。

- **在庫スイートクラウド**
在庫スイートクラウド 棚卸を指します。
特に機能に関する記述の際に用います。
- **本サービス**
在庫スイートクラウド 棚卸を指します。
特にサービスに関する記述の際に用います。
- **本アプリケーション**
本サービスを利用するため各 PC に配布・インストールされるアプリケーションを指します。
- **オンラインサポート**
本サービスを快適にご利用いただくためのサポート情報を提供しているサイトです。
(URL) <http://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/index.htm>
- **PC**
クライアントアプリが配布・インストールされたパーソナルコンピュータです。
- **バーコードスキャナー**
バーコードを読み取るリーダーで、PC と USB ケーブルや Bluetooth などと接続します。読み取ったバーコードデータは、PC ではキーボードで入力したものと同様に扱われます。
- **アカウント**
Windows の（ユーザー）アカウントを指します。
- **在庫スイートクラウド ユーザーアカウント**
本サービスにログインする為のアカウントを指します。
- **社内品番**
基幹システム（上位システム）における品目を特定するキーコードを指します。
- **モバイル機器**
無線ハンディターミナルなど、モバイルオプションまたはマルチデバイスオプションを利用する機器を指します。

本書の表記規則

- 「在庫スイートクラウド」の専門用語は初出箇所では『 』で囲み、それ以降は『 』なしで表記します。
- メニューバーやダイアログボックスの項目名、ボタンなど、画面上の語句は [] で囲みます。
- メニューコマンドはメニューバーの [メニュー名] → [サブメニュー名] という形で表記します。
- ユーザーが入力する文字列、数値は「 」で囲みます。
- コンボボックス（プルダウンメニュー）からユーザーが選択する選択肢も「 」で囲みます。
- 複数のキーを押しながら行うキーボードショートカットでは “ALT + W” のように、「 + 」で表記します。
- ファイル名やフォルダ名は “setup.msi” のように “ ” で囲みます。
また、ファイル名は拡張子を含めた形式で表記します。Windows の設定によってはエクスプローラ等の画面上で拡張子が表示されない場合がありますのでご注意ください。

目次

第1章 概要	17
1-1 サービス内容・動作環境	18
1-2 主要スペック	19
[1] 標準項目	19
[2] 文字の区別について	20
[3] 半角カナの扱いについて	20
1-3 機能一覧	21
1-4 帳票一覧	22
1-5 インポート/エクスポートファイル一覧	24
1-6 「在庫スイートクラウド」と「オプション」の構成	25
第2章 使ってみよう	26
2-1 インストール	27
2-2 起動とログイン	30
2-3 各機能の呼び出し方	31
2-4 システム設定	33
2-5 台帳登録	34
2-6 困ったときは	35
[1] まずはオンラインサイト	35
[2] 弊社へのお問合せにつきまして	35
第3章 基本操作の確認	36
3-1 画面の基本構成	37
[1] 3部構成の画面	37
[2] 2部構成の画面	38
3-2 棚卸画面の基本操作	39

[1] 棚卸画面の 3 つのモード	39
[2] 新規呼び出し時の棚卸番号と棚卸日付	40
[3] 棚卸の開始	40
[4] 棚卸画面を閉じる	40
[5] 棚卸の中止	40
[6] 棚卸の確定	41
3 - 3 伝票形式の基本操作	42
[1] 品目入力	42
[2] 日付のカレンダー入力について	43
[3] ロット 1 ・ 2 日付形式への整形	44
[4] F4 キーによる入力補助画面呼び出し	46
[5] F3 キーによる明細入力補助	47
[6] バーコードスキャナーによる入力	48
[7] バーコードスキャナーによる品目入力	49
[8] 品目入力の判定順	51
[9] 印刷	52
3 - 4 一覧形式の基本操作	53
[1] 一覧の呼び出し方	53
[2] 表示の更新	55
[3] 検索条件の変更	55
[4] 明細行の指定と参照	55
[5] 明細行の並べ替え	55
[6] インポート	55
[7] エクスポート	56
3 - 5 台帳の基本操作	57
[1] 台帳の呼び出し方	57
[2] 台帳一覧画面の機能について	58
[3] 台帳一覧画面のラベル印刷と標準ラベル仕様	60
[4] 台帳一覧画面の F4 キーによる入力補助画面呼び出し	61

[5] 台帳画面について.....	61
[6] 台帳の参照・修正.....	63
[7] 台帳の削除.....	64
[8] 台帳の一括削除.....	65
3-6 件数が多い場合の操作.....	67
[1] 最大表示件数.....	67
[2] インポートファイルの最大件数.....	68
[3] エクスポートと帳票の最大件数.....	68

第4章 在庫管理の基本 **69**

4-1 在庫スイートクラウドの管理項目.....	70
[1] 在庫管理項目.....	70
[2] モノに関する管理項目.....	71
[3] 保管場所に関する管理項目.....	75
[4] ロットやロケーションの「なし」について.....	76
4-2 自社に合わせたシステム設定.....	77
4-3 スマートフォンやハンディターミナルごとの設定.....	78
[1] 2つのバーコード取込方式とバーコード種による検索項目の指定.....	78
[2] デバイスのモデル名称による個別設定.....	80
4-4 倉庫と倉庫ごとの入力項目.....	81
[1] 倉庫台帳について.....	81
[2] 全倉庫共通の入力項目設定.....	81
[3] 倉庫ごとの入力項目設定.....	82
4-5 棚卸.....	83
[1] 棚卸の流れ.....	83
[2] 論理現品数と前回棚卸との比較.....	84
[3] 外部システムの在庫データとの比較.....	85
[4] 棚卸開始ユーザーとPC棚卸数.....	86

[5] すべてのユーザーとモバイル棚卸数	86
[6] モバイル棚卸数（詳細）	87
[7] 棚卸メイン画面での比較の流れ	87
[8] 棚卸外部データ比較の流れ	88
[9] 棚卸日付について.....	89
4-6 在庫参照と在庫数について	90
[1] 在庫参照画面で確認可能な情報	90
[2] 品目別の現品数と出荷可能数の算出方法	90
4-7 ユーザー台帳と権限.....	91
[1] ユーザーの登録.....	91
[2] 権限と実行可能な機能	91
[3] システム管理者権限ユーザーの削除について	92
[4] 仕入先担当者権限について.....	93
[5] ユーザー権限設定のポイント.....	94
4-8 品目を特定するバーコードとその設定	95
[1] 標準検索項目と専用検索項目	95
[2] 品目台帳への JAN の設定項目.....	98
[3] 専用検索項目へのデータ設定	99
[4] GS1 アプリケーション識別子への対応.....	99
[5] 本アプリで発行する品目バーコード	100
4-9 現品票	101
[1] 現品票とは	101
[2] 現品票の発行方法.....	103
[3] シリアル現品票	106
4-10 独自バーコード	107
[1] 独自バーコードとは	107
[2] 対応項目	107
[3] データ加工	108
4-11 荷姿管理と入数	109
[1] 荷姿管理と品目台帳.....	109

[2] 荷姿の変更	109
4-12 画像表示と設定	110
[1] 表示できる画像数と表示領域	110
[2] リンク画像	111
[3] ストレージ画像	112
[4] 画像へのリンク	113
[5] サムネイル画像とポップアップ画面	114
4-13 使用期限管理	117
[1] 使用期限とは	117
[2] 使用期限の前提条件・判定条件	117
[3] 使用期限に関する設定	118
[4] 在庫参照と出荷期限切れ在庫	119
4-14 注意メッセージ	120
[1] 注意メッセージとは	120
[2] 2種類のメッセージと印字・表示箇所	120
[3] メッセージ印字サンプル	121
[4] メッセージ表示サンプル	121
第5章 日常操作 _____	122
5-1 在庫参照	123
[1] 在庫参照画面	123
[2] 絞込条件指定画面	125
5-2 ストレージ画像メンテナンス	128
[1] ストレージ画像メンテナンス画面	128
第6章 運用管理のための操作 _____	129
6-1 棚卸	130
[1] 棚卸と状態	130
[2] 絞込条件指定画面	133
[3] 行追加	134
[4] 実棚入力	135

[5] モバイル棚卸数（詳細）	137
[6] 棚卸外部データ項目指定	139
[7] 棚卸外部データ比較	140
[8] 棚卸一覧.....	142
6-2 品目台帳	144
[1] 品目台帳画面.....	144
[2] 品目台帳一覧画面.....	147
6-3 品目分類台帳	148
[1] 品目分類台帳画面.....	148
[2] 品目分類台帳一覧画面	149
6-4 倉庫台帳	150
[1] 倉庫台帳画面.....	150
[2] 倉庫台帳一覧画面.....	151
6-5 ゾーン台帳.....	152
[1] ゾーン台帳画面	152
[2] ゾーン台帳一覧画面	153
6-6 ロケーション台帳	154
[1] ロケーション台帳画面	154
[2] ロケーション台帳一覧画面	155
6-7 ユーザー台帳	156
[1] ユーザー台帳画面.....	156
[2] 複数倉庫選択画面.....	158
[3] ユーザー台帳一覧画面	159
6-8 休止・再開設定.....	160
[1] 設定画面.....	160
[2] 休止時のログインと設定画面	160
6-9 データベースのメンテナンス	161
[1] バックアップ.....	161
[2] リストア.....	162

[3] 初期化	162
[4] データ整理	163
6-10 運用状況確認.....	164
6-11 クライアントログ保存	165
6-12 アクセスログ.....	166
第7章 システム設定・ユーザー別設定 _____	167
7-1 システム設定	168
[1] 自社情報.....	169
[2] システム運用.....	170
[3] 項目名	172
[4] 表示.....	174
[5] 入力.....	175
[6] 帳票.....	176
[7] モバイル設定（オプション）	177
[8] モバイル（拡張）（オプション）	179
[9] 権限.....	182
7-2 その他管理者設定	183
[1] IP アドレス制限設定.....	183
7-3 ユーザー別設定.....	184
[1] 最大表示件数.....	184
[2] パスワード再設定.....	185

第1章 概要

1 – 1 サービス内容・動作環境

■ サービス内容

	在庫スイートクラウド
システム提供時間	24 時間 365 日 *1
ヘルプデスク提供時間	当社営業日 9:00-12:00 13:00-17:30
データセンター	Microsoft Azure 日本データセンター *2
データベース容量	1GByte (標準) *3
セキュリティ	SSL/TLS 256bit
アクセスログ保存期間	1 年間

- *1. 保守の為に中断する場合があります。
- *2. サーバーの冗長化とデータ保護、サーバー監視と障害対応は Microsoft Azure に依存
- *3. オプションで 5GByte へ変更可

■ 動作環境

		在庫スイートクラウド
ウ ソ エ フ ア ト	OS	Windows 8/8.1 Windows 10 (*1) Windows 11
	その他	Microsoft Edge(最新版を推奨) (*2)
ハ ー ド ウ エ ア	CPU	x86/x64 プロセッサ: 1.0 GHz 以上
	メモリー	32bit : 1.0GB 以上 64bit : 2.0GB 以上
	HDD	100MB 以上
	ディスプレイ	上記動作 OS に対応したディスプレイ (*3) XGA(1024×768)以上 (*4)
ワ ネ ー ツ ク ト	常時接続可能なインターネット回線 (1.5Mbps 以上の回線を推奨) HTTPS(ポート 443)による、インターネット経由での弊社クラウドアプリケーションサーバーへのアクセスが可能なこと	

- *1. Windows10 ではデスクトップモードでの使用のみサポート。
- *2. 初回インストール時のみ使用します。
- *3. 画面の DPI スケーリング設定は、100%・125%・150%・175%・200% のいずれかでご使用ください。(通常は OS の既定でいずれかに設定されています。)
- *4. 解像度が XGA 以上であっても、上記 DPI スケーリングとの組合せにより画面内に表示が収まらないことがあります。

1 - 2 主要スペック

[1] 標準項目

本サービスで扱う各項目の主要スペックは以下の通りとなっています。

項目	文字種	最大桁数	備考
Keyコード	半角*1	32桁	
品目コード	半角*2	50桁	
品目名1・2	全角・半角とも	500桁	
略称(品目)	全角・半角とも	60桁	
品目分類コード	半角*1	4桁	
品目分類名	全角・半角*3とも	30桁	
入数	整数+小数	6桁(整数) 4桁+3桁(小数)	システム設定で数量小数 点設定時も整数6桁
箱数	整数	5桁	
数量	整数+小数	9桁+3桁	システム設定で小数桁数 選択可
単位	全角・半角*3とも	8桁	
金額(単価・標準原単価)	整数+小数	14桁 + 2桁	
品目台帳 予備項目	全角・半角*3とも	1000桁	
画像URL、画像リンクURL	全角・半角*3とも	1000桁	
倉庫コード	半角*4	6桁	
倉庫名	全角・半角*3とも	20桁	
ゾーンコード	半角*1	2桁	
ゾーン名	全角・半角*3とも	20桁	
ロケーションコード	半角*1	17桁	
ユーザーID	英数字・記号*5	20桁	
パスワード	半角*3	20桁	
ユーザー名前	全角・半角*3とも	30桁	
ロット1・2	全角・半角*3とも	40桁	
摘要(伝票ヘッダ)	全角・半角とも	500桁	
備考(伝票明細)	全角・半角とも	500桁	
伝票番号	数字	12桁	システム自動付番
電話番号 FAX番号	全角・半角*6とも	[全]20桁	
棚卸日付	半角	10桁	YYYY/MM/DD

- *1・・・先頭及び末尾のスペース、及び「|」(シングルクォーテーション)のみ入力不可です。先頭及び末尾のスペースは削除して入力されます。
- *2・・・末尾のスペース、及び「|」(シングルクォーテーション)のみ入力不可です。末尾のスペースは削除して入力されます。
- *3・・・「|」(シングルクォーテーション)のみ入力不可です。

第1章 概要

- *4…先頭及び末尾のスペース、および「'」(シングルクォーテーション)、「/」(スラッシュ)のみ入力不可です。
先頭及び末尾のスペースは削除して入力されます。
- *5…数字(0~9)、英字(大文字/小文字は区別されません)、「-」「_」「.」が入力可能です。
- *6…「'」(シングルクォーテーション)および改行文字は入力不可です。
- *1~6…全項目共通で制御文字は入力不可です。

[2] 文字の区別について

検索や在庫更新などのデータを比較時、
アルファベットは大文字・小文字、全角・半角を区別しません。
数字とカナは、全角・半角を区別しません。
また、ひらがなとカタカナも区別しません。

[3] 半角カナの扱いについて

Key コードやロケーションコードなどバーコード発行可能な項目で半角カナを使用した場合、そのデータについてはバーコードを発行できません。
QR コードは発行可能ですが、iOS 及び Android アプリでは読み取ることができませんのでご注意ください。
(Android(BHT)アプリ搭載の BHT-1700/1800 では、ロケーション QR コードのみ読み取り可能です)

1-3 機能一覧

本サービスの機能一覧です。

権限管理	ログイン認証
棚卸	棚卸（一斉棚卸）、モバイル棚卸数（詳細）、棚卸外部データ比較
在庫参照	在庫参照 品目別
	在庫参照 詳細
現品票	現品票発行（バーコード／QRコードラベル）
その他	ストレージ画像メンテナンス（オプション）
台帳管理	品目台帳
	品目分類台帳
	倉庫台帳
	ゾーン台帳
	ロケーション台帳
	ユーザー台帳
ツール	システム設定／ユーザー別設定
	休止・再開設定／IP アドレス制限設定
	データバックアップ／リストア／データ整理
	運用状況確認／クライアントログ保存／アクセスログ

1-4 帳票一覧

本サービスの帳票一覧です。該当画面より発行します。

No.	帳票種別	レイアウト
1	在庫一覧 (品目別)	在庫一覧 (全体・品目別)
2		在庫一覧 (倉庫別・品目別)
3	在庫一覧 (詳細)	在庫一覧 (詳細)
4	棚卸表	棚卸表
5		棚卸準備表
6		棚卸差異表
7	棚卸表 (品目別)	棚卸表 (品目別)
8		棚卸差異表 (品目別)
9	品目一覧	品目一覧表
10		品目バーコード一覧表
11	品目バーコードラベル	品目バーコードラベル 24 面 (枠線あり)
12		品目バーコードラベル 24 面 (枠線なし)
13		品目バーコードラベル 44 面 (枠線あり)
14		品目バーコードラベル 44 面 (枠線なし)
15	品目分類一覧	品目分類一覧表
16	倉庫一覧	倉庫一覧表
17		倉庫 QR コード一覧表
18	ゾーン一覧	ゾーン一覧表
19	ロケーション一覧	ロケーション一覧表
20		ロケーションバーコード一覧表
21		ロケーション QR コード一覧表
22	ロケーションバーコードラベル	ロケーションバーコードラベル 24 面 (枠線あり)
23		ロケーションバーコードラベル 24 面 (枠線なし)
24		ロケーションバーコードラベル 44 面 (枠線あり)
25		ロケーションバーコードラベル 44 面 (枠線なし)
26		ロケーション QR コードラベル (枠線あり)
27		ロケーション QR コードラベル (枠線なし)
28	ロケーションロングレンジ用ラベル	ロケーション QR コードラベル (枠線あり)
29		ロケーション QR コードラベル (枠線なし)
30	ユーザー一覧	ユーザー一覧表
31		メモリ HT 用 ID バーコード一覧表 *1
32		メモリ HT 用 ID QR コード一覧表 *1
33	ログイン用バーコードラベル	バーコードログインラベル 24 面 (枠線あり)
34		バーコードログインラベル 24 面 (枠線なし)
35		バーコードログインラベル 44 面 (枠線あり)
36		バーコードログインラベル 44 面 (枠線なし)
37	ログイン用 QR コードラベル	QR コードログインラベル 24 面 (枠線あり)
38		QR コードログインラベル 24 面 (枠線なし)
39		QR コードログインラベル 44 面 (枠線あり)
40		QR コードログインラベル 44 面 (枠線なし)

第1章 概要

41	QRコード現品票ラベル	QRコード現品票 10面 (枠線あり)
42		QRコード現品票 10面 (枠線なし)
43		QRコード現品票 24面 (枠線あり)
44		QRコード現品票 24面 (枠線なし)
45		QRコード現品票 44面 (枠線あり)
46		QRコード現品票 44面 (枠線なし)
47	QRコード現品票ラベル (ロングレンジ用)	QRコード現品票 4面 (枠線あり)
48		QRコード現品票 4面 (枠線なし)
49	QRコード現品票ラベル (ラベルプリンター)	QRコード現品票ラベル 52×29mm
50		QRコード現品票ラベル 62×29mm
51		注意付き QRコード現品票ラベル 62mm
52	バーコード現品票ラベル	バーコード現品票 10面 (枠線あり)
53		バーコード現品票 10面 (枠線なし)
54		バーコード現品票 24面 (枠線あり)
55		バーコード現品票 24面 (枠線なし)
56		バーコード現品票 44面 (枠線あり)
57		バーコード現品票 44面 (枠線なし)
58	バーコード現品票ラベル (ラベルプリンター)	バーコード現品票ラベル 52×29mm
59		バーコード現品票ラベル 62×29mm
60		注意付きバーコード現品票ラベル 62mm
61	シリアルバーコード現品票ラベル	シリアルバーコード現品票 10面 (枠線あり)
62		シリアルバーコード現品票 10面 (枠線なし)
63		シリアルバーコード現品票 24面 (枠線あり)
64		シリアルバーコード現品票 24面 (枠線なし)
65		シリアルバーコード現品票 44面 (枠線あり)
66		シリアルバーコード現品票 44面 (枠線なし)
67	シリアル QRコード現品票ラベル	シリアル QRコード現品票 10面 (枠線あり)
68		シリアル QRコード現品票 10面 (枠線なし)
69		シリアル QRコード現品票 24面 (枠線あり)
70		シリアル QRコード現品票 24面 (枠線なし)
71		シリアル QRコード現品票 44面 (枠線あり)
72		シリアル QRコード現品票 44面 (枠線なし)
73	シリアルバーコード現品票ラベル (ラベルプリンター)	シリアルバーコード現品票ラベル 52×29mm
74		シリアルバーコード現品票ラベル 62×29mm
75	シリアル QRコード現品票ラベル (ラベルプリンター)	シリアル QRコード現品票ラベル 52×29mm
76		シリアル QRコード現品票ラベル 62×29mm

*1・・・メモリ HT 用の帳票は、メモリ HT オプションにご加入の場合のみ印刷可能です。

1-5 インポート/エクスポートファイル一覧

本サービスのファイル一覧です。該当画面よりインポートまたはエクスポートを実行します。

No.	機能	種別	インポート	エクスポート
1	現品票発行	枚数繰り返し形式	-	○
2		枚数項目付加形式	○	○
3	棚卸	棚卸 品目別	-	○
4		棚卸 詳細	○	○
5		モバイル棚卸入力履歴*1	-	○
6		棚卸外部データ比較	-	○
7	在庫参照	在庫参照 品目別	-	○
8		在庫参照 詳細	-	○
9	台帳	品目台帳	○	○
10		分類台帳	○	○
11		倉庫台帳	-	○
12		ゾーン台帳	○	○
13		ロケーション台帳	○	○
14		ユーザー台帳	○	○

*1・・・マルチデバイスオプションに加入またはシステム設定で「実棚入力を使用する」が有効な場合のみエクスポート可能です。

1-6 「在庫スイートクラウド」と「オプション」の構成

「在庫スイートクラウド」の構成を示します。



インターネットに接続された機器でご利用頂けます。

詳しくは、在庫スイートクラウドと、モバイルオプションまたはマルチデバイスオプションの動作環境をご確認ください。

第2章 使ってみよう

本章では、在庫スイートクラウドの基本的な操作について簡単に説明します。

2-1 インストール

お使いの PC で本サービスを初めて利用する場合は、ブラウザ経由でインストールを行います。

①インストールページでボタンをクリック

ブラウザ（Microsoft Edge ※最新版を推奨）で在庫スイートクラウドサポートサイトのインストールページにアクセスし、[インストール開始] ボタンをクリックします。

在庫スイートクラウド インストールページ

PC Android iOS BHT-1700/1800

株式会社インフュージョンが提供するクラウド/SaaS 在庫管理システム「在庫スイートクラウド」のクライアントアプリインストールページです。

製品名 在庫スイートクラウド Pro/Lite/棚卸 (共通)

インストール開始

※左クリックでインストールが始まります(右クリック禁止)
※バージョンは[こちら](#)を参照

【Windows Defender SmartScreenへの対応】
SmartScreenへの対応については[こちら](#)をご覧ください。

【ウイルスバスターをご利用のお客様へ】
インストール時に警告が表示される場合は[こちら](#)をご覧ください。

【その他インストールが上手く出来ない場合】
[こちら](#)をご覧ください。

②インストール確認

確認画面が表示されますので、[OK] をクリックします。

アプリケーションのインストール - セキュリティの警告

このアプリケーションをインストールしますか?

名前(N):
在庫スイートクラウド

発信元 (下の文字列の上にマウスポインターを置くと、完全なドメインが表示されます):
zaikosapp.blob.core.windows.net

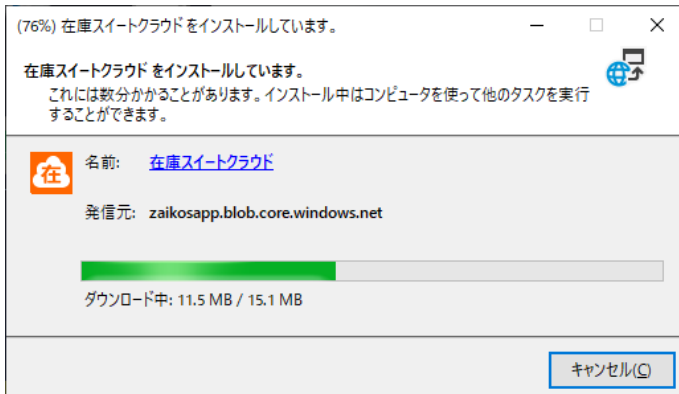
公開元(P):
Infusion Inc.

インストール(I) インストールしない(N)

インターネットからのアプリケーションは便利ですが、コンピューターに危害を及ぼす可能性があります。ソフトウェアの発行元を信頼できない場合、このソフトウェアをインストールしないでください。詳細情報...

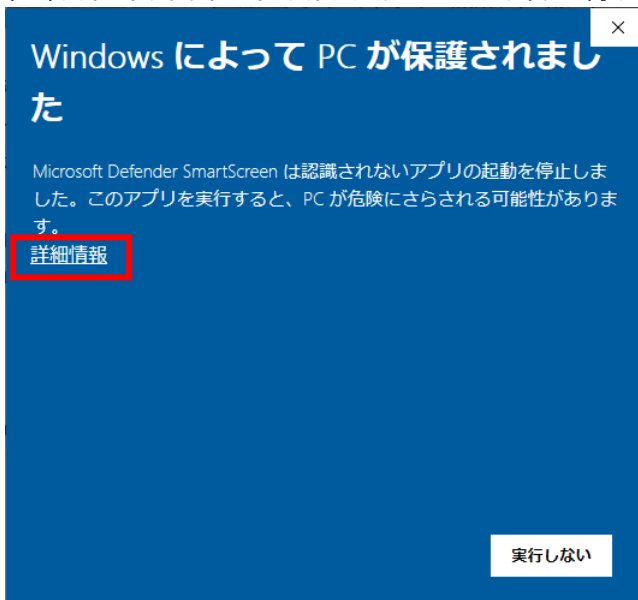
第2章 使ってみよう

ダウンロード中は以下の画面が表示されます。



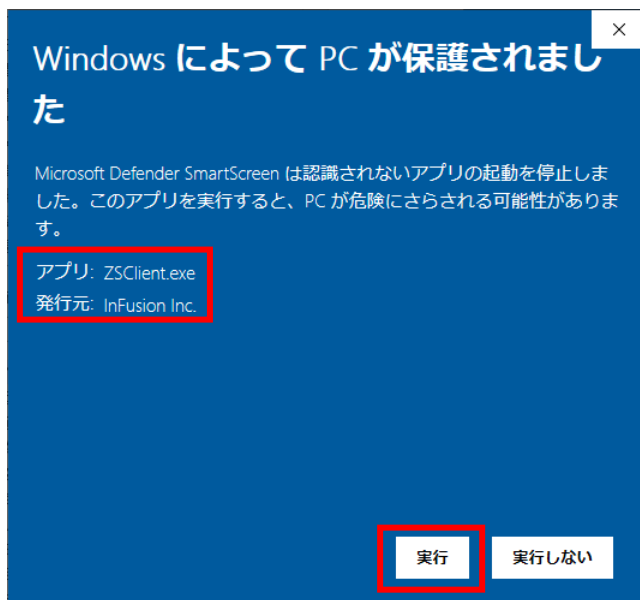
※ Windows 8/8.1/10 では、安全性を確認されていないソフトを容易に起動できないようにする「Windows Defender SmartScreen」機能があります。

在庫スイートクラウドのインストールやバージョンアップの際、本機能がブロックしてしまうことがあります。



この画面が表示された場合、帯の中にある「詳細情報」をクリックします。

アプリと発行元が表示されますので確認後、[実行]ボタンを押すことで普通に起動できます。



第2章 使ってみよう

③起動

ダウンロード後はインストール・起動まで自動的に進みます。

在庫スイートクラウド

在庫スイートクラウド Ver.3.24

グループID 保存

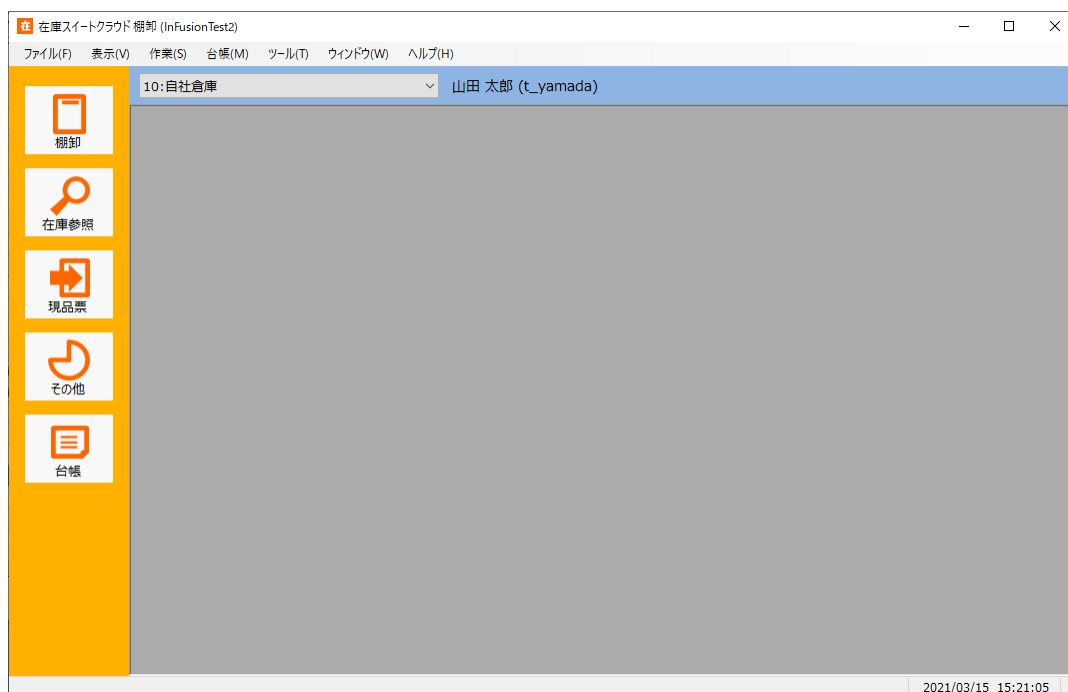
ユーザー 保存

パスワード

ヒント！

[ユーザー] = ユーザーID です。

[グループ ID] [ユーザー] [パスワード] を入力し [ログイン] ボタンをクリックしてください。ログインに成功すると、メイン画面が表示されます。



2-2 起動とログイン

インストール完了後、次回からはデスクトップアイコンのダブルクリックなど、一般的な Windows プログラムと同じ方法で起動できます。

その際、サーバーとバージョン確認を行い、更新されていれば自動アップデートします。

起動後、ログイン画面が表示されます。

【グループ ID】 【ユーザー】 【パスワード】 を入力し 【ログイン】 ボタンをクリックしてください。ログインに成功すると、メイン画面が表示されます。

グループ ID とユーザーは大文字・小文字の区別はしません。

パスワードは大文字・小文字の区別をします。

グループ ID とユーザーは【保存】にチェックすることで、次回は同じ内容が初期値としてセットされている状態でログイン画面が起動します。

なお、多重ログインが発生すると、先にログインしている方がログアウトします。

注意！

起動時の自動アップデートをキャンセルしたり、ZIP ファイルでダウンロードしたアプリを実行しているなどの理由で、ご利用中の本アプリケーションが最新でない場合、ログイン後にバージョンアップを促すメッセージを表示します。

メッセージに従い、速やかにバージョンアップを実施してください。

※バージョンがあまりに古い場合など、ログインができなくなる場合があります。

2-3 各機能の呼び出し方

本アプリケーションでは、頻繁に利用する機能を『作業アイコン』やボタンで表現した、『ガイドメニュー』を用意しています。



ガイドメニューはメインウィンドウの左端に表示しています。

ヒント！

[表示] → [ガイドメニュー] で、ガイドメニュー表示のON/OFFが設定できます。初期状態ではガイドメニューが表示されています。

第2章 使ってみよう

(1) ガイドメニューの操作方法

利用したい作業アイコンをクリックします。選択した作業だけがアイコン表示された状態に変わります。さらにその作業にサブメニュー([一覧] 、 [伝票] など)がある場合は、ガイドメニュー下部にボタンで表示されます。



(2) ログイン倉庫

メイン画面上部にはログイン倉庫が表示されています。
ログイン倉庫の初期値はユーザーの所属倉庫で異なります。

- 1 つの特定倉庫に所属しているユーザーであれば所属倉庫
- 複数倉庫に所属しているユーザーであれば所属倉庫の中で先頭の倉庫
- 全倉庫所属ユーザーは [ログイン倉庫なし]

2-4 システム設定

本システムをどのように運用するのかを設定する、システム全体の設定が『システム設定』です。
システム管理者権限ユーザーのみ設定できます。

- ・システムの Key コードと品目バーコード
 - ・項目名の変更
 - ・棚卸初期値に関する設定
- などの設定が可能です。

2-5 台帳登録

本サービスを利用するには、台帳（マスター）登録する必要があります。

台帳には必須台帳と、使い方によって必要になる任意台帳があります。

台帳は CSV ファイルのインポートによる一括登録が可能です。

必須台帳	品目台帳	管理する品目は、予め登録されている必要があります。
	倉庫台帳	少なくとも 1 つの倉庫は設定する必要があります。
	ユーザー台帳	利用する人毎にユーザーを設定する必要があります。 ひとつのユーザーアカウント（ユーザーID とパスワード）を複数人で使いまわすことは約款違反となります。また、セキュリティ面でも危険です。おやめください。
任意台帳	品目分類台帳	複数の品目が属する単位を『分類』と呼びます。 品目分類は、主に各種検索条件や集計にて使用します。分類の入力は必須ではありませんが、絞込みを行う時などに便利です。
	ゾーン台帳 *1	複数のロケーションが属する単位を『ゾーン』と呼びます。 ロケーション管理を行わない場合や、ロケーション管理は行うがゾーン単位での管理を行わない場合はゾーン台帳を登録する必要はありません。
	ロケーション台帳 *1	在庫品目の置き場所のことを『ロケーション』と呼び、在庫品目の置き場所も管理することを『ロケーション管理』と呼びます。 ロケーション管理を行う場合は、ロケーション台帳を登録する必要があります。 ロケーション管理を行わない場合はロケーション台帳を登録する必要はありません。

*1…倉庫毎の台帳

2 - 6 困ったときは

[1] まずはオンラインサイト

本サービスはオンラインサポートサイトを用意していますので、まずはご確認ください。

<http://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/index.htm>

[2] 弊社へのお問合せにつきまして

セキュリティ上のリスク及び情報の混乱をさけるため、電話・メール・FAXでのサポート対応は、事前に申請いただきました管理者の方に限定して対応しております。

別の方からのお問合せには対応致しかねますのでご確認ください。

(詳しくはサービス契約約款をご覧ください。)

第3章 基本操作の確認

運用する前に、本アプリケーションの基本的な操作方法について説明します。

3 - 1 画面の基本構成

[1] 3部構成の画面

棚卸表や一覧形式の画面は『ヘッダ部』『明細部』『フッタ部』から構成されています。

ヘッダ部は伝票番号や日付など、その画面のヘッダ情報が表示されています。

明細部は繰り返し同じパターンで表示される情報が表示されます。

フッタ部は操作のボタンやヘッダ情報の一部が表示されます。

The screenshot displays a software window titled '棚卸' (Inventory) with a red border. The window is divided into three main sections:

- ヘッダ部 (Header):** Located at the top, it contains input fields for '棚卸番号' (00000000361), '棚卸日付' (2020/08/20), '倉庫' (10: 自社倉庫), and '担当者' (山田 太郎 (t_yamada)). It also includes a '検索' (Search) section with '絞込検索(L)' and '更新(B)' buttons, and a '状態' (Status) section with '棚卸開始待ち' (Inventory start pending), '棚卸開始(K)' (Start inventory), '確定' (Confirm), and '中止' (Cancel) buttons.
- 明細部 (Detail):** The middle section, titled '棚卸明細 (0件)' (Inventory Detail (0 items)), contains a table with the following columns: Keyコード, 品目コード, 品目名 1, 品目名 2, ロット1, ロット2, 在庫状態, ロケーション, 論理現品数, PC棚卸数, モバイル棚卸数, 合計棚卸数, 差異数, 単位, 差異, and 備考.
- フッタ部 (Footer):** The bottom section, titled 'フッタ部', shows '全0件' (Total 0 items), '表示件数 500' (Display 500 items), and '0 / 0ページ' (0 / 0 pages). It includes navigation buttons: '行追加(A)' (Add row), '外部データ比較' (Compare external data), 'インポート(I)' (Import), 'エクスポート(E)' (Export), '印刷(P)' (Print), and '閉じる(C)' (Close).

[2] 2部構成の画面

台帳画面や導入設定画面は『メイン部』『フッタ部』から構成されています。

メイン部では該当画面のメイン情報が表示されています。

フッタ部は操作用のボタンが表示されます。

在 品目分類台帳 - 新規 **メイン部**

登録内容

分類コード

分類名

説明

品目分類コードを入力します。他の品目分類コードとの重複は不可。省略不可。桁数は1桁～4桁。数字、英字、記号（'を除く）が入力可能です。

フッタ部

登録(R) コピー(O) 削除(D) 閉じる(C)

3-2 棚卸画面の基本操作

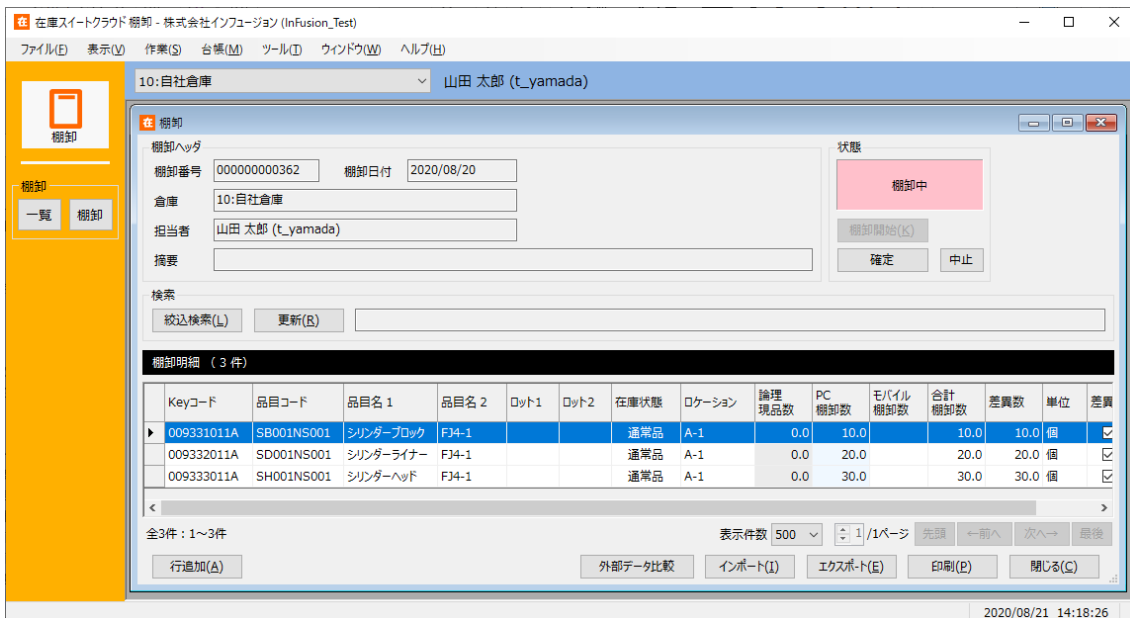
在庫スイートクラウド棚卸にはメイン機能となる棚卸(伝票)画面があります。

[1] 棚卸画面の3つのモード

棚卸画面には『新規モード』『参照モード』『修正モード』という3つのモードがあります。

ガイドメニューの [棚卸] → [棚卸] ボタンをクリックすると、棚卸伝票が棚卸開始待ちで呼び出されます。

但し、前回に棚卸中状態で画面を閉じた場合は、棚卸中で呼び出されます。



注意！

PCでの登録や、棚卸を中止／確定できるのは、棚卸開始ユーザーだけです。他のユーザーはPCからは参照やモバイル機器での登録が可能です。

[2] 新規呼び出し時の棚卸番号と棚卸日付

棚卸番号は、システムによって自動的に付番されます。
棚卸番号は「00000000001」から始まり、その後1ずつ加算されます。
なお、棚卸開始後に中止した場合、棚卸番号は欠番となります。
棚卸日付は、PCのシステム日付がセットされます。
[棚卸開始] をクリックするまでは変更が可能です。

[3] 棚卸の開始

[棚卸開始] ボタンをクリックすると棚卸がスタートし、「棚卸中」状態となります。
設定により、その時のPC在庫を帳簿在庫（画面上は論理現品数）として表示させ、前回棚卸結果と比較させることができます。
比較が不要な場合は、論理現品数なしで開始してください。
以降、棚卸日付は変更できません。

ヒント！

設定は、システム設定のシステム運用タブの「棚卸-論理現品数」です。

[4] 棚卸画面を閉じる

画面下の[閉じる]ボタンをクリックすると、棚卸画面は閉じます。
なお、「棚卸中」状態の棚卸画面を閉じても、該当の棚卸は「棚卸中」状態のままです。
改めてガイドメニューの [棚卸] → [棚卸] ボタンをクリックすると、「棚卸中」の棚卸が呼び出されます。
実地棚卸が一日で終わらなかった場合などは、棚卸中のまま本画面を閉じ、本アプリケーションを終了してください。

[5] 棚卸の中止

「棚卸中」状態で、[中止] ボタンをクリックすると、棚卸がキャンセルされます。

[6] 棚卸の確認

「棚卸中」状態で、「確定」ボタンをクリックすると、本システムの在庫情報が、『合計棚卸数』の数値に更新されます。

確定後は、確定処理を取り消すことは出来ません。

3-3 伝票形式の基本操作

棚卸画面と現品票発行画面共通の操作について説明します。

[1] 品目入力

Keyコードを入力すると、該当する品目の品目コード・品目名・単位が表示されます。
現品票発行画面では品目名の変更が可能です。

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	枚数
009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	1

ヒント！

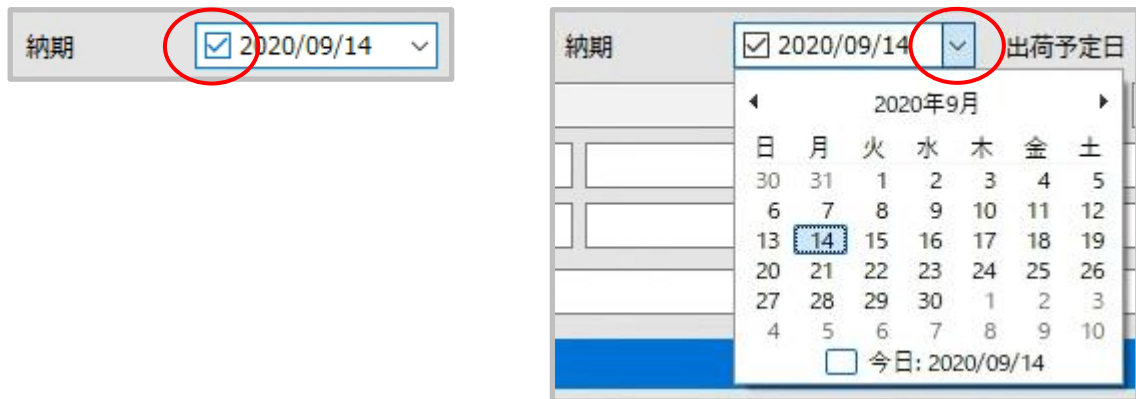
Keyコードは大文字・小文字を区別せずに入力することが可能です。
現品票発行画面では入力したKeyコードがそのまま現品票に印字されます。
なお、在庫参照や棚卸画面では品目台帳のKeyコードが表示されます。

[2] 日付のカレンダー入力について

日付の入力は、直接入力の他にカレンダーでの入力方法があります。
 ヘッダ部と明細部では入力の方法が少し異なります。

ヘッダ部は、左側のチェックボックスをクリックしてから、右側の をクリックしカレンダーを表示させることで入力可能になります。

右側の を直接クリックしてもカレンダーを開く事が出来ます。



削除の方法は、左側のチェックボックスをクリックし、チェックを外すことです。

明細部は、カーソルがロット1、ロット2にある状態で F4 キーを押下、またはマウスのダブルクリックで下図のような日付入力補助画面が表示されます。

但し、システム設定の「日付入力-ロット1」、「日付入力-ロット2」が「なし」の場合は表示されません。

削除の方法は、他の項目と同様、Delete キーを押下します。



[3] ロット1・2日付形式への整形

システム設定の「日付入力-ロット1」、「日付入力-ロット2」で、「YYYY/MM/DD」、「YYYY/MM」、「YYYY/MM/DD & YYYY/MM」のいずれかを指定することで、入力された内容について日付形式への整形が有効になります。

ロット1 200916

↓

ロット1 2020/09/16

「YYYY/MM/DD & YYYY/MM」指定で、どちらにも合致する場合は選択画面が出ます。

ロット1 1111

↓

在 日付形式選択

日付形式を選択してください

2020/11/11

2011/11

日付形式への整形を有効にした場合、日付とみなされない入力はエラーとなります。

なお、以下の入力／登録方法は日付形式への整形はされません。

- ・在庫転記での入力
- ・ファイルインポート

ヒント！

日付形式への整形を有効にした場合、カレンダー入力補助は常に有効となります。

ヒント！

日付入力でロットの形式を「YYYY/MM/DD」、用途を「使用期限」に設定した場合、ロットに年月形式の値を入力すると、その月の末日を付加して自動整形されます。

例：“202011”を入力 → “2020/11/30”に整形

第3章 基本操作の確認

ヒント！

現品票 QR コードや独自バーコードの読み取りについても、ロットの情報が含まれている場合は指定の形式に自動整形されます。

[4] F4 キーによる入力補助画面呼び出し

入力補助画面は出荷先コードやKeyコードなど、台帳に登録された項目を入力する際に利用できます。該当項目で F4 キーを押下するか、マウスでダブルクリックするか、スペースキーを押下する(項目に何も表示されていない状態のみ)ことで呼び出すことができます。

Keyコード	品目コード	単位	品目名
009331011A	SB001NS001	個	シリンダーブロック FJ4-1
009332011A	SD001NS001 ③	個	シリンダーライナー FJ4-1
009332102A	EB001NS001	個	エンジンバルブ H50
009333011A	SH001NS001	個	シリンダーヘッド FJ4-1
009333102A	BS001NS001	個	バルブスプリング H10
04901085250006		ケース	伊藤園 おーいお茶緑茶 500ml ×24本
076105	4958995761054	箱	ティスポーザブル サージカルマスクサージマスクTCホワイト 50
095139	5028420093827	個	2-in-1MeasuringJug 計量カップ クリア
095140	5028420094138	個	2-in-1MeasuringJug 計量カップ ピンク
095142	5028420095142	個	ロータリーピーラー グリーン
095159	5028420095159	個	ロータリーピーラー ピンク
095166	5028420095166	個	ロータリーピーラー グレイ
30-023	4987458300233	本	真空密封型採血管ネオチューブ EDTA-2Na(顆粒) 5ml
30-024	4987458300240	本	真空密封型採血管ネオチューブ EDTA-2Na(顆粒) 2ml

入力補助画面使用方法

- ① 検索を行う項目名を選択します。
- ② 検索条件を入力して [検索] ボタンを押します。
項目にコード（出荷先コード等）を指定した場合は、入力した条件に前方一致するレコード以降のデータを表示します。
名称等のコード以外の項目を指定した場合は、入力した条件に一部一致するデータに絞り込んで表示します。
空欄で [検索] ボタンを押すとすべてのデータを表示します（検索状態解除）。
- ③ 目的の行を選択して [OK] ボタン、ダブルクリック、または Enter キーで決定すると、元の画面の該当箇所に選択した項目が入力されます。

[5] F3 キーによる明細入力補助

現品票発行画面において、品目が指定されている状態で、明細行入力時に F3 キーを押下すると該当品目に絞り込んだ詳細な在庫情報が表示されます。

明細入力補助 - 2/2 (在庫)

バーコード	品目コード	単位	品目名	分類
009331011A	SB001NS001	個	シリンダーブロック FJ4-1	01:自動車部品

ロット1	ロット2	在庫状態	ゾーン	ロケーション	現品数
		通常品			2
L140212		通常品			193
L140219	①	通常品			38
L140212		不良品			2
L140212		修理中			1
L140212		確保			1

全6件 : 1~6件 (6件分) 1 / 1ページ 先頭 ←前へ 次へ→ 最後

品目へ戻る(F4) OK(O) キャンセル(C)

明細入力補助 – 在庫画面の使用方法

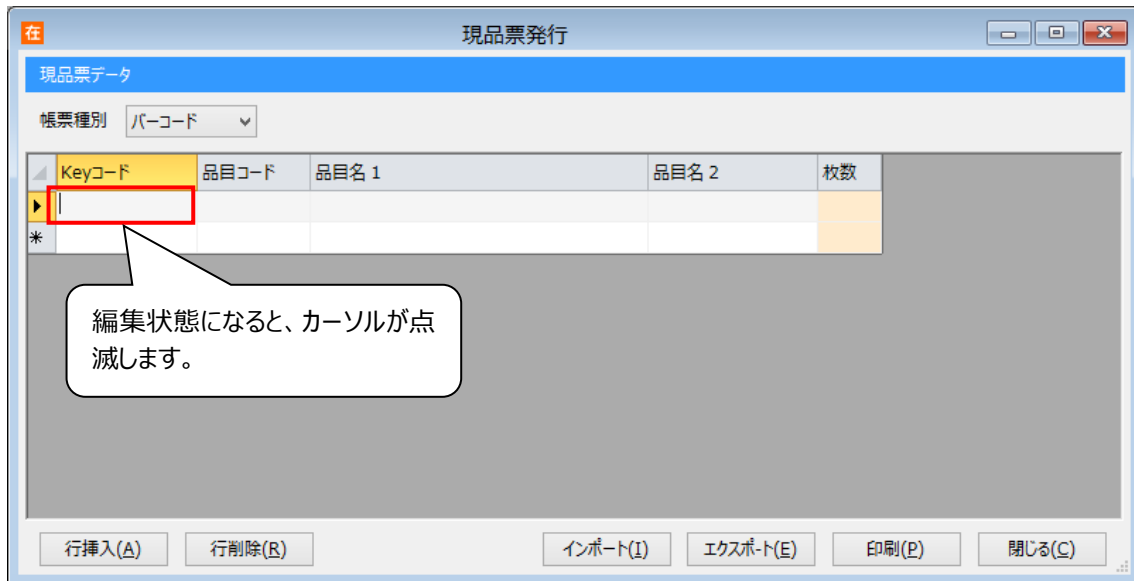
- ①目的の行を選択して [OK] ボタン、ダブルクリック、または Enter キーで決定すると、元の画面の該当箇所を選択した項目が入力されます。

<連続補助入力>

なお、伝票から F4 キーにより Key コードの入力補助画面を呼び出した場合、[在庫選択へ] ボタンを押下することで、連続して本入力補助画面を呼び出しことが可能です。

[6] バーコードスキャナーによる入力

PC に接続されたバーコードスキャナーを使用して、品目やロケーションのデータを入力することができます。なお、伝票明細にデータを入力する際は、Enter キーを押下して入力する項目を編集状態にしてから読み取りを行ってください。



注意！

バーコードスキャナーでの入力は、キーボードでの手入力と同様、CAPS ロックやかな漢字変換 (IME) の状態に影響を受けます。在庫スイートクラウドでは基本的にそれらがオフの状態である必要があります。もしバーコードスキャナーでの入力がうまく行かない場合は、CAPS ロックとかな漢字変換の状態を確認してください。

ヒント！

PC に接続されたバーコードスキャナーは終端に [TAB] を付加することをお勧めします。

[7] バーコードスキャナーによる品目入力

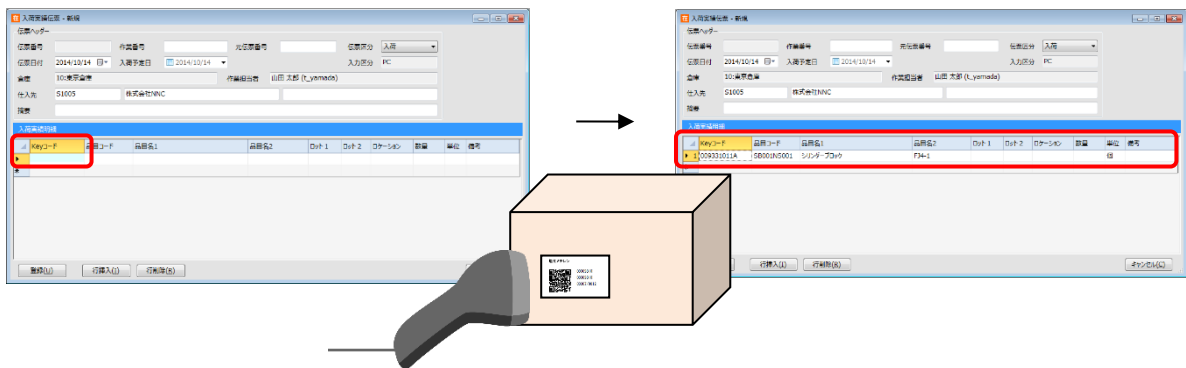
PC に接続されたバーコードスキャナーで品目を特定するためのバーコードや QR コードを読み取ることで、伝票明細に品目を入力することができます。

運用 (= システム設定の内容) により、2 通りの入力方法を提供します。

(1) [Key コード] のみ入力可能

システム設定のシステム運用タブの使用項目で [品目コード] が O F F、または入力タブの品目バーコード読み取り [検索項目] が [Key コード] の場合は、[Key コード] のみ入力が可能です。

明細の [Key コード] 欄にカーソルを置いた状態で品目を特定するバーコードや QR コード現品票を読み取ってください。



ヒント!

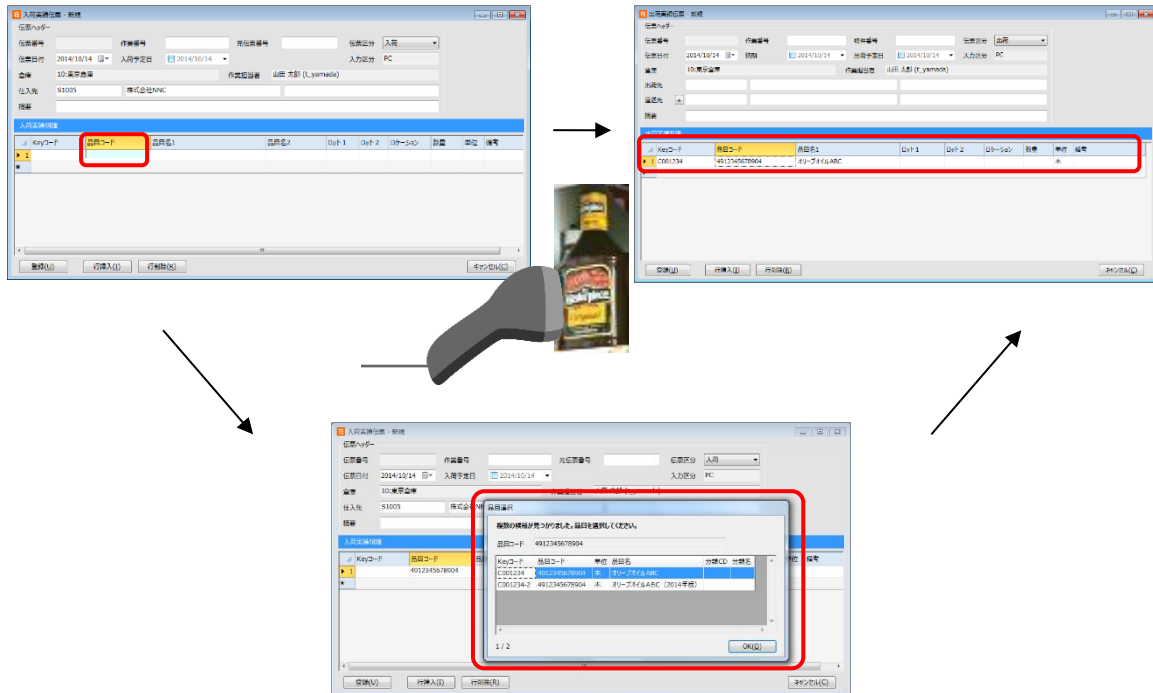
システム設定と入力項目の対応については「4 - 1 [2] モノに関する管理項目」をご覧ください。

第3章 基本操作の確認

(2) [Keyコード] と [品目コード] が入力可能

システム設定のシステム運用タブの使用項目で [品目コード] がONで、入力タブの品目バーコード読み取りの [検索項目] が「品目コード」の場合、[Keyコード] の他に [品目コード] も入力が可能です。

この設定では、社内品番を [Keyコード] に、JANやITFなどの品目を特定するバーコード（以後、「品目バーコード」と呼びます）の内容を [品目コード] に設定する運用を想定しています。品目バーコードを読み取る場合は [品目コード] 欄にカーソルを置いた状態で読み取ってください。複数の [Keyコード] が該当する場合は、選択画面が現れますので [Keyコード] を指定します。



入力した[品目コード]に複数の[Keyコード]が該当する場合は、選択画面が表示されます。

なお、バーコード化された [Keyコード] を読み取る場合は、直接 [Keyコード] 欄にカーソルを置いて読み取ります。

ヒント！

本アプリケーションで発行するバーコードの内容は [Keyコード] です。

[8] 品目入力の判定順

入力された内容は以下の順でチェックが行われ、先に判定されたものとして処理されます。

QRコード現品票 > 独自バーコード > 単独のバーコード (Keyコードまたは品目コード)

ヒント！

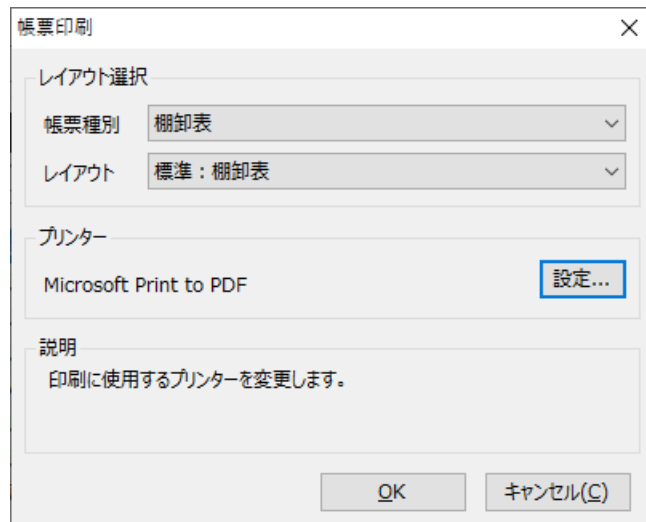
QRコード現品票、独自バーコードはシステム設定により *OFF* にできます。*OFF* にすると判定されません。

[9] 印刷

参照モードでは [印刷] ボタンが使用できるものもあります。

印刷ボタンをクリックすると「帳票種別」や「レイアウト」が選択でき、対応した帳票を印刷できます。

プリンターの [設定] ボタンをクリックすると、印刷に使用するプリンターを選択できます。



ヒント！

プリンターは初期状態では PC の「通常使うプリンター」を表示します。

変更すると本アプリケーション実行中のみ記憶されます。

ただし、ラベル帳票の場合は帳票個別にプリンターを記憶し、再起動後も保持されます。

カスタム帳票の場合は、レイアウト名に "ラベルプリンター" または "指定プリンター" の文字を含むものをラベル帳票として扱います。

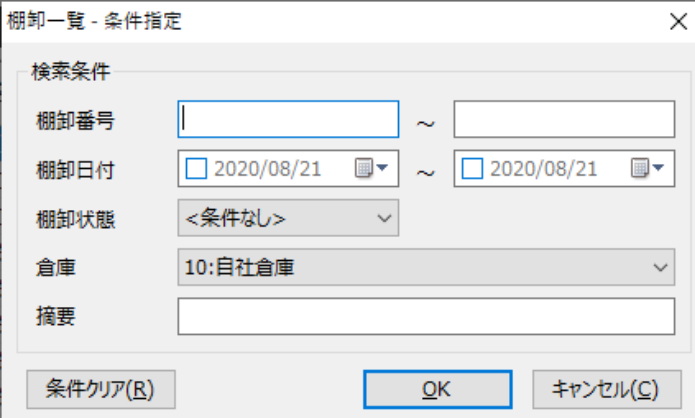
3 - 4 一覧形式の基本操作

在庫スイートクラウドには棚卸や台帳の一覧形式画面があります。ここでは一覧形式画面の基本操作を、ガイドメニューによる入荷実績伝票の一覧操作に基づいて説明します。

[1] 一覧の呼び出し方

一覧の呼び出し方には、メニューバー・ガイドメニューでの呼び出しや、参照モードにおける [一覧] ボタンのクリックで呼び出すことができます。なお、各画面より一覧画面を呼び出すと、各画面は自動的に閉じます。

一覧画面を呼び出すと、はじめに検索条件画面が表示されます。ここで、絞り込む条件を入力します。



検索条件	
棚卸番号	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
棚卸日付	<input type="text" value="2020/08/21"/> ~ <input type="text" value="2020/08/21"/>
棚卸状態	<条件なし>
倉庫	10: 自社倉庫
摘要	<input type="text"/>

条件クリア(B) OK キャンセル(C)

第3章 基本操作の確認

検索条件画面の入力欄には、主に4種類の入力方式があります。

(1) リスト

リスト選択でのみ条件を設定できます。

例) 伝票区分、在庫状態など

(2) テキスト

テキストの入力が可能です。

例) Key コードなど

(3) 入力補助画面付きテキスト

何も入力されていないときにスペースキーを押下するか、ダブルクリック又は F4 キーを押下すると入力補助画面が表示されます。条件を指定して検索を実行することで、さらに候補を絞り込むことも可能です。

(4) カレンダー

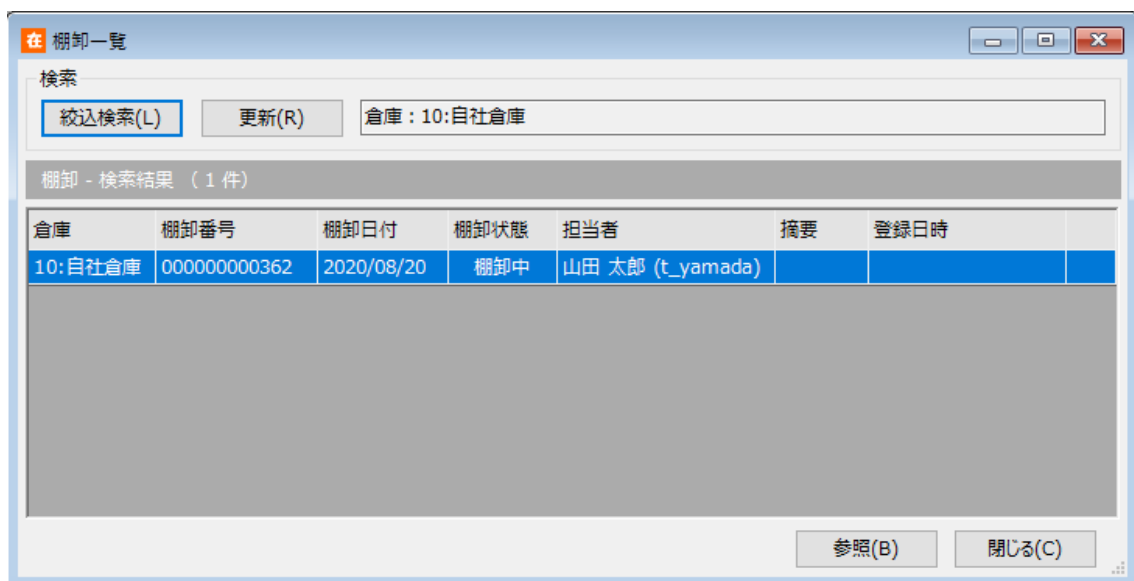
日付を指定する場合は、カレンダーからの入力が可能です。

左側のチェックボックスをクリックするか、右側の  をクリックしカレンダーを表示することで入力可能になります。

例) 棚卸日付

必要に応じて検索条件画面で条件を設定し [OK] ボタンをクリックします。

その条件で絞り込まれた一覧画面が表示されます。



[2] 表示の更新

一覧画面の[更新]を押すと、同一の条件で再表示を行います。
その他、並べ替えや、インポートを行ったあとにも最新のデータに更新されます。

[3] 検索条件の変更

別条件で表示したいときは、[絞込検索] ボタンをクリックすると、再度検索条件画面が表示されます。

[4] 明細行の指定と参照

一覧では、明細行に伝票のヘッダ情報が表示されます。マウスで明細行をクリックすると、その明細行が指定されたことを反転表示で表します。指定された明細行が[参照]の対象となります。

[5] 明細行の並べ替え

一覧の行の項目名をクリックすると、その項目で並べ替えを行います。並び順は項目名の横に[▲] (昇順)、または[▼] (降順)で表示されます。

ヒント！

一覧画面を開いた直後や絞込検索直後はデフォルトの並び順になります。
詳細は第5章～第6章の各一覧画面の説明の「ソート順」をご確認ください。

また、エクスポートデータのレコードの並び順は別途規定されており、一覧画面のソート順と一致する場合とそうでない場合があります。

詳細は別紙「ファイルフォーマット」または「項目 ID ファイルフォーマット」をご覧ください。

[6] インポート

在庫スイートクラウドでは、基幹システムなどから台帳データなどを取り込んで使用することが出来ます。

[インポート] ボタンを押下するとファイル選択ダイアログボックスが表示されます。

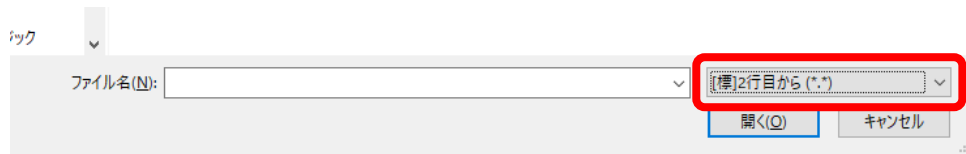
インポートしたいファイルとフォーマットを指定してください。

インポート可能なファイルフォーマットの詳細については「別紙 ファイルフォーマット」をご覧ください。

ヒント！

1 行目が項目行かどうかは、ファイル指定欄の右にあるリストで選択します。

- ・1 行目からデータの場合は「1 行目から」を選択してください。
- ・1 行目は項目行で、2 行目からデータの場合は「2 行目から」を選択してください。



[7] エクスポート

エクスポート機能を使って、データをファイルに書き出すことができます。ファイルは CSV 形式ですので、表計算ソフトなどで読み込んで再利用することもできます。

【エクスポート】ボタンを押下するとファイル選択ダイアログボックスが表示されますので、ファイル名を指定して保存してください。

一覧上で絞込表示された範囲がエクスポートされます。

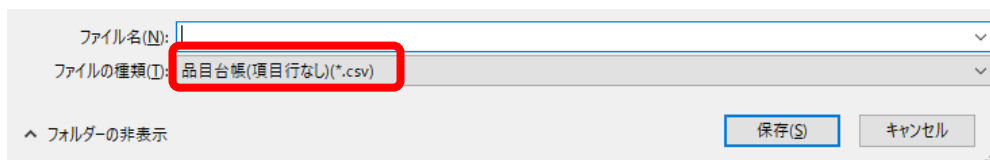
ヒント！

1 行目に項目行を含めるかどうかを以下の形式から選択できます。

- ・項目行あり 項目名だけの形式で項目行を含めます。
- ・項目行なし 項目行を含めません。

品目台帳・倉庫台帳の場合、以下の形式も選択できます。

- ・ID 付き項目行あり 「項目名(項目 ID)」の形式で項目行を含めます。
(項目 ID は項目指定インポート時のキーとなります。
詳細は「別紙 項目 ID ファイルフォーマット」をご覧ください。)



3-5 台帳の基本操作

在庫スイートクラウドには担当者台帳・品目台帳・ゾーン台帳・ロケーション台帳などの台帳があります。ここでは台帳画面の基本操作を、ガイドメニューによる出荷先台帳の操作に基づいて説明します。

※台帳の登録・修正・削除はユーザー権限が必要です。詳しくは「4-7 ユーザー台帳と権限」をご覧ください。

[1] 台帳の呼び出し方

台帳の呼び出し方には、メニューバーから呼び出す方法とガイドメニューから呼び出す方法とがあります。台帳の呼び出しを行うと、はじめに台帳一覧画面が表示されます。



1 ページあたりの表示件数は、画面サイズに合わせてスクロールしないよう自動調整されます。

① には一覧表示対象の全件数と 1 ページあたりの表示件数を表示します。

② には全ページ中の何ページ目かを表示します。

[←前] ・ [→次] ボタンでそれぞれ前ページや次ページを表示します。

[先頭] ・ [最後] ボタンでそれぞれ先頭ページや最後のページを表示します。

注意！

台帳一覧画面は、項目名をクリックしても並べ替えを行いません。

[2] 台帳一覧画面の機能について

台帳一覧画面の機能について説明します。

[絞込検索]

検索条件画面を表示します。条件を指定して表示したい時に使用します。

[更新]

同一の絞り込み条件で再表示を行います。

なお、登録や削除、インポートを行ったあとは自動的に表示が更新されます。

[新規]

台帳の新規モードを表示します。

[コピー]

一覧画面で品目を選択し [コピー] ボタンをクリックすると、選択した品目情報が転記された状態で新規モードが表示されます。

第3章 基本操作の確認

[参照]

台帳一覧画面では、明細行に登録情報が表示されます。マウスで明細行をクリックすると、反転表示され、その明細行が指定されたことを表します。指定した明細行をダブルクリックするか、[参照] ボタンをクリックすることでその明細行の台帳画面を開いて参照することができます。

[インポート]

基幹システム等から台帳データをインポートすることで登録することもできます。

一覧画面で [インポート] ボタンをクリックすると、CSV ファイルから一括登録を行います。ただし、データに不備がある場合はエラーダイアログを表示し、ファイルのインポートを全てキャンセルします。

インポートファイルのフォーマットは「別紙 ファイルフォーマット」をご覧ください。

[エクスポート]

台帳一覧画面上では表示中のデータを書き出すことができます。

一覧画面で [エクスポート] ボタンをクリックすると、表示内容を CSV ファイルへ出力します。

エクスポートファイルのフォーマットは「別紙 ファイルフォーマット」をご覧ください。

[印刷]

台帳一覧画面には [印刷] ボタンが用意されています。

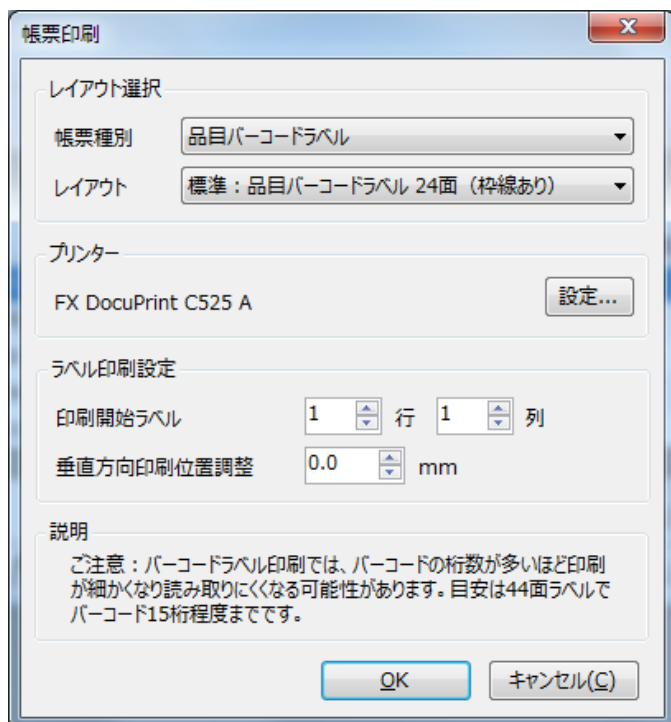
[印刷] ボタンを押下すると各台帳に対応した帳票やラベルが印刷できます。

[閉じる]

台帳の一覧画面を閉じます。

[3] 台帳一覧画面のラベル印刷と標準ラベル仕様

いくつかの台帳一覧画面にはラベル印刷機能があります。
印刷範囲は、その時に一覧に表示されている範囲となります。



標準ラベル仕様は、以下の2タイプとなります。

- 44面：レーザーラベル A4 11行4列 1片：48.3×25.4mm
 - 24面：レーザーラベル A4 8行3列 1片：70.0×33.9mm
 - 4面：レーザーラベル A4 2行2列 1片：105×148.5mm (*1)
- (*1) ロケーションロングレンジ用ラベルのみ対応

詳しくはお問合せください。

また、ラベル印刷では印刷開始ラベルの位置や垂直方向の印刷位置の微調整ができます。
ラベル位置は一番左上を1行目の1列目として指定します。
垂直方向位置調整は0.1mm単位で指定し、値は次の印刷のために保存されます。

注意！

ラベル印刷ではバーコードがラベル幅に収まるようにサイズを自動調整して印刷します。このため、バーコードの桁数が多いほど印刷が細くなり、スキャナで読み取れなくなる可能性があります。プリンタの印字品質や読み取り機器の性能によるため一概には言えませんが、44面ラベルではバーコード15桁程度までを目安としてください。

[4] 台帳一覧画面の F4 キーによる入力補助画面呼び出し

伝票一覧同様、台帳一覧の条件指定では、出荷先や Key コード入力などの台帳に登録された項目を入力する際に入力補助画面が利用できます。

詳しくは「3 - 3 [4] F4 キーによる入力補助画面呼び出し」をご覧ください。

[5] 台帳画面について

台帳の呼び出しを行うと、はじめに台帳一覧画面が表示されます。

台帳一覧画面の「新規」ボタンをクリックすると、台帳画面が新規モードで呼び出されます。

第3章 基本操作の確認

[登録]

入力したデータを登録します。登録後台帳画面は自動的に閉じます。
コード項目については、入力した値の先頭及び末尾のスペースは登録時に削除されます。
(品目コードについては、末尾のスペースのみ削除されます。)

[コピー]

参照モード中のみ有効です。

[コピー] ボタンをクリックすると、参照中の品目情報を転記した状態で新規モードに変わります。

[削除]

参照データの削除ができます。

詳しくは「3 - 5 [7] 台帳の削除」をご覧ください。

[閉じる]

新規モードで登録前に [閉じる] ボタンをクリックした場合は、登録の有無を確認します。
修正モードで修正内容を反映させたくない場合は登録せずに、[閉じる] ボタンをクリックします。

[6] 台帳の参照・修正

参照モードでは[コピー]と[削除]ボタンが有効です。

参照モードで何か変更を行うと自動的に修正モードになります。ただし、既存のデータに影響を及ぼすような修正は不可能です。(コードの変更など)

修正内容を反映させる場合は[登録]ボタンをクリックしてください。登録せずに終了したい場合は[閉じる]をクリックしてください。

登録内容	
出荷先コード	C1001
名称1	和幸商事株式会社
名称2	
名称カナ	ワコウショウジ
略称	和幸商事
出荷先担当者	青木
敬称	殿
郵便番号	589-0021
住所1	大阪府大阪狭山市今熊1-1-1
住所2	第一ビル 1F
電話番号	06-3111-1111
FAX番号	06-3555-1112

説明
このウィンドウを閉じます。

登録(R) コピー(O) 削除(D) 閉じる(C)

[7] 台帳の削除

台帳の削除は参照モードで行います。

台帳データが削除できない条件は以下の通りです。

- ・ システムで定義されているデータ
- ・ 関連する台帳で使用されている台帳
(例えば、1つ以上の品目が属している品目分類やゾーン・ロケーションが登録されている倉庫)
- ・ ログイン中のユーザー、倉庫
- ・ 在庫が存在する品目、倉庫、ロケーション
(在庫参照の品目別・詳細にその品目の行が表示される状態)
- ・ 棚卸中の品目・ロケーション・ユーザー・倉庫

[8] 台帳の一括削除

品目台帳とロケーション台帳には、一括削除機能があります。
以下の手順で一括削除を行います。

(1) 台帳一覧への削除可能なものの表示

台帳一覧の条件指定で「削除可能なものを表示する」にチェックを入れます。
必要に応じて、他の条件も合わせて指定し、[OK]をクリックします。

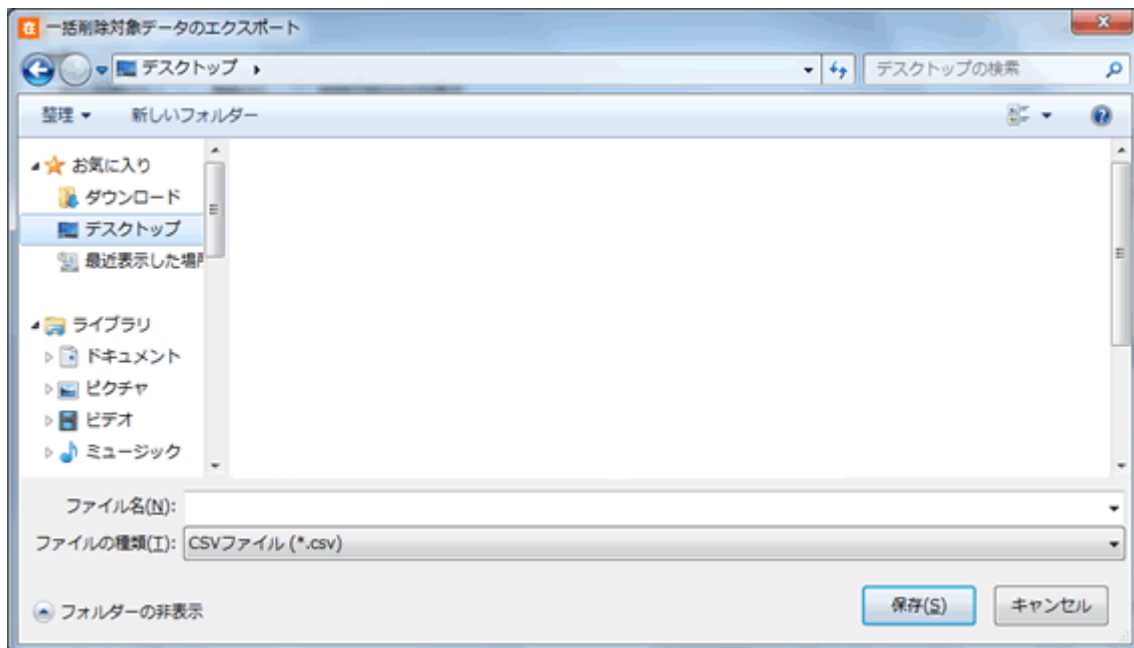
(2) 一括削除の実行

条件に沿った内容が一覧表示され、左端にはチェックボックスも表示されます。
削除したい対象にチェックを入れ、[一括削除]をクリックします。

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	カナ	分類	推奨ロケーション	入数
<input checked="" type="checkbox"/>	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	シリンダーブロックFJ4-1	01:自動車部品	
<input checked="" type="checkbox"/>	009332011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1	シリンダーライナーFJ4-1	01:自動車部品	
<input checked="" type="checkbox"/>	009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	エンジンバルブH50	01:自動車部品	
<input checked="" type="checkbox"/>	009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	シリンダーヘッドFJ4-1	01:自動車部品	
<input checked="" type="checkbox"/>	009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	バルブスプリングH10	01:自動車部品	
<input type="checkbox"/>	049010852500		伊藤園 おーいお茶緑茶 500m			05:飲料	24
<input type="checkbox"/>	076105	4958995761054	ディスプレイ サージカルマスク			03:医薬/医療材料	
<input type="checkbox"/>	095139	5028420093827	2-in-1MeasuringJug 計量カップ			04:雑貨	
<input type="checkbox"/>	095140	5028420094138	2-in-1MeasuringJug 計量カップ			04:雑貨	
<input type="checkbox"/>	095142	5028420095142	ロータリーピーラー グリーン			04:雑貨	
<input type="checkbox"/>	095159	5028420095159	ロータリーピーラー ピンク			04:雑貨	
<input type="checkbox"/>	095166	5028420095166	ロータリーピーラー グレイ			04:雑貨	
<input type="checkbox"/>	30-023	4987458300233	真空密封型採血管ネオチューブ I			03:医薬/医療材料	100

第3章 基本操作の確認

なお、一括削除を実行する前に一括削除対象データのエクスポートを行います。
誤って削除した場合は、エクスポートファイルをインポートし戻してください。



3-6 件数が多い場合の操作

処理件数が多い場合の動作を説明します。

[1] 最大表示件数

「棚卸一覧」「台帳一覧」「在庫参照」「履歴参照」では、表示件数に上限があります。台帳一覧と在庫参照画面の表示最大件数は、ユーザー毎に設定することが可能です。PC のスペックや通信スピードに応じて適宜設定してください。

	初期値	最大値
棚卸一覧	100 件	100 件
台帳一覧	10,000 件	1,000,000 件
在庫参照	300 件	3,000 件

ヒント！

最大表示件数を超えた場合は、メッセージを表示し可能な範囲で表示します。

ヒント！

「棚卸一覧」「在庫参照」では、クリックされた項目で並び替えが出来ますが、表示されたデータ内での並び替えとなります。

ヒント！

ファイルエクスポートと帳票印刷は、最大表示件数の制限に関係なく、指定された範囲を対象に処理されます。但し、対応可能な件数には上限があります。詳しくは、「3-6 [3] エクスポートと帳票の最大件数」をご覧ください。

[2] インポートファイルの最大件数

一度に取り込めるインポートファイルは全て最大 100,000 件（10,000 件レコード/明細）です。
それを超える場合は分割してインポートしてください。
タイムアウトが頻繁に発生する場合も分割してインポートしてください。

ヒント！

インポートファイルが最大件数を超えている場合は、エラーが発生しインポートは行われません。

[3] エクスポートと帳票の最大件数

一度に処理できるファイルのエクスポートや帳票出力は、表示最大件数には関係なく、最大 100,000 件（100,000 件レコード/明細）です。
それを超える場合は分割してエクスポートまたは帳票出力してください。
タイムアウトが頻繁に発生する場合も分割してエクスポートまたは帳票出力してください。

ヒント！

エクスポートまたは帳票出力が最大件数を超えている場合は、エラーが発生しエクスポートは行われません。

※但し、棚卸外部データ比較画面と現品票発行画面については、最大表示件数もエクスポートと帳票の最大件数もありません。

第4章 在庫管理の基本

本サービスにおける在庫管理の基本的な概念をご紹介します。

4 - 1 在庫スイートクラウドの管理項目

[1] 在庫管理項目

在庫スイートクラウドは以下の在庫管理項目を持っています。

- ・モノに関する管理項目として「品目 (=Key コード)」「ロット1」「ロット2」「在庫状態」
- ・保管場所に関する管理項目として「倉庫」「ロケーション」

この6項目を複合キーとして「数量」の増減を行います。

ヒント！

棚卸の登録では、常に6項目の在庫管理項目を指定しています。

「倉庫」はログイン倉庫が自動的にセットされています。

「在庫状態」はシステム設定により「通常品」が自動セットされます。

その他、転記等で入力が必要になっている場合も指定していることに変わりはありません。

[2] モノに関する管理項目

品目

モノに関する管理項目の基本情報は「品目」に関する情報です。

本サービスでは、品目を特定するキー項目は「Key コード」です。品目台帳には社内品番を「Key コード」に設定し、入出荷登録でも「Key コード」を入力し運用します。

「Key コード」より品目が決まり、「品目コード」や「品目名」「単位」などが呼び出されます。

JANやITFなどの品目を特定するバーコード（品目バーコード）を読み取って運用する際、社内品番と品目バーコードの内容が異なる場合は、品目台帳では社内品番を「Key コード」に、品目バーコードを「品目コード」または専用検索項目に設定し運用します。

また、システム設定でそうした運用であることを示します。

＜運用方法の違いによるシステム設定と品目台帳登録＞

運用方法		品目台帳へのデータセット	システム設定 品目バーコード読み取り検索項目
品目バーコードを使わない	—	社内品番を「Key コード」にセット	「Key コード」*1
品目バーコードを使う	社内品番 = 品目バーコード	社内品番を「Key コード」に、品目バーコードを「品目コード」にセット	「品目コード」*2
	社内品番 ≠ 品目バーコード	社内品番を「Key コード」に、品目バーコードを専用検索項目にセット	「Key コード」*1、*3

*1・・・システム設定のシステム運用タブの使用項目で「品目コード」=ONの場合のみ、本設定が必要です。

*2・・・システム設定のシステム運用タブの使用項目で「品目コード」=ONとなっていることが前提です。

*3・・・マルチデバイスオプションのみ。

ヒント！

PC+バーコードスキャナーによる入力については「3-3 [7] バーコードスキャナーによる品目入力」をご覧ください。

ヒント！

品目台帳への品目バーコードの設定については「4-8 品目を特定するバーコードとその設定」をご覧ください。

第4章 在庫管理の基本

■ 社内品番（Key コード）を入力する運用での品目台帳の設定

<基幹システムの商品マスター>

【品目バーコードを使わない場合】

社内品番(key)	品目名
C0123	〇〇〇
C0124	△△△
C0125	□□□
C0126	◎◎◎



<在庫スイートクラウドの品目台帳>

Keyコード(key)	品目コード	品目名
C0123	任意	〇〇〇
C0124	任意	△△△
C0125	任意	□□□
C0126	任意	◎◎◎

【社内品番 = 品目バーコードの場合】

社内品番(key)	品目名
4912345000019	〇〇〇
4912345000026	△△△
4912345000033	□□□
4912345000040	◎◎◎



Keyコード(key)	品目コード	品目名
4912345000019	任意	〇〇〇
4912345000026	任意	△△△
4912345000033	任意	□□□
4912345000040	任意	◎◎◎

<システム設定>

システム運用タブの使用項目で [品目コード] がONの場合は、
入カタブの品目バーコード読み取り検索項目を [Keyコード] に設定します。

第4章 在庫管理の基本

■ 社内品番（Key コード）と品目バーコードが異なる運用での品目台帳の設定

<基幹システムの商品マスター>

<在庫スイートクラウドの品目台帳>

【社内品番と品目バーコードが異なる場合】

社内品番(key)	JAN	品目名
C0123	4912345000019	○○○
C0124	4912345000026	△△△
C0125	4912345000033	□□□
C0126	4912345000040	◎◎◎



Key コード(key)	品目コード／専用 検索項目	品目名
C0123	4912345000019	○○○
C0124	4912345000026	△△△
C0125	4912345000033	□□□
C0126	4912345000040	◎◎◎

<システム設定>

システム運用タブの使用項目で [品目コード] がONとし、
入力タブの品目バーコード読み取り検索項目を [品目コード] に設定します。

<社内品番（Key コード）と品目バーコードが異なる運用における設定項目による違い>

	品目コード	専用検索項目
扱えるバーコード種	制限なし *1	UPC/JAN *2 GS1-128/GS1-Dababar *3
扱えるバーコードの数	1	最大3 (新・旧に対応可)
表示	常に表示	マルチデバイスオプションでは読んだ直後は表示。 それ以外は表示なし

*1・・・アプリケーションでの制限はありませんが、使用するバーコードリーダーに制限がある場合があります。

*2・・・GTIN-12,GTIN-13 を扱うバーコード種

*3・・・GTIN-14 を扱うバーコード種

ヒント!

UPC/JAN などの流通用バーコードは、メーカー判断により途中で切り替わることがあります。
そのため、新・旧いずれも扱える専用検索項目をお勧めします。

第4章 在庫管理の基本

ロット1、ロット2

製造ロットや賞味期限など、同一品目内で別管理したい項目を入力します。「ロット1」「ロット2」には台帳は存在しませんので、自由に入力できます。なお、「ロット1」「ロット2」の項目名称はシステム設定にて変更することが可能です。

在庫状態

同一品目内で別管理したい在庫状態情報を入力します。

「在庫スイートクラウド」には在庫状態として、[通常品] [不良品] [修理中] [確保] があります。

ヒント!

[通常品] 以外の在庫状態は、システム設定で3つから最大9つまで追加が可能です。また、名称の変更も可能です。具体的な設定方法は「7-1 [2] システム運用」「7-1 [3] 項目名」をご覧ください。

[3] 保管場所に関する管理項目

倉庫

「在庫スイートクラウド」は複数の倉庫に対応します。

ログイン倉庫を指定して運用しますので、必ず1つ以上の倉庫を倉庫台帳へ登録する必要があります。

倉庫の数に上限はありません。

ロケーション

ロケーションとは、倉庫内の保管場所を示す情報です。

ロケーションも含めて運用する場合、予めロケーション台帳に各ロケーションを登録する必要があります。

なお、ロケーション台帳は倉庫ごとに設定する台帳です。

任意台帳ですので、各倉庫で必要な場合に設定してください。

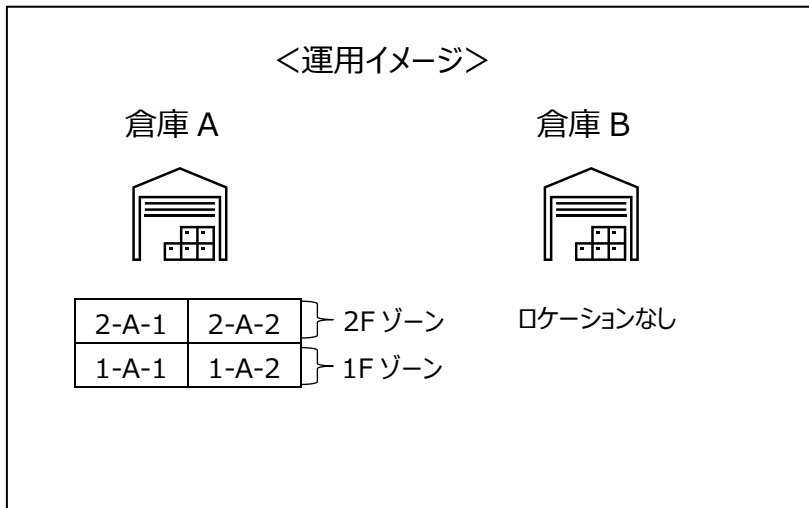
ヒント！

「ゾーン」は複数のロケーションをグループ化する際に用います。

ゾーンを活用した一部棚卸や特定エリアの在庫参照が可能です。

なお、ゾーン台帳は倉庫ごとに設定する台帳です。

任意台帳ですので、各倉庫で必要な場合に設定してください。



[4] ロットやロケーションの「なし」について

「ロット1」「ロット2」「ロケーション」は必要な場合に入力する任意項目です。
入力しない場合の動作は以下の通りです。

棚卸伝票

「ロット1」「ロット2」「ロケーション」を空で登録すると、在庫管理項目として「なし」という情報がセットされます。「なし」も1つのロットやロケーションとして扱われます。

4-2 自社に合わせたシステム設定

自社に合った運用を行うため、初めにシステム設定を行います。

タブ名	主な設定内容
自社情報	グループ名と自社情報を設定します。 グループ名はタイトルバーに表示されます。 自社情報は現状、帳票印刷に利用しています。
システム運用	数量の小数点の扱いや表示する項目、棚卸数初期値について設定します。
項目名	項目名を変更したい場合に利用します。
入力	日付入力補助を設定します。
モバイル	※モバイルオプションまたはマルチデバイスオプション加入時のみ表示 モバイルオプション及びマルチデバイスオプション用アプリケーション向けの設定を行います。
モバイル(拡張)	※マルチデバイスオプション加入時のみ表示 品目バーコード読み取り時の検索項目の自動切替を設定します。
権限	仕入先担当者について設定します。

特に重要なのはシステム運用と項目名の設定です。

表示（利用）する機能や項目はどれなのか、また各項目は自社のどのデータに対応するのかを設定することで、適切に運用いただくことが出来ます。

<システム設定例>

- ・自社の基幹システムでは品名欄は1つなので、品目名2を非表示にする。
- ・アイテムに関するコード系情報は [Key コード] だけなので [品目コード] を非表示にする。
- ・棚卸は（モバイル機器を用いず）紙で行うので、予め論理現品数を棚卸初期値としてセットしておき、差異のあったものだけ修正する。

4-3 スマートフォンやハンディターミナルごとの設定

「マルチデバイスオプション」に加入すると各種スマートフォンやハンディターミナルが利用できます。バーコードの読み取り方法や、テンキーやファンクションキーの有無など、デバイスごとに機能が異なります。各デバイスに適した動作となるための設定について説明します。

[1] 2つのバーコード取込方式とバーコード種による検索項目の指定

バーコードの読み方は複数ありますが、読み取り方により情報の取り込み方が決まります。大きく「直接取込」と「キー取込」に分かれ、直接取込では JAN や CODE-128、QR コードといったバーコード種の情報も取り込まれます。

	直接取込	キー取込
読み取り方法	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ読み取り  <ul style="list-style-type: none"> ・BHT-1700/1800 での読み取り 	<ul style="list-style-type: none"> ・Bluetooth リーダーでの読み取り  <ul style="list-style-type: none"> ・BHT-1700/1800 以外のハンディターミナルでの読み取り 
バーコード種	あり	なし

第4章 在庫管理の基本

バーコード取込方式の違いで意識すべき点は2点です。

ひとつはバーコード種によるデータ加工。

「CODE39」はバーコード内にチェックデジットが含まれているかどうか、含まれている場合にチェックデジットを出力するかどうかはユーザーに委ねられます。

また、UPC-Aは12桁ですが、先頭に0を付加し13桁にしたいという要望があります。

直接取込では、これらをマルチデバイスオプションのアプリで行うため関連設定を提供しています。

キー取込では、ハンディターミナルが提供する読み取り設定に依存します。

もうひとつは、バーコード種による検索項目の指定です。

マルチデバイスオプションのアプリは、バーコード種によって品目台帳のどの項目を検索するのかを指定する機能を持ちます。

本機能は、バーコード種も取り込まれる「直接取込」では利用できますが、「キー取込」では通常、利用できません。

但し、JANやITF、GS1-128やGS1-Databarなど流通バーコードはデータ形式が決まっており、データでバーコード種が判定（類推）できます。

キー取込でも、キー取込でのバーコード種の判定を有効にすると、流通用バーコード種は検索項目の指定機能を利用できます。

ヒント！

キー取込でのバーコード種の判定を有効にするには、システム設定のモバイル(拡張)タブの[流通バーコード自動判定を有効にする]をONに設定してください。

[2] デバイスのモデル名称による個別設定

ハンディターミナルは（スマートフォンにはない）専用の読み取りモジュールを持ちます。

また、ハンディターミナルの中にはスマートフォンと同じくキーを持たないものもあれば、テンキーやファンクションキーを持つものもあります。

異なるデバイス毎に適した画面・動作となるよう3つの設定を用意しています。

①読み取り用「カメラアイコン表示」の ON/OFF

ハンディターミナルでは OFF をお勧めします。



②「数量入力ソフトウェアキー自動起動」の ON/OFF

テンキーを持つ場合は OFF をお勧めします。



左：テンキーありのデバイス
右：テンキーなしのデバイス

③「フッターメニュー背景色」の設定

フッターメニューは F1～F4 に割り当てられています。

F1～F4 に色が付いている場合は、キーに合わせた背景色の指定をお勧めします。



ヒント！

デバイス毎に指定するには「モデルの名称」を入力します。

モデルの名称は、マルチデバイスオプション Android アプリの設定・確認＞デバイス情報で確認できます。

4-4 倉庫と倉庫ごとの入力項目

本システムは複数倉庫に対応しています。

[1] 倉庫台帳について

倉庫は、遠隔地にある別々の拠点を表します。

倉庫は在庫スイートクラウドにおける「場所」を表す最も大きな単位です。

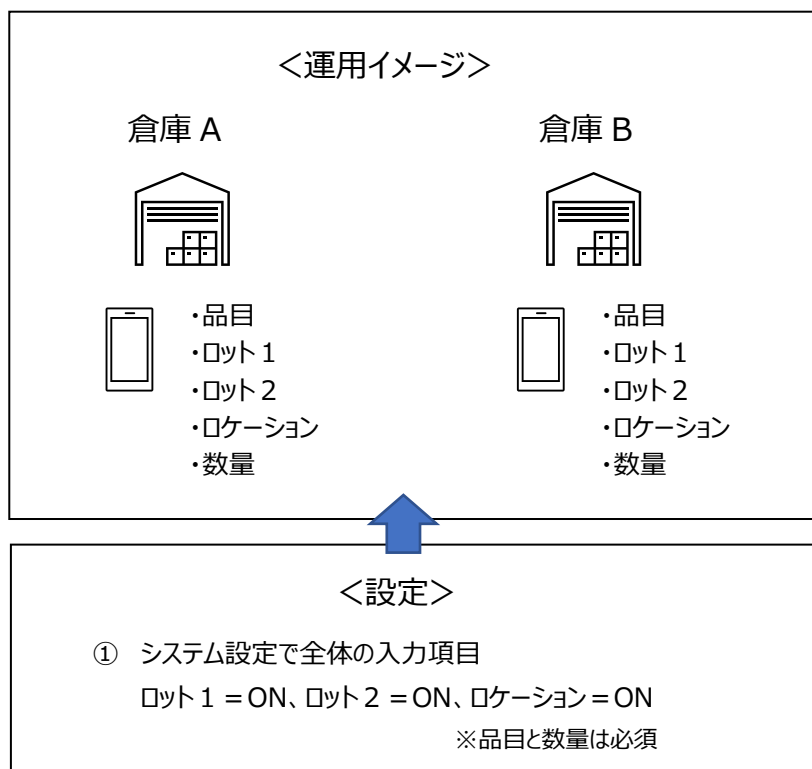
倉庫は1つ以上、設定する必要があります。

倉庫の数に上限はありません。

[2] 全倉庫共通の入力項目設定

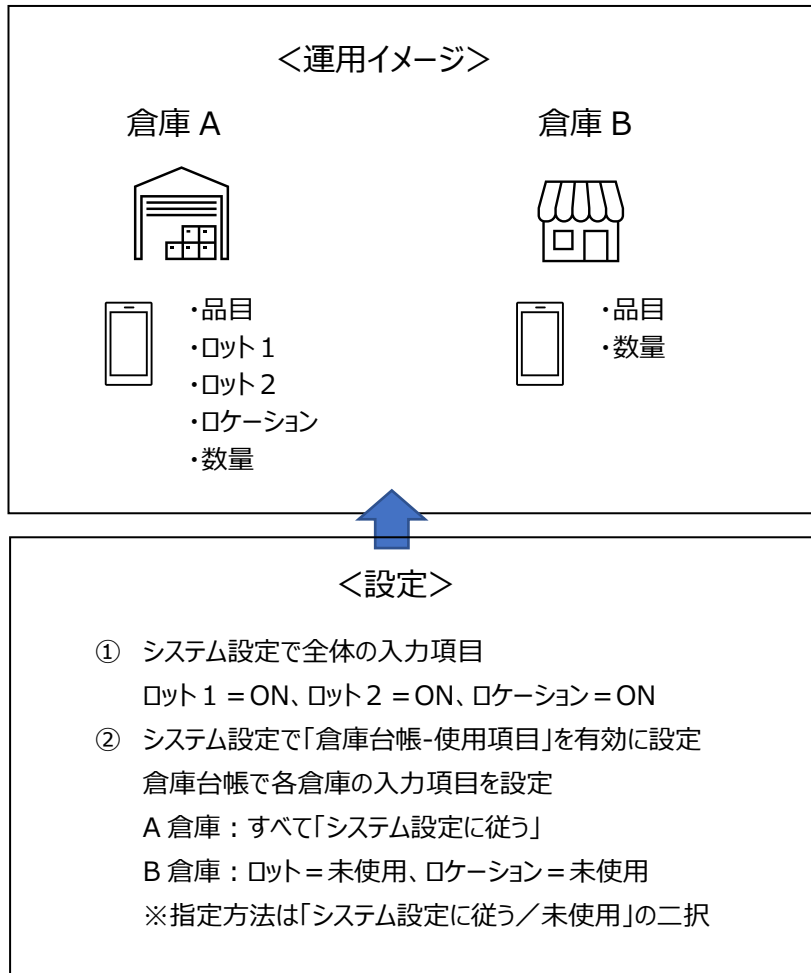
マルチデバイスオプションによるハンディターミナルやスマートフォンは、設定に沿って入力項目が決まります。

システム設定に入力項目を設定すれば、全倉庫に適用されます。



[3] 倉庫ごとの入力項目設定

マルチデバイスオプションによるハンディターミナルやスマートフォンにおいて、「A 倉庫ではロケーションやロット管理もするけれど、B 倉庫ではシンプルに品目だけで在庫管理をしたい」そんな時は、システム全体の入力設定の他に、倉庫ごとの入力設定も行います。



ヒント！

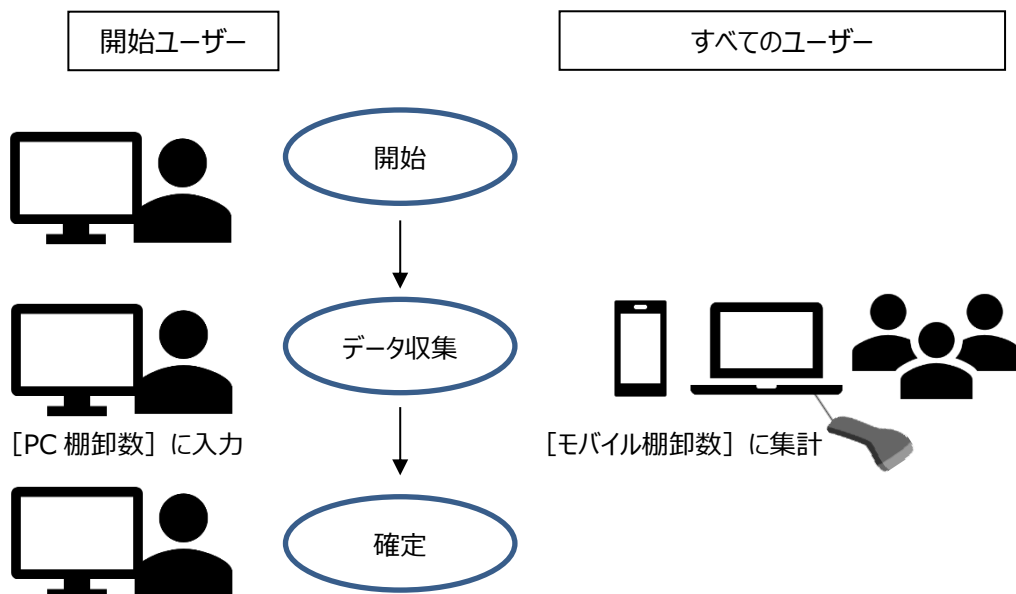
具体的な設定画面は「6 - 4 倉庫台帳」をご覧ください。

4-5 棚卸

PC またはモバイル機器にて入力される実地棚卸結果を集計し、確定します。
その結果は、データ出力（エクスポート）することが出来ます。

[1] 棚卸の流れ

- (1) 棚卸の開始（ユーザー権限：システム管理者、物流担当者）
棚卸を行うには【棚卸開始】をクリックします。
状態が棚卸中になります。
なお、同一倉庫内で同時に複数の棚卸を開始することはできません。
- (2) 棚卸データ収集（ユーザー権限：システム管理者、物流担当者、現場作業員）
PC またはモバイル機器にて、棚卸データを収集します。
【PC 棚卸数】と【モバイル棚卸数】の合算が【合計棚卸数】です。
【PC 棚卸数】は棚卸開始ユーザーのみ入力できます。（直接入力またはインポート）
すべてのユーザーはモバイル機器からの入力（オプション）や、PC での実棚入力ができ、それらは【モバイル棚卸数】に自動集計されます。
在庫の差異は、合計棚卸数と論理現品数（棚卸開始時の現品数）とのズレを示します。
- (3) 棚卸の確定（棚卸開始ユーザーのみ）
棚卸確定は棚卸開始ユーザーのみ実施できます。
棚卸データ収集が終わったら【確定】をクリックします。
棚卸の状態が確定になります。
棚卸の確定処理には数分～十数分かかることがあります（棚卸対象のデータ数に比例します）。



[2] 論理現品数と前回棚卸との比較

本システムは倉庫毎に直前の棚卸結果を在庫データとして内部に持ちます。
設定により棚卸画面に、在庫データ（前回棚卸結果）を論理現品数として表示させることができます。
棚卸画面で、前回棚卸結果と今回の棚卸結果の差を確認したい場合にご利用ください。
比較が不要な場合は、論理現品数なしで棚卸が開始されるよう設定をしてください。

ヒント！

設定は、システム設定のシステム運用タブの「棚卸-論理現品数」です。

[3] 外部システムの在庫データとの比較

外部システムが出力した在庫データ（帳簿在庫）との比較方法は2通りあります。
それぞれの特徴を理解し、自社にあった方法を採用しましょう。

① 棚卸メイン画面での比較

棚卸のメイン画面で比較できる方法です。

メイン画面の「論理現品数」は前回棚卸結果が表示させることができるため

1回目：外部システムの在庫データを取り込み（インポートして確定）

2回目：実地棚卸（1回目の数値が「論理現品数」に表示）

と、2回の棚卸登録を1セットで行います。

② 棚卸外部データ比較

実地棚卸では外部システムが出力した在庫データにはない項目も入力したいケースがあります。

例) 差異が発生した在庫をスムーズに確認するため、ロケーション（棚番）も入力

例) 在庫の使用期限も入力

こうした内容が異なる比較は、メイン画面では表示できません。

そのため「外部データ比較」画面を用意しています。

それぞれの特徴を表にまとめます。

	棚卸メイン画面での比較	棚卸外部データ比較
棚卸の入力項目	外部データと同じ	外部データより細かい項目にも対応（棚番や使用期限など）
システム設定＞システム運用タブ＞論理現品数	前回棚卸結果	なし
運用の流れ	棚卸 2回で 1セット 1回目は外部データ取り込み 2回目が実地棚卸	棚卸 1回で実施 比較は別画面にて実施
比較結果	棚卸結果として記録される （出力も可能）	比較結果の出力は可能だが、 棚卸結果には記録されない。
モバイル入力画面の比較データ（帳簿在庫数）表示 ※「論理数」の表示の有無	あり 	なし 

[4] 棚卸開始ユーザーと PC 棚卸数

棚卸開始ユーザーだけが入力できる「PC 棚卸数」とすべてのユーザーが入力できる「モバイル棚卸数」は別管理され、それらの合算が棚卸の結果である [合計棚卸数] となります。

PC 棚卸数の特徴は以下の通りです。

- ・ 棚卸開始ユーザーは、棚卸画面の「PC 棚卸数」欄に EXCEL のように直接入力できます。マイナス入力もでき、モバイル機器の操作ミス等の調整も行えます。在庫が無かった場合には明示的に数量 0 も入力できます。
- ・ 棚卸開始ユーザーは、ファイルインポートも可能です。結果は「PC 棚卸数」に加算されます。
- ・ 「PC 棚卸数」は予め初期値をセットすることも可能です。リストを使った棚卸（棚卸準備表に記入し結果を PC に反映する方法）を行う場合、「論理現品数（帳簿在庫）」を初期値としてセットしておくことで、差異のあったものだけの修正で済みます。初期値セットの設定方法については「7 - 1 [2] システム運用」をご覧ください。

[5] すべてのユーザーとモバイル棚卸数

棚卸開始ユーザーだけが入力できる「PC 棚卸数」とすべてのユーザーが入力できる「モバイル棚卸数」は別管理され、それらの合算が棚卸の結果である [合計棚卸数] となります。

モバイル棚卸数の特徴は以下の通りです。

- ・ モバイル機器よりバーコード読み取りなどで棚卸結果を入力でき、その結果は「モバイル棚卸数」に反映されます。マイナスは入力できませんが、明示的に数量 0 は入力できます。
- ・ ダブルカウント（同一の「品目」「ロット 1」「ロット 2」「状態」「ロケーション」の入力を行う）を行うと、「上書」か「加算」かの選択が表示されます。上書を選ぶと、入力した数量が「モバイル棚卸数」に上書きされ、これまでの結果は消えます。加算を選ぶと、入力した数量がこれまでの「モバイル棚卸数」に加算されます。
- ・ モバイル機器と同様の入力を PC で行うのが「実棚入力」機能です。実棚入力画面はモバイル扱いとなり、「モバイル棚卸数」に反映されます。実棚入力の設定方法については「7 - 1 [2] システム運用」をご覧ください。
- ・ 棚卸開始ユーザーでも、棚卸画面の「モバイル棚卸数」欄を直接編集することはできません。

[6] モバイル棚卸数（詳細）

モバイル機器より入力された結果は、モバイル棚卸数に反映されますが、以下の入力方法で登録したものは、「いつ」「誰が」「何か」「いくつ」入力したのかまで記録されます。

- ・ マルチデバイスオプション（アプリケーション Version1.50 以降）
- ・ 実棚入力（アプリケーション Version3.10 以降）

確認方法ですが、棚卸画面で該当の「モバイル棚卸数」で右クリックし、「モバイル棚卸数（詳細）」を選ぶと専用画面が表示されます。

いつ、だれが、どのような内容を入力したのかを確認することで、ピンポイントで棚卸作業を追跡できます。

また、棚卸画面でのエクスポートでは、すべてのモバイル棚卸数（詳細）の内容を、モバイル棚卸入力履歴として出力できます。

「作業者ごとのすべての入力履歴を確認したい」といったときに、ご利用ください。

ヒント！

モバイル棚卸数（詳細）画面については「6 - 1 [5] モバイル棚卸数（詳細）」をご覧ください。

[7] 棚卸メイン画面での比較の流れ

以下の手順で利用します。

- ① 外部システムが出力した在庫データ（帳簿在庫）を「棚卸表（詳細）」フォーマットにします。
※フォーマットはマニュアル「別紙：ファイルフォーマット 3 [2] 棚卸表(詳細)」で確認できます。
<https://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/manual.htm>
※棚卸 インポート雛形（EXCEL）を使うと簡単にフォーマット変換ができます。
https://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/import_template.htm
- ② 1 回目の棚卸で外部システムの在庫データを取り込みます。
棚卸画面を呼び出し、棚卸開始後、①のファイルをインポートし、棚卸を確定
- ③ 2 回目の棚卸で実地棚卸を実施します。

[8] 棚卸外部データ比較の流れ

以下の手順で利用します。

- ① 外部システムが出力した在庫データ（帳簿在庫）を準備します。形式は CSV です。
- ② 棚卸メイン画面の [外部データ比較] ボタン押下
- ③ 棚卸外部データ項目指定画面で、外部データの必要項目を指定し、①のファイルを取り込み

- ④ 棚卸外部データ比較画面で、③で指定した項目に沿って棚卸結果を集計し、外部データと比較（エクスポートも可能）

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	外部データ 在庫数	棚卸数	差異数	単位
009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	35	35	0	個
009332011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1	15	20	5	個
009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	30	30	0	個

ヒント！

詳細については「6 - 1 [7] 棚卸外部データ比較」をご覧ください。

[9] 棚卸日付について

棚卸画面には「棚卸日付」があります。

通常はシステム日付ですが、変更することも可能ですが、変更しても棚卸結果や在庫への反映に影響はありません。

The screenshot shows a web application interface for '棚卸' (Inventory). The main area contains several input fields: '棚卸番号' (Inventory Number) with value '00000000393', '棚卸日付' (Inventory Date) with value '2021/09/14' (highlighted by a red box), '倉庫' (Warehouse) with value 'T01:テスト用倉庫', and '担当者' (Responsible Person) with value '山田 太郎 (t_yamada)'. There is also a '摘要' (Summary) text area. On the right side, there is a '状態' (Status) section with a red indicator '棚卸開始待ち' (Waiting for Inventory Start), a button '棚卸開始(K)' (Start Inventory), and two buttons '確定' (Confirm) and '中止' (Cancel).

4-6 在庫参照と在庫数について

[1] 在庫参照画面で確認可能な情報

在庫参照には、倉庫や品目のほかにロットやロケーション、在庫状態別といった実在庫レベルで確認できる「在庫参照（詳細）」画面と、それらを倉庫・品目別に集計した「在庫参照（品目別）」画面の2つの画面があります。

それぞれで確認できる情報は以下のとおりです。

<在庫参照 品目別・詳細での確認情報一覧>

品目別	モノ	品目（Keyコード）別
	保管場所	倉庫別
	数	現品数・出荷不能数・出荷可能数
詳細	モノ	品目（Keyコード）・ロット1・ロット2・在庫状態別
	保管場所	倉庫・ロケーション別
	数	現品数

[2] 品目別の現品数と出荷可能数の算出方法

品目別の現品数と出荷可能数・出荷不能数は以下のルールに従い導かれます。

<品目別在庫参照の現品数と出荷可能数の算出ルール>

現品数	該当品目の詳細における、 全在庫状態・全ロケーションの現品数の合算
出荷不能数	該当品目の詳細における、 在庫状態が通常品以外 + （システム設定により）使用期限切れの在庫
出荷可能数	品目別の、現品数 - 出荷不能数

4-7 ユーザー台帳と権限

[1] ユーザーの登録

在庫スイートクラウドは起動時に必ずログイン画面が表示され、「グループ ID」「ユーザー」「パスワード」を入力して利用します。

予めユーザー台帳にて使用ユーザーを登録する必要があります。

[2] 権限と実行可能な機能

各ユーザーには「システム管理者」「物流担当者」「現場作業員」「参照のみ」「仕入先担当者」のいずれかの権限を設定します。権限により、実行できる機能が決定されます。

(○ = 登録・参照 △ = 参照のみ × = 登録・参照不可)

機能 権限	システム 管理(※1)	台帳 データ (※2)	棚卸 (※3)	在庫参照	現品票 発行
システム管理者	○	○	○	○	○
物流担当者	×	○	○	○	○
現場作業員	×	×	○	○	○
参照のみ	×	△	△	○	○
仕入先担当者	×	×	×	×	○

※1 システム管理とは「システム設定」と「IP アドレス制限設定/データバックアップ/リストア/データ整理/運用状況確認/クライアントログ保存/アクセスログ」を指します。(クライアントログ保存のみ、物流担当者も実行可能です)

※2 例外として、ユーザー台帳はシステム管理者のみが参照及び登録できます。

※3 棚卸の開始と確定はシステム管理者と物流担当者のみ可能です。

ヒント!

大きく分けて

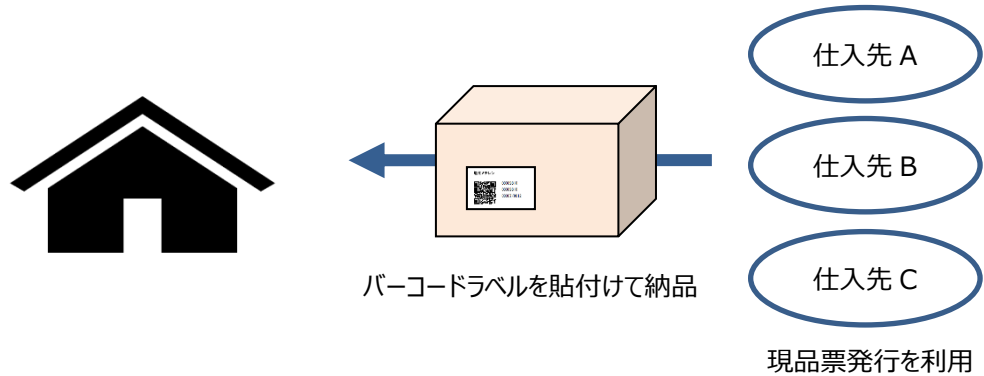
- ・情報部門の方は、データベース関連含め全機能を利用できる「システム管理者」
 - ・棚卸のメイン担当の方は台帳メンテナンスも可能な「物流担当者」
 - ・モバイル機器を使い、実地棚卸の入力のみ行う方は「現場作業員」
- とお考えください。

[3] システム管理者権限ユーザーの削除について

本サービスを運用するにあたり、1名以上のシステム管理者権限ユーザーが必要です。ユーザーの削除や権限変更を行う結果、システム管理者権限ユーザーが居なくなる様な処理は受け付けられません。

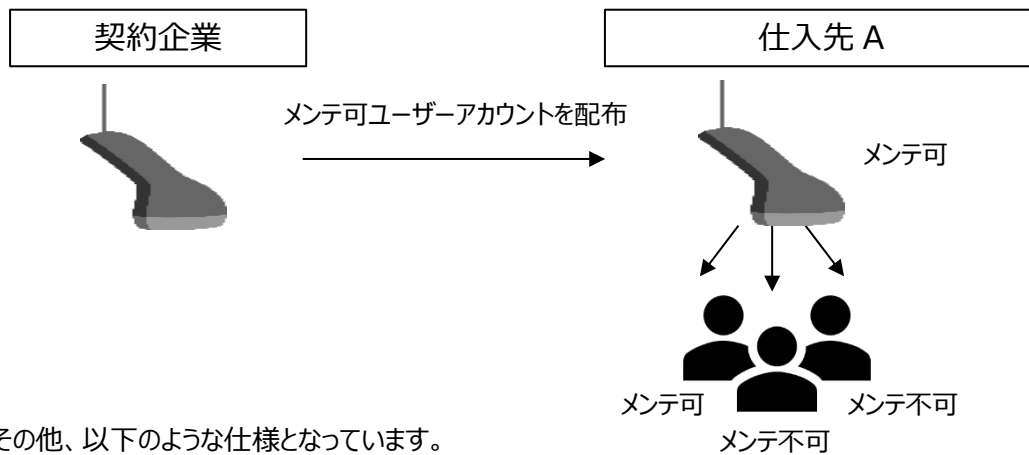
[4] 仕入先担当者権限について

仕入先担当者権限は、自社管理用のバーコードラベルの発行・貼付を仕入先に依頼するため、在庫クラウドの現品票発行機能を仕入先に安全に提供することを想定したユーザー権限です。



本システムは、利用する方おひとりずつにユーザーIDとパスワードを設定して利用します。しかし、各仕入先のユーザーまで契約企業側がメンテナンスすると負担が大きくなることがあります。そのため、仕入先担当者権限のユーザーには「同一仕入先担当者のメンテナンス」の可／不可が設定できます。

契約企業側は、仕入先に対し「同一仕入先担当者のメンテナンス可」の1ユーザーを最初に提供すれば、その後は仕入先側で自社ユーザーの追加・変更・削除が可能となります。



その他、以下のような仕様となっています。

- ・ 仕入先別の最大ユーザー数をシステム設定に設定します。
- ・ 仕入先担当者によるユーザーメンテナンスは PC 操作のみです。（インポート／エクスポートは不可）
- ・ 仕入先担当者に品目一覧や在庫一覧を見せたくない場合を想定し、入力補助利用の有無を設定できます。

[5] ユーザー権限設定のポイント

ここまで記述してきた権限と所属倉庫設定のポイントをまとめます。

参照制限（参照・エクスポート）

- (1) 台帳データを参照できるか？
「現場作業員」は台帳の参照はできません。
- (2) システム設定とユーザー台帳を参照できるか？
ユーザー権限が「システム管理者」の場合のみ、参照できます。
- (3) どの倉庫の情報を参照できるのか？
「全倉庫」所属のユーザーは全ての倉庫を参照できます。
1つの特定倉庫または複数の倉庫に所属しているユーザーは、自身の所属倉庫のみ参照できます。
但し、[全倉庫参照可]がONの場合は全ての倉庫を参照できます。
- (4) ラベル発行できるか？
全ての権限で可能です。

書込制限（登録・インポート）

- (1) 台帳を登録できるか？
ユーザー権限が「システム管理者」と「物流担当者」のみ、台帳の登録ができます。
- (2) システム設定・ユーザー台帳を登録できるか？
ユーザー権限が「システム管理者」の場合のみ、システム設定とユーザー台帳の登録ができます。
- (3) どの倉庫に対して登録できるのか？
「全倉庫」所属のユーザーは全ての倉庫に対して登録ができます。
1つの特定倉庫または複数の倉庫に所属しているユーザーは、自身の所属倉庫に対してのみ登録ができます。
※モバイルオプション及びメモリHT 中継ソフトは、複数の倉庫に所属しているユーザーによる登録に対応していません。

現品票発行以外の制限

- (1) 現品票発行機能だけを利用させたいか？
ユーザー権限が「仕入先担当者」の場合は、現品票発行機能だけが利用できます。

4-8 品目を特定するバーコードとその設定

[1] 標準検索項目と専用検索項目

品目台帳の項目のうち、品目を特定するバーコード（品目バーコード）として扱われる項目は「Key コード」が基本です。

設定を変更することで「品目コード」にすることもできます。

この2項目が「標準検索項目」であり、これらは常に PC 画面に表示されます。

また、マルチデバイスオプションを加入すれば、同一品目に複数の JAN コードが存在する場合や、ITF/GS1(GTIN-14)で複数の梱包インジケータが存在する場合など、より複雑な検索にも対応できます。

設定を変更することで、各品目に JAN/UPC を最大 3 つ、ITF/GS1(GTIN-14)を最大 3 つ登録でき、それぞれに入数が設定でき、これらを「専用検索項目」と呼びます。

マルチデバイスオプションによるハンディターミナルやスマートフォンでは、流通用バーコード（JAN や ITF、GS1-128 や GS1-Databar など）を読み取った際にバーコード種別を識別し、専用項目を検索します。

専用検索項目は、PC 画面には表示されません。

<標準検索項目>

- ・Key コード
- ・品目コード
- ※PC での表示 & 検索あり

<専用検索項目>

- ・JAN/UPC 1～3
- ・ITF/GS1(GTIN-14) 1～3
- ※マルチデバイスオプションのみ検索可
- ※PC での表示 & 検索なし

ヒント！

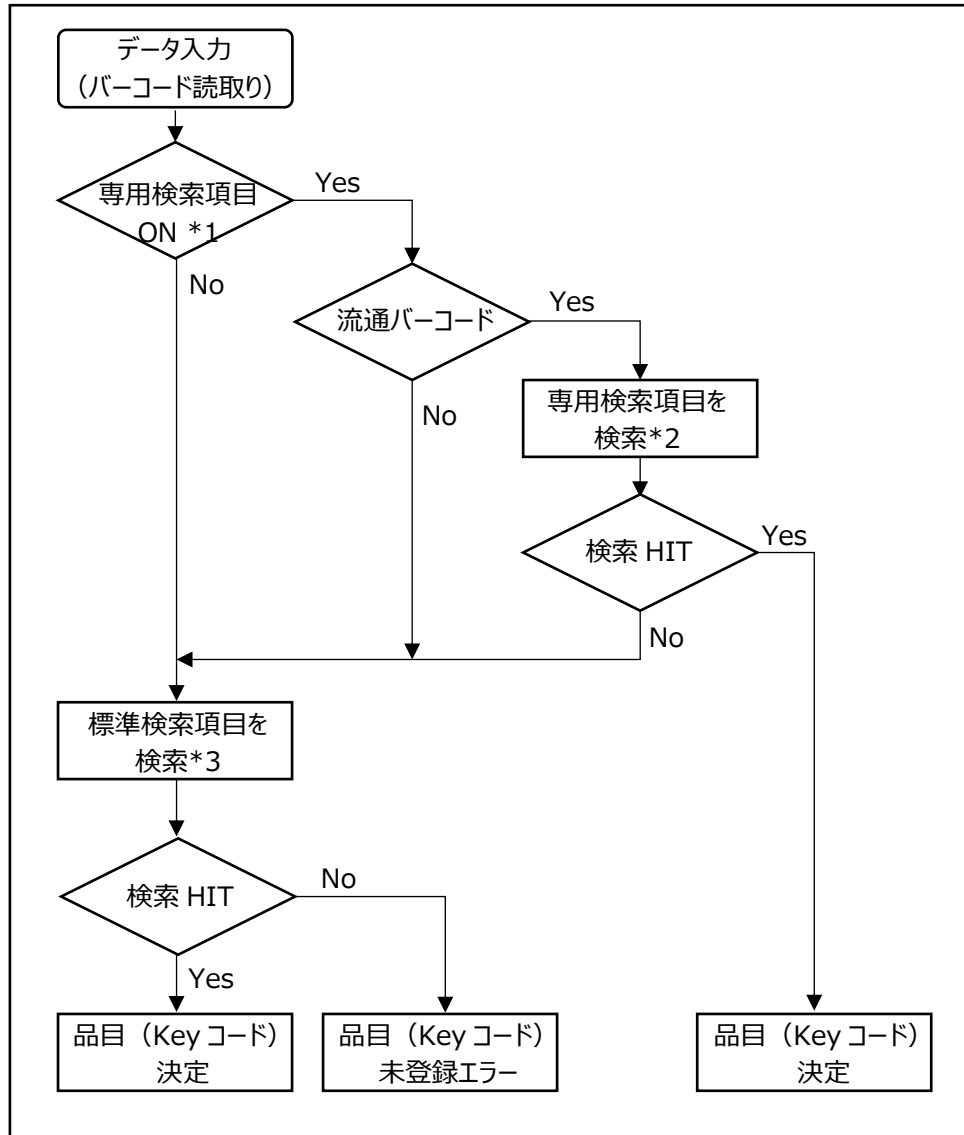
スマートフォンでも Bluetooth バーコードスキャナー経由での入力はキーボード扱いとなります。キー取込でもデータの内容より GTIN-12 (UPC)、GTIN-13 (JAN/EAN)、GTIN-14 (ITF、GS1-128、GS1-Databar) の判定を行い、専用検索項目を利用することができます。その場合は、システム設定のモバイル(拡張)タブの「流通バーコード自動判定を有効にする」を ON に設定してください。

ヒント！

JAN/UPC の場合は、専用項目のほかに標準検索項目もあわせて検索します。

第4章 在庫管理の基本

「標準検索項目」と「専用検索項目」の検索の流れは、以下の通りです。



- *1 専用検索項目を使用される場合は、システム設定の変更が必要です。
[システム設定] > [モバイル(拡張)タブ] > [専用検索項目の利用]の
「品目台帳-JAN/UPC」や「品目台帳- ITF/GS1(GTIN-14)」を ON にしてください。

第4章 在庫管理の基本

*2 専用検索項目が「ON」の場合に、流通用バーコード（JAN や ITF など）を読み取るとシステムがバーコード種別を判定し、品目台帳の専用検索項目を検索します。

なお、バーコード種別の判断は、バーコード取込方式によって異なります。

（使用するデバイスなどにより方式が異なります）

- ・ 直接取込：JAN や ITF などのバーコード種別の情報も取り込み判定します。
- ・ キー取込：バーコードのデータ形式（桁数など）でバーコード種別を判定します。

キー取込の場合は、システム設定を変更が必要です。

[システム設定] > [モバイル(拡張)タブ] >

[流通バーコード自動判定を有効にする]を ON にしてください。

※バーコード取込の詳細は、「4 - 3 [1] 2つのバーコード取込方式とバーコード種による検索項目の指定」で確認できます。

*3 標準検索項目では、Key コード or 品目コードを選択し検索します。

なお、専用検索項目がヒットせず、標準検索項目を検索した場合は、システム設定の標準検索項目で設定している項目を検索します。

[2] 品目台帳への JAN の設定項目

JAN をどの品目台帳のどの項目に設定すべきかは、上位システムのデータの持ち方や、取り扱いアイテムの特性により判断します。

いくつかの例を掲載しますので、参考にしてください。

状況	本アプリケーションの設定項目
上位システムの商品マスターは、Key コードに JAN を設定している	品目台帳の Key コードに JAN を設定 (上位システムに合わせる)
上位システムの商品マスターは、Key コードとして社内コード、別項目 (1 項目) に JAN を設定している	PC 画面に表示させたい、または PC でも JAN を検索したい場合は、品目コードに JAN を設定。そうでなければ、専用検索項目に JAN を設定。
1 つのアイテムに複数の JAN を設定する必要がある。(新・旧の JAN 対応)	専用検索項目に JAN を設定 (最大 3 つまで設定可能)

ヒント!

バーコード現品票や帳票 (バーコードあり) で印字されるバーコードは、内容は Key コードまたは品目コード (システム設定による)、バーコード種別は CODE-128 です。

マルチデバイスオプションでは、バーコード種別を判断し、検索する項目を自動的に切り替えるため、JAN もそれらのバーコードも問題なく扱えます。

[3] 専用検索項目へのデータ設定

JAN/UPC には、JAN(13桁)・JAN 短縮(8桁)・UPC-A(12桁)・UPC-E(8桁)のいずれかの値を設定します。

ITF/GS1(GTIN-14)には、GTIN-14(14桁)を設定します。

[4] GS1 アプリケーション識別子への対応

GS1-128/GS1 Databar をハンディターミナルやスマートフォン（マルチデバイスオプション）で読み取ることで、GS1 アプリケーション識別子から品目やロットなどの入力を一括で行います。

対応する識別子は以下の通りです。

アプリケーション 識別子(AI)	内容	在庫スイートクラウド 対応項目
(01)	14桁	ITF/GS1(GTIN-14)
(17)	「有効期限(6桁)」※1	ロット1
(30)	「数量(最大8桁)」※1	数量
(10)	「ロット(最大20桁)」※1 ※2	ロット2
(21)	「シリアル(最大20桁)」※1 ※2	ロット2

※1 GS1-128/GS1 Databar に情報が含まれている場合のみ、入力されます。

※2 「ロット」と「シリアル」の両方とも GS1-128/GS1 Databar バーコードに含まれている場合、ロット2には、「LOT123 / 00123」のように"/"で区切って入力します。

ヒント！

GS1-128 は、情報量が多い場合や表示スペースが小さい場合に 2 段バーコードになるケースがあります。

マルチデバイスオプションでは、GS1-128 の 2 段バーコード読み取りに対応しています。

読み取り可能な GS1-128 の 2 段バーコードの条件は以下の通りです。

- ・1 段目 先頭の AI が(01) かつ (17)(10)(21)が含まれない
- ・2 段目 先頭の AI が(17)

[5] 本アプリで発行する品目バーコード

本アプリで発行する品目バーコードを含むラベルや帳票は大きく3つあります。

- (1) バーコードラベル
現品票発行画面より発行するバーコードラベルです。
- (2) 品目バーコード一覧
品目台帳一覧画面より発行する帳票です。
- (3) 入荷・出荷・振替 関連帳票
入荷・出荷・振替 関連帳票「～（バーコードあり）」では、明細ごとにバーコードを印字します。

バーコード化される内容は、システム設定により Key コードまたは品目コードから選べます。

4-9 現品票

[1] 現品票とは

在庫スイートクラウドでは、棚や通い箱、現物に「現品票」を貼り付けハンディターミナルやバーコードスキャナーで読み取ることで、作業時の品目・ロットなどの入力の手間を省き、かつ正確に入力することができます。

現品票には QR コード・バーコードの2種類があり、タックシールまたはラベルプリンター（指定機種）で発行できます。

<バーコード現品票>



<QRコード現品票>

ラベル入数の印字なし



ラベル入数の印字あり



ヒント！

現品票の QR コードにはラベル入数情報もセットすることができます。（セットは任意）
セットすると、数量の初期値として表示されるため、入荷から出荷まで開封されないアイテムの管理に便利です。

なお、セットしたラベル入数の印字の有無は、印刷時に選択できます。

第4章 在庫管理の基本

対応するラベルサイズは、1 - 4 帳票一覧をご参照ください。

また、対応するタックシールやラベルプリンターの機種はオンラインサポートに随時掲載しています。

ヒント！

対応するタックシールのメーカー型番や、ラベルプリンター対応機種・対応ラベルは、オンラインサポート「構築情報」にてご覧ください。

<http://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/system.htm>

[2] 現品票の発行方法

現品票の発行は「現品票発行」画面から行います（メニュー [作業] → [現品票発行]）。

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	ロット 1	ロット 2	ラベル入数	枚数
WK 1821	24902710606407	15 A・20 A 兼用角型コンセント				1	3
*							

<発行内容の入力>

この画面で、発行する現品票の内容と枚数を入力します。

入力する方法は以下の3通りがあります。

① 現品票発行画面での直接入力

伝票入力画面と同様の入力補助機能が使用できます（F4:品目、F3:在庫）。

各セルは自由に編集することができます。

QRコード現品票を発行する場合は必要な項目全てを入力してください。

バーコード現品票を発行する場合は [Keyコード] [品目名 1] [品目名 2] [枚数] を入力してください。（その他の欄を入力してもバーコード現品票には含まれません。）

② インポート

現品票発行画面で CSV ファイルをインポートすることができます。

別のシステムと連携して入荷前に現品票を発行する際に便利です。

③ QRコード現品票読み込みによる入力

既に発行している QRコード現品票を読み込んで入力することができます。

同じ QRコード現品票の追加発行などに便利です。

第4章 在庫管理の基本

<発行>

発行内容と枚数の入力後、印刷ボタンを押して現品票を印刷します。

ここで種類やサイズを選択と、印刷位置の指定等が可能です。

※帳票種別 = QRコードの場合、[ラベル入数の印字]をオンにすると、QRコード現品票にラベル入数が印字されます。

帳票印刷

レイアウト選択

帳票種別

レイアウト

ラベル入数の印字

プリンター

Microsoft Print to PDF

ラベル印刷設定

印刷開始ラベル 行 列

垂直方向印刷位置調整 mm

説明

ラベル入数を印字するかどうかを指定します。

ヒント！

本アプリケーションで発行するバーコード／QRコードは、システム設定の内容に関わらず [Keyコード] です。

ヒント！

本アプリケーションで発行するバーコードは、システム設定により [Keyコード] または [品目コード] です。なお、QRコードは常に Keyコードです。

ヒント！

システム設定でロット1やロット2を入荷日に設定することで、品目確定時に自動的に当日の日付が入力されます。

ヒント！

在庫スイートクラウドから現品票を発行せず、外部ツールで現品票を発行したい場合は、エクスポート機能をご利用ください。

この時、「QRコード用」で始まるファイル形式を選択すると、QRコード化している内容を含みます。一般的なラベル発行ソフトではこの形式のファイルを元にする事で同内容のQRコードが印刷しやすくなります。

注意！

ラベル印刷ではバーコードがラベル幅に収まるようにサイズを自動調整して印刷します。このため、バーコードの桁数が多いほど印刷が細かくなり、スキャナで読み取れなくなる可能性があります。プリンタの印字品質や読み取り機器の性能によるため一概には言えませんが、44面ラベルではバーコード15桁程度までを目安としてください。

ヒント！

帳票やタックシールでのラベル発行では「通常使うプリンター」が指定されますが、ラベルプリンター発行ではPC（アカウント）・レイアウト毎に前回発行したプリンタードライバーが指定されます。

ヒント！

システム設定でロット1やロット2を入荷日に設定することで、品目確定時に自動的に当日の日付が入力されます。

[3] シリアル現品票

シリアル付の現品票を発行することもでき、これを「シリアル現品票」と呼びます。

シリアルは、複数の PC で発行してもユニークになるよう、以下のようなルールで発番されます。

シリアル発番ルール
発行場所倉庫コード+YY(西暦下 2 桁)+M(月 1 桁)+通し番号
※M は、1～9 月 = 1～9、10 月=A,11 月=B,12 月=C
※通し番号は、発行毎に 1 増え、月が替わることにリセットされます。
通し番号の桁数はシステム設定で指定しますが、超えた場合は指定以上の桁数となります。

発行方法は、バーコード現品票とほぼ同じです。

但し、インポートやエクスポートはありません。

シリアル現品票には Key コードとシリアルの 2 つの情報が入っています。

バーコードと QR コードいずれでも発行できます。

ヒント！

シリアル現品票のバーコードは、システム設定に関わらず Key コードがコード化されます。

ヒント！

バックアップファイルをリストアしても発番情報は引継がれます。

リストアしても、古いシリアルを発行することはありません。

注意！

シリアル現品票は発行機能だけの提供です。

シリアル現品票を活用してユニークな管理をしたい場合は専用アプリが必要となります。

4-10 独自バーコード

[1] 独自バーコードとは

Key コードやロットなど、1つのバーコード／QR コードに各ユーザー独自のルールに従い、複数の情報を含めて運用されることがあります。

固定長または区切り文字によるルールを設定することで、本サービスの対応項目にセットさせることができます。

そうしたバーコード／QR コードを「独自バーコード」と呼びます。

例) 先頭 10 桁が Key コード、11 桁目から最後までがロット 1



[2] 対応項目

独自バーコードで設定できる対応項目は以下の 4 項目です。

なお、品目を特定するために入力するコード（設定により Key コードまたは品目コード）は必ず含んでいる必要があります。

	項目名	必須	備考
1	Key コードまたは品目コード	○	品目バーコード読み取り検索項目の内容
2	ロット 1		
3	ロット 2		
4	数量		

[3] データ加工

独自バーコードを対応項目に分割した後、以下の様にスペースの除去が行われます。
また、システム設定により0の除去や小数点の挿入が可能です。

	項目名	固定長	可変長
1	Keyコードまたは品目コード	<ul style="list-style-type: none"> ・前後のスペースを除去 ・システム設定により先頭の0を除去が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・後ろのスペースを除去
2	ロット1	<ul style="list-style-type: none"> ・前後のスペースを除去 	
3	ロット2	<ul style="list-style-type: none"> ・前後のスペースを除去 	
4	数量	<ul style="list-style-type: none"> ・前後のスペースを除去 ・システム設定により小数点の挿入が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・前後のスペースを除去

ヒント!

QRコード現品票、独自バーコード対応はシステム設定により無効にできます。
利用しない場合は、無効にしてください。

4-1-1 荷姿管理と入数

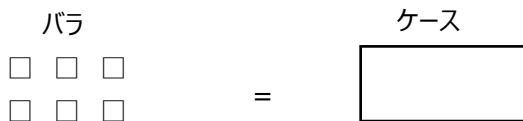
本システムは1つのアイテムで管理する単位は1つです。

バラとケースのように複数の単位で在庫管理する場合は Key コードを分けて管理します。

[1] 荷姿管理と品目台帳

例えば荷姿が「バラ」「ケース」の2種類ある場合を考えます。

バラを6個集めると1ケースとなる場合、このバラの品目の（ケース）入数は6となります。



入数=6

在庫スイートクラウドでは荷姿毎に品目台帳を登録することで、管理が可能です。

設定のポイントは以下に示します。

- ・ [Key コード] には荷姿毎に異なるコードを設定
- ・ 在庫参照や履歴参照で荷姿違いの同一品を確認しやすくするため、品目名などで同一情報を設定
- ・ 荷姿の小さいほうには（ケース）入数を設定

例)

Key コード	品目 CD	品目名 1	入数	単位
C12345	4909419891	チョコBOXABC	6	個
C12345-1	4909982413	チョコBOXABC	10 個入	ケース

[2] 荷姿の変更

上記例で、バラ1個を出荷する際にケース在庫しかない場合、ケースをバラすることがあります。

これを荷姿変更と呼びます。

在庫スイートクラウドにおいて、荷姿変更を行うには、在庫調整でケース情報をマイナスし、バラ情報をプラスしてください。

4 - 1 2 画像表示と設定

[1] 表示できる画像数と表示領域

在庫参照画面や履歴画面などに、商品画像を表示させることができます。

各品目には最大3つの画像と1つのサムネイル画像を指定することができます。

表示領域は、

- ・画像1～3の表示領域は任意
- ・サムネイル画像の表示領域は大（128×128ピクセル）、中（96×96ピクセル）、小（64×64ピクセル）で選択できます。

元画像が表示領域と異なる場合は、画像を拡大または縮小して表示します。

扱える画像形式は、JPEG（JPG）、PNG、GIFです。

表示できる画像には、画像の保存場所の違いで外部サーバーを利用する「リンク画像」と、オプションにより追加したストレージを利用する「ストレージ画像」の2種類あり、それぞれ、設定方法が異なります。

<画像に関する概要>

1品目の画像数	最大3画像 + 1つのサムネイル画像
画像表示領域	画像1～3は任意 サムネイル画像は大（128×128ピクセル）、中（96×96ピクセル）、小（64×64ピクセル）で選択
画像サイズ	必要以上に画像サイズが大きいと表示が遅くなる場合がありますので、適切な画像サイズで利用することをお勧めします。 マルチデバイスオプションで表示する場合、推奨サイズは500KBです。 画像サイズが大きいと表示されなくなることがあります。
扱える形式	JPEG（JPG）、PNG、GIF
画像の保存場所	・外部サーバーに保存 ・オプション（有償）により提供するストレージに保存 の2種類

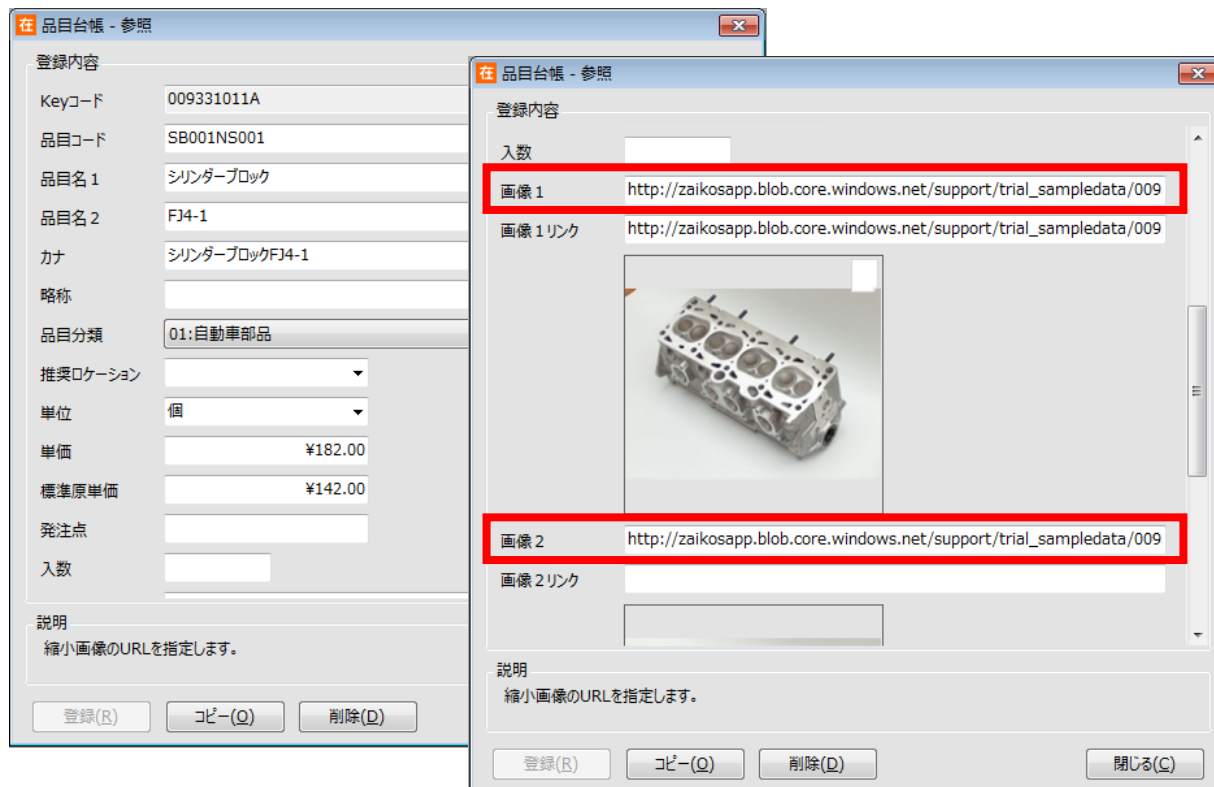
[2] リンク画像

リンク画像とは、本システム以外の外部サーバーに配置されている画像です。

外部サーバーに直接リンクすることで表示します。

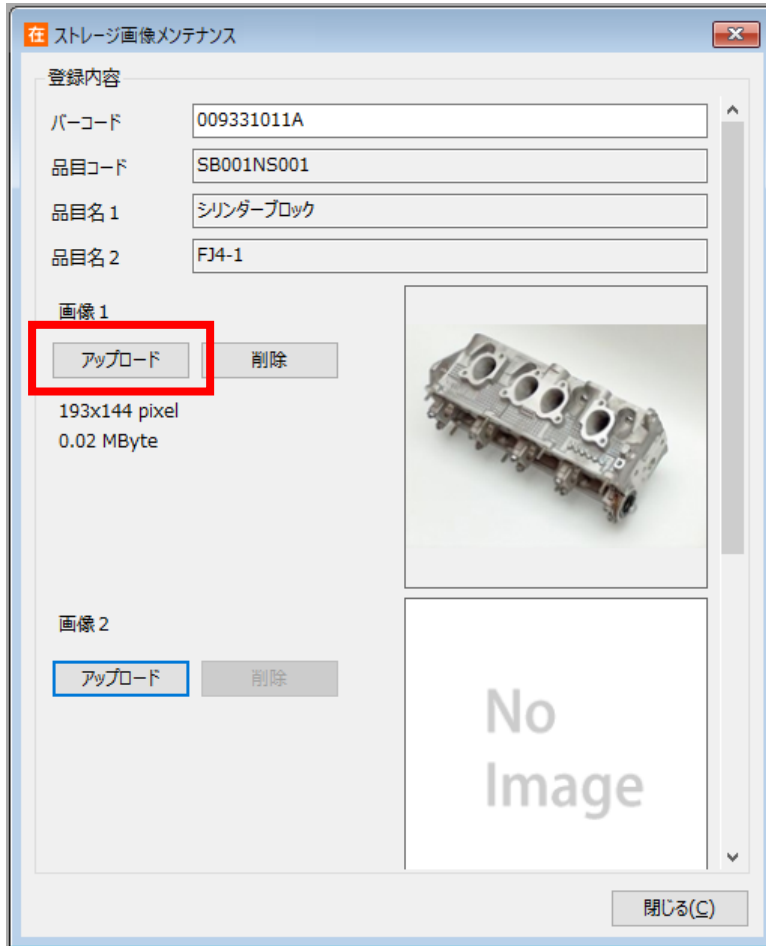
設定方法は、品目台帳に画像 URL を設定します。

画像 URL には、Web サーバー（Http サーバー）経由でアクセスできる画像への URL を指定してください。



[3] ストレージ画像

ストレージ画像は、本システムの「画像ストレージオプション」を契約することで扱える画像です。
画像用ストレージが提供され、本アプリケーションの専用画面から画像をアップロードして扱います。



ヒント！

画像1～3やサムネイル画像にリンク画像が設定されていれば、ストレージ画像はアップロードできません。品目台帳のリンク設定をクリアしてから、アップロードしてください。

同じく、画像1～3やサムネイル画像にストレージ画像が設定されていれば、品目台帳へのリンク設定はできません。専用画面でストレージ画像を削除してから、品目台帳にリンク設定をしてください。

注意！

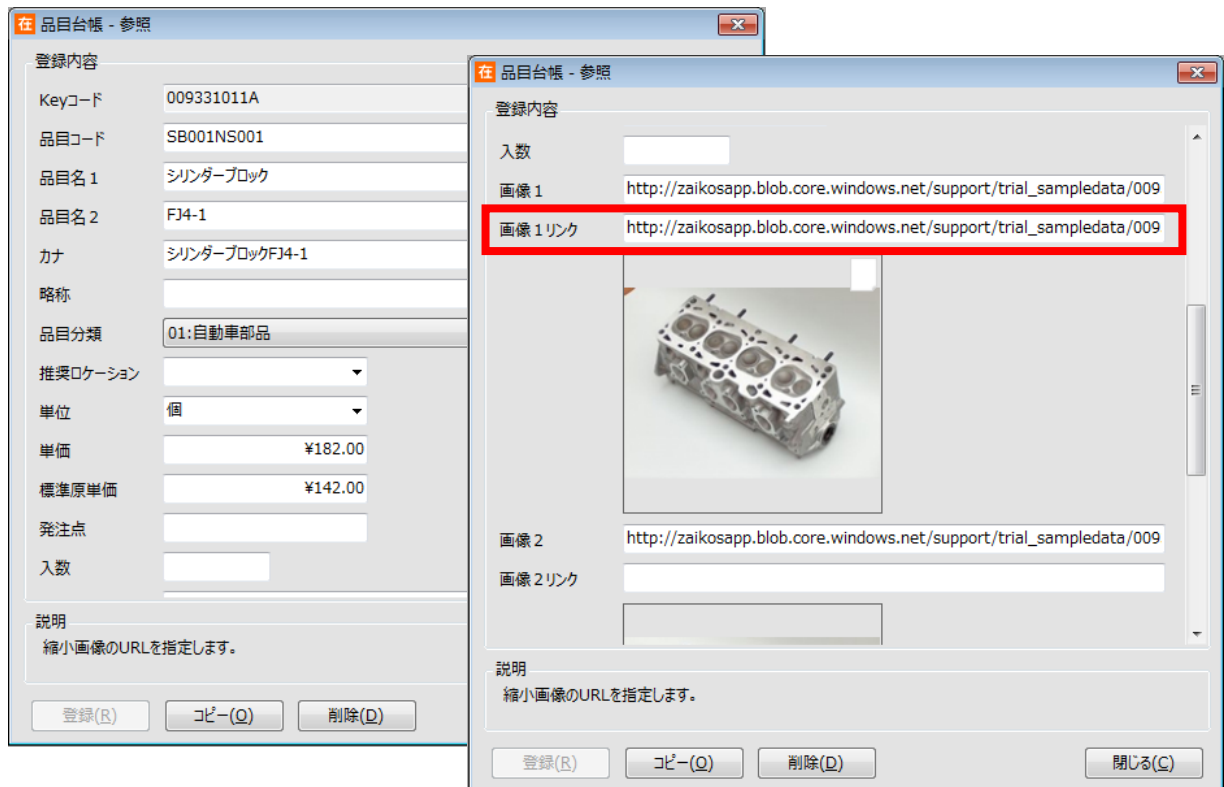
Keyコードに「/」(スラッシュ)が含まれる場合は利用できません。
また、「%」(パーセント)が含まれる場合、その後続く文字により利用できない場合があります。

[4] 画像へのリンク

リンク画像、ストレージ画像問わず、各画像には個別にリンクを設定することも出来ます。

設定方法は、品目台帳に設定します。

メーカー商品ページを設定するなど活用頂けます。



[5] サムネイル画像とポップアップ画面

在庫参照画面と履歴画面、品目台帳一覧には、画像表示が可能です。

条件指定画面の「画像を表示する」にチェックを入れることで、一覧画面にサムネイル画像が表示されます。

サムネイル画像を右クリックするとサムネイル画像サイズを選択出来ます。

在庫参照 (品目別) - 検索結果 (4件)

倉庫	Keyコード	品目コード	品目名1	品目名2	分類	画像	現品数	出荷不能数	出荷可能数	発注点	単位
10:東京倉庫	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01:自動車部品		1,488	3	1,185		個
10:東京倉庫	009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	01:自動車部品		150		150		個
10:東京倉庫	009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	01:自動車部品		100		100		個
10:東京倉庫	009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	01:自動車部品	No Image	578		338		個

ヒント！

在庫参照画面で、全品目を対象にサムネイル画像を表示させたい場合は、「在庫の無い品目も表示する」にもチェックします。また、複数倉庫の場合は、いずれかの倉庫を指定します。

在庫参照 (品目別) - 条件指定

検索条件

倉庫: 10:東京倉庫

Keyコード: ~

品目コード: ~

品目名1/品目名2: ~

品目分類: 01:自動車部品

在庫の無い品目も表示する

画像を表示する

発注点割れの品目のみ表示する

条件クリア(R) OK キャンセル(C)

第4章 在庫管理の基本

サムネイル画像をクリック（またはタッチ）すると、ポップアップ画面で画像または品目台帳情報が表示されます。（表示される画面はシステム設定で決まります）

ポップアップ画面（画像のみ）の場合、他の画像があれば矢印マーク、リンクが設定されていればリンクマークが表示されます。

矢印マークをクリックすると、画像が切り替わります。

リンクマークをクリックすると、リンク先情報が表示されます。

表示位置やサイズの変更が可能です。

表示位置や画像サイズは、Windows の（ユーザー）アカウント毎に記憶されます。

また、右クリックで、表示方法を「ウインドウに合わせる」「実際のサイズ」のいずれかに設定できます。



<ポップアップ画面（画像のみ）>

第4章 在庫管理の基本

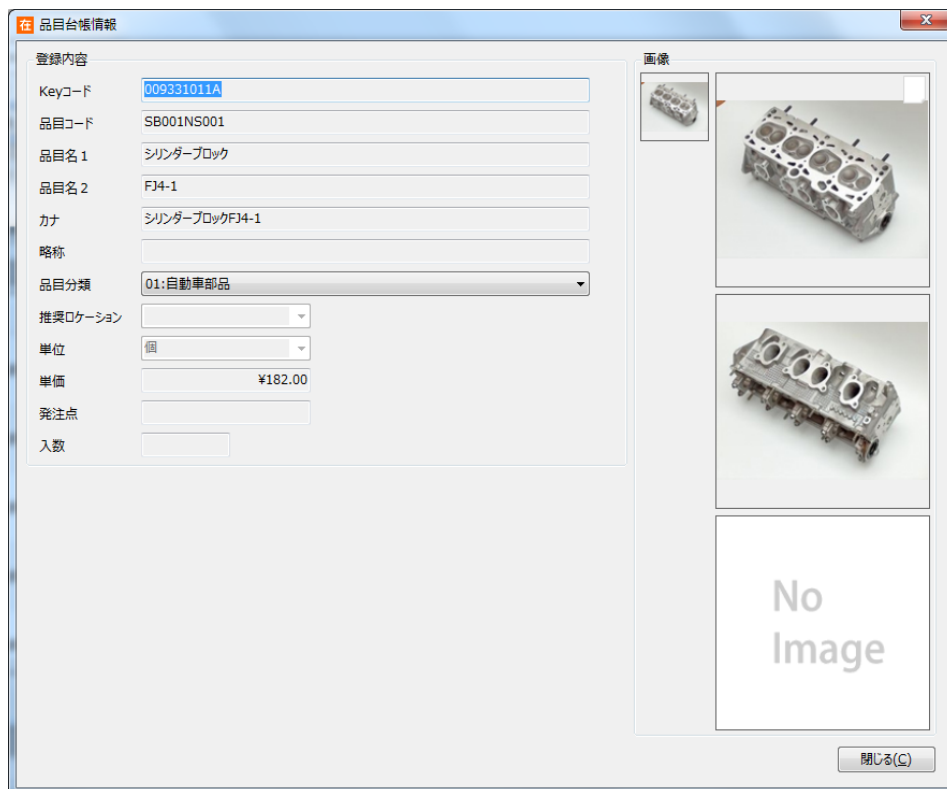
ポップアップ画面（品目台帳情報）の場合、品目台帳の情報と共に、サムネイル画像と3つの画像が表示されます。

リンクが設定されていればリンクマークが表示されます。

画像1～3をクリック（またはタッチ）すると、ポップアップ画面で画像が表示されます。

ポップアップ画面（品目台帳情報）は、表示位置の変更が可能です。

表示位置や画像サイズは、Windowsの（ユーザー）アカウント毎に記憶されます。



<ポップアップ画面（品目台帳情報）>

4 - 1 3 使用期限管理

[1] 使用期限とは

本システムにおける「使用期限」は在庫を出荷できる期限です。
以下の機能より、使用期限切れ在庫の管理をおこないます。

- 在庫参照(品目別)の期限切れ出荷不能カウント、在庫参照(詳細)の期限切れ検索

[2] 使用期限の前提条件・判定条件

本システムでは、ロット 1 またはロット 2 の用途を使用期限に指定することで、使用期限切れを管理します。

用途を「使用期限」に設定されたロット（以後、「対象ロット」と呼ばます）は、「YYYY/MM/DD」と「YYYY/MM」に統一されていることが前提です。（混在可）

使用期限切れ判定方法は、以下のとおりです。

- 対象ロットが、システム日付より古い日付のものを「期限切れ」とします。
- 対象ロットの日付形式が「YYYY/MM」の場合は、月末として判定します。
例：対象ロットが「2020/11」の場合、
2020年11月30日までは期限内
2020年12月01日からは期限切れ
- 対象ロットが空の場合は判定しません（＝期限切れではありません）。
- 対象ロットの日付形式（＝YYYY/MM/DD または YYYY/MM）でない場合、単純な文字列比較で判定します。

例：システム日付（または伝票日付）が2021年3月20日の場合、

"3"	> "2021/03/20"	→ 期限内
"1"	< "2021/03/20"	→ 期限切れ
"11/25"	< "2021/03/20"	→ 期限切れ

[3] 使用期限に関する設定

本システムで使用期限を管理するには、システム設定でロット1またはロット2の入力形式を日付形式（「YYYY/MM/DD」、「YYYY/MM」、「YYYY/MM/DD & YYYY/MM」のいずれか）にした上で、用途を「使用期限」に設定してください。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box with the '入力' (Input) tab selected. The '入力補助(I)' (Input Assistance) section is expanded, showing the following settings:

項目	形式	用途
日付入力 ロット1	YYYY/MM/DD	使用期限
ロット2	なし (カレンダー入力補助あり)	

Other settings visible in the dialog include:

- 品目バーコード読み取り: 標準検索項目 (Keyコード)
- 特殊品目バーコード読み取り(I): QRコード現品票, 独自バーコード
- 伝票入力時の推奨ロケーションの適用(L): 入荷, 入荷返品, 出荷, 出荷返品, 振替
- 伝票コピー(C): 伝票コピー機能を有効にする
- セット品展開入力: 推奨に挿入

Buttons at the bottom: OK, キャンセル(C), 適用(A).

第4章 在庫管理の基本

[4] 在庫参照と出荷期限切れ在庫

在庫参照（品目別）では、出荷期限切れ在庫は出荷不能数としてカウントされます。

在庫参照（詳細）では、検索条件「期限切れ検索」を指定することで、期限切れや期限内の在庫を検索できます。

在庫参照 (詳細) - 条件指定

検索条件

倉庫: 001:自社倉庫

Keyコード: ~

品目コード: ~

品目名:

AND/OR検索: なし

品目分類: <条件なし>

ロット1: ~ なしを指定する

期限切れ検索: 期限切れのみ

ロット2: ~ なしを指定する

在庫状態: <条件なし>

ゾーン: <条件なし>

ロケーション: ~ なしを指定する

積送中を含めない 画像を表示する

条件クリア(R) OK キャンセル(C)

また、検索結果画面では使用期限切れ在庫の対象ロットは太字で表示されます。

在庫参照 (詳細) - 検索結果 (3件)

倉庫	Keyコード	品目コード	品目名1	品目名2	分類	ロット1	ロット2	在庫状態	ゾーン	ロケーション	現品数	出荷引当数	残数	単位
14:札幌営業所	009331011A	SB001NS00	シリンダーブロック	FJ4-1	10:注意付	2020/01/11		通常品		A-2-1	10		10	個
14:札幌営業所	009331011A	SB001NS00	シリンダーブロック	FJ4-1	10:注意付	2021/01/12		通常品		A-2-1	15		15	個
14:札幌営業所	009331011A	SB001NS00	シリンダーブロック	FJ4-1	10:注意付	2021/01/13		通常品		A-1-1	12		12	個

品目別(B) エクスポート(E) 印刷(P) 閉じる(C)

4-14 注意メッセージ

[1] 注意メッセージとは

「このアイテムは、取り扱いミスがあったので、スタッフに注意を促したい」。

そんな時に利用するのが、注意メッセージです。

品目台帳に設定することで、現品票やハンディターミナル・スマートフォン（マルチデバイスオプションのみ）画面に、注意メッセージを印字・表示します。

ヒント！

品目台帳の注意メッセージの項目は、デフォルトで非表示となっています。

注意メッセージを活用される場合は、システム設定を以下の通りに変更してください。

[システム設定] > [システム運用] タブ > [使用項目] の「品目台帳・注意メッセージ」を ON

[2] 2種類のメッセージと印字・表示箇所

品目台帳に設定できる注意メッセージは2種類あります。

どれに設定するかで、印字／表示される箇所が決まります。

メッセージの種類	印字対象	表示対象
共通	—	棚卸
現品票	注意付き現品票	—

[3] メッセージ印字サンプル

<注意付き現品票>



ヒント!

注意付き現品票の発行には、専用のラベルプリンターとラベルが必要です。詳しくはお問い合わせ下さい。

- 品目名の上に追加されます。(背景赤白抜き)

[4] メッセージ表示サンプル



- 品目名の下に追加されます。

ヒント!

マルチデバイスオプションで注意メッセージを表示するには、品目台帳の注意メッセージ設定のほか、システム設定の変更が必要です。

詳細は、「マルチデバイスオプション マニュアル」の「品目台帳の注意メッセージ設定」をご確認ください。

第5章 日常操作

本章では、日常的に用いる「在庫参照」の利用方法について、具体的に説明します。

5-1 在庫参照

在庫参照には、品目ごとの現在の在庫状況などが確認できる品目別在庫参照画面と、ロット・在庫状態などの詳細情報が確認できる詳細在庫参照画面があります。

また、絞込検索で特定の条件の品目やロケーションに絞って参照することもできます。

[1] 在庫参照画面

<在庫参照（品目別）画面>

倉庫	Keyコード	品目コード	品目名1	品目名2	分類	現品数	出荷不能数	出荷可能数	発注点	単位
10:東京倉庫	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01:自動車部品	1,488		1,188		個
10:東京倉庫	009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	01:自動車部品	150		150		個
10:東京倉庫	009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	01:自動車部品	100		100		個
10:東京倉庫	009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	01:自動車部品	578		338		個

<在庫参照（詳細）画面>

倉庫	Keyコード	品目コード	品目名1	品目名2	分類	ロット1	ロット2	在庫状態	ソーン	ロケーション	現品数	単位
10:東京倉庫	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01:自動車部品	140718		通常品		A-02	35	個
10:東京倉庫	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01:自動車部品	140719		通常品		A-02	450	個
10:東京倉庫	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01:自動車部品	140721		通常品		A-01	1,000	個
10:東京倉庫	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01:自動車部品	140718		不良品		A-02	1	個
10:東京倉庫	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01:自動車部品	140718		修理中		A-02	1	個
10:東京倉庫	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01:自動車部品	140718		確保		A-02	1	個
10:東京倉庫	009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	01:自動車部品	140724		通常品		B-02	100	個
10:東京倉庫	009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	01:自動車部品	140725		通常品		B-02	50	個
10:東京倉庫	009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	01:自動車部品			通常品			100	個
10:東京倉庫	009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	01:自動車部品	140718		通常品		A-01	25	個
10:東京倉庫	009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	01:自動車部品	140718		通常品		B-01	80	個
10:東京倉庫	009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	01:自動車部品	140721		通常品		B-01	248	個
10:東京倉庫	009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	01:自動車部品	140722		通常品		A-01	25	個
10:東京倉庫	009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	01:自動車部品	140724		通常品		A-01	200	個

*詳細在庫参照画面では、在庫状態によって色分け表示されます。

また、ロットの用途が使用期限の場合、期限切れのロットは太字で表示されます。

第5章 日常操作

ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	表示	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
品目別	表示	絞込条件に合致した品目の一覧です。 ソート順： 倉庫コード(昇順) > Keyコード(昇順)
詳細	表示	選択されている品目の詳細在庫情報です。 ソート順： 倉庫コード(昇順) > Keyコード(昇順) > 在庫状態(昇順) > ロット1(昇順) > ロット2(昇順) > ゾーンコード(昇順) > ロケーションコード(昇順)
フッタ部		
詳細	表示	選択している品目の詳細情報を表示します。
品目別	表示	選択している品目の在庫情報を表示します。
[エクスポート]	—	在庫一覧情報ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	帳票種別とレイアウトを選択し印刷を行います。 ロケーション別在庫情報も含んでいます。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

ヒント！

棚卸結果は在庫データとして保持されます。別システムの在庫データを棚卸インポートして登録することで在庫参照ツールとして利用頂けます。

[2] 絞込条件指定画面

在庫参照を行うには、最初に条件を入力します。
条件入力も品目別と詳細別があります。

×

在庫参照 (品目別) - 条件指定

検索条件

倉庫 10:自社倉庫 ▼

Keyコード ~

品目コード ~

品目名

AND/OR検索 なし ▼

品目分類 <条件なし> ▼

在庫の無い品目も表示する 画像を表示する

発注点割れの品目のみ表示する

条件クリア(R)
OK
キャンセル(C)

メイン部 (品目別)		
倉庫	表示	倉庫名が表示されます。
Keyコード	入力	絞込む Key コードを入力します。 入力補助画面が使用できます。
品目コード	入力	絞込む品目コードを入力します。 入力補助画面が表示できます。
品目名	入力	絞込む品目名を入力します。 AND または OR 検索を行う場合は、スペースを空けて複数のキーワードを指定してください。
AND/OR 検索	リスト	品目名の AND または OR 検索の有無を指定します。
品目分類	リスト	絞込む分類を選択します。
在庫のない品目も表示する	チェック	現品数・出荷不能数ともに 0 の品目の、表示の有無を指定します。
発注点割れの品目のみ表示	チェック	発注点割れの品目のみの表示の有無を指定します。この条件を指定すると自動的に [在庫のない品目も表示する] も指定されます。
画像を表示する	チェック	サムネイル画像の表示の有無を指定します。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[O K]	—	絞込みを行い、一覧を表示します。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

第5章 日常操作

在庫参照 (詳細) - 条件指定

検索条件

倉庫

Keyコード ~

品目コード ~

品目名

AND/OR検索

品目分類

ロット1 ~ なしを指定する

期限切れ検索

ロット2 なしを指定する

在庫状態

ゾーン

ロケーション ~ なしを指定する

画像を表示する

条件クリア(R)

メイン部 (詳細別)		
倉庫	表示	倉庫名が表示されます。
Key コード	入力	絞込む Key コードを入力します。 入力補助画面が使用できます。
品目コード	入力	絞込む品目コードを入力します。 入力補助画面が表示できます。
品目名	入力	絞込む品目名を入力します。 AND または OR 検索を行う場合は、スペースを空けて複数のキーワードを指定してください。
AND/OR 検索	リスト	品目名の AND または OR 検索の有無を指定します。
品目分類	リスト	絞込む分類を選択します。
ロット 1	入力	絞込むロット 1 を入力します。 (システム設定の「日付入力-ロット 1」の形式が「なし」以外に設定されていると、範囲指定での検索になります。また、用途が使用期限に設定されていると期限切れ検索が可能になります。)
ロット 2	入力	絞込むロット 2 を入力します。 (システム設定の「日付入力-ロット 2」の形式が「なし」以外に設定されていると、範囲指定での検索になります。また、用途が使用期限に設定されていると期限切れ検索が可能になります。)
在庫状態	リスト	絞込む在庫状態を選択します。
ゾーン	リスト	絞込むゾーンを選択します。
ロケーション	入力	絞込むロケーションを入力します。 入力補助画面が表示できます。
画像を表示する	チェック	サムネイル画像の表示の有無を指定します。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[OK]	—	絞り込みを行い、一覧を表示します。

第5章 日常操作

[キャンセル]	—	キャンセルします。
---------	---	-----------

5 - 2 ストレージ画像メンテナンス

本画面は「画像ストレージオプション」を契約することで表示されます。

本画面でストレージ画像の登録や削除を行います。

[1] ストレージ画像メンテナンス画面



Key コード	入力(必)	品目の Key コードを入力します。入力補助画面が使用できます。
品目コード 品目名1 品目名2	表示	選択された品目の品目コードや品目名1・2が表示されます。
[アップロード] [削除]	—	ストレージ画像のアップロードや削除を行います。

第6章 運用管理のための操作

本章では、棚卸や各種台帳登録の操作を説明します。

6-1 棚卸

台帳が設定されていれば、いつでも棚卸を行うことができます。

[1] 棚卸と状態

棚卸の作業は棚卸画面で行います。

棚卸の状態には「棚卸中」と「確定」があります。

〔棚卸開始〕 ボタンをクリックすることにより「棚卸中」になります（同一倉庫内で、ある棚卸が「棚卸中」の時、別の棚卸を開始することはできません）。

〔更新〕 ボタンのクリックにより、最新の結果を表示します。

PC上からは〔PC 棚卸〕 欄より直接数量を入力できます。

終了時は〔確定〕 ボタンをクリックします。これにより棚卸が終了します。

なお、「棚卸中」でも棚卸画面を閉じることは可能です。

ヘッダ部		
棚卸番号	表示	“000000000001”から始まる通し番号が自動的に割り当てられます。新規伝票の場合は登録が確定した時点で決定されます。
棚卸日付	入力(必)	棚卸日付です。初期値はP Cのシステム日付です。変更が可能です。
倉庫	表示	作業倉庫が表示されます。
担当者	表示	作業担当者が表示されます。(変更できません)
摘要	入力	任意の文字列を入力できます。

第6章 運用管理のための操作

[棚卸開始]	—	棚卸を開始します。 棚卸の状態が [棚卸中] になります。
[確定]	—	棚卸を終了し、棚卸データを在庫データとして確定します。 棚卸の状態が [棚卸中] から [確定] になります。
[中止]	—	棚卸を中止します。
状態	表示	棚卸の状態が表示されます。
[絞込検索]	—	絞込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	表示	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： ロケーション(昇順) > 品目コード(昇順) > Keyコード(昇順) > 在庫状態(昇順) > ロット1(昇順) > ロット2(昇順)		
Keyコード 品目コード 品目名1 品目名2 ロット1 ロット2 在庫状態 ロケーション	表示	棚卸の対象となる在庫品の情報が表示されます。
論理現品数	表示	棚卸開始時の現品数が表示されます。
PC 棚卸数	入力	PC から直接数量入力できます。モバイル以外での棚卸データはこちらより入力します。0 やマイナスも入力可能です。棚卸の結果、在庫がなかった事を明確にする場合は 0 を入力してください。 システム設定で、棚卸開始時に論理現品数を初期値として表示するように設定することもできます。設定方法は「7 - 1 [2] システム運用」をご覧ください。
モバイル棚卸数	表示	モバイル機器からの棚卸データの合計数を表示します。 棚卸の結果、在庫がなかった事を明確にするには 0 を入力してください。本項目に反映されます。 最新情報を表示にするには [モバイル集計] をクリックしてください。
合計棚卸数	表示	PC 棚卸数とモバイル棚卸数の合計を表示します。
差異数	表示	棚卸合計数と論理現品数の差が表示されます。
単位	表示	品目の単位が表示されます。
差異	チェック	差異数が 0 でない場合、チェックされます。
備考	入力	任意の文字列を入力できます。
フッタ部		
[行追加]	—	新規の行を追加します。
[棚卸外部データ比較]	—	集計項目を選択し外部データとの比較を行います。
[インポート]	—	棚卸実績ファイルをインポートします。
[エクスポート]	—	棚卸実績ファイルをエクスポートします。
[印刷]	—	帳票種別とレイアウトを選択し、棚卸表を印刷します。
[閉じる]	—	棚卸を閉じます。 作業中に閉じても、棚卸は続行されます。 棚卸結果を確定するには [確定] ボタンをクリックします。

ヒント！

棚卸画面では項目名をクリックすることで、並び替えが行われます。

棚卸画面での項目名クリックによる並び替えは、対象全体での並び替えです。

また、並び替え結果は、帳票やエクスポートにも反映します。

[2] 絞込条件指定画面

帳簿在庫（論理現品数）や実地棚卸数といった棚卸データを、絞り込んで表示することが出来ます。絞込は、エクスポートや帳票出力にも反映します。

メイン部（品目別）		
Key コード	入力	絞込む Key コードを入力します。 入力補助画面が使用できます。
品目コード	入力	絞込む品目コードを入力します。 入力補助画面が表示できます。
品目名	入力	絞込む品目名を入力します。
品目分類	リスト	絞込む分類を選択します。
ロット 1	入力	絞り込むロット 1 を指定します。 (システム設定の「日付入力-ロット 1」が「なし」以外に設定されていると、範囲指定での検索になります。)
ロット 2	入力	絞り込むロット 2 の範囲を指定します。 (システム設定の「日付入力-ロット 2」が「なし」以外に設定されていると、範囲指定での検索になります。)
在庫状態	リスト	絞り込む在庫状態を選択します。
ゾーン	チェック	絞り込むゾーンを選択します。
ロケーション	入力	絞り込むロケーションの範囲を指定します。 入力補助画面が使えます。
差異	チェック	論理現品数と合計棚卸数で差異のあるものを指定します。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[OK]	—	絞込みを行い、一覧を表示します。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

[3] 行追加

棚卸中に、棚卸の [追加] ボタンをクリックすると、行追加画面が表示されます。

メイン部		
検索/追加する在庫		
Keyコード	入力	Keyコードを入力します。 入力補助画面が使用できます。
品目コード	表示	品目コードを表示します。品目バーコード読み取り検索項目が品目コードの場合は入力も可能です。
品目名	表示	品目名を表示します。
ロット1	入力	ロット1を入力します。
ロット2	入力	ロット2を入力します。
在庫状態	選択	在庫状態を選択します。
ロケーション	入力	ロケーションを入力します。 入力補助画面が使用できます。
フッタ部		
[OK]	—	入力した在庫を棚卸表から検索します。棚卸表に無かった場合は新規の行として追加できます。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

[4] 実棚入力

実地棚卸入力機能です。

本画面からの入力はモバイル機器扱いとなり、数値は[モバイル棚卸数]に反映します。

メイン部		
カウンター (画面右上)	表示	[OK] 押下で内容を反映する度にカウントアップします。カウンターは入力操作を分かりやすくするための表示であり、内容反映には影響しません。画面を閉じるとはじめてからカウントアップします。
ロケーション	テキスト	ロケーションを入力します。
Keyコード	テキスト	Keyコードを入力し品目を特定します。
品目コード	表示/テキスト	通常は、品目コードを表示します。 品目バーコード読み取り検索項目が品目コードの場合は、品目コードを入力し品目を特定します。
品目名	表示	品目名を表示します。
在庫状態	リスト	在庫状態を指定します。
数量	テキスト	数量を入力します。 棚卸画面の[モバイル棚卸数]に反映されます。
論理数	表示	同じロケーション・品目・ロット1・ロット2・在庫状態の論理現品数を表示します。
HT実棚	表示	同じロケーション・品目・ロット1・ロット2・在庫状態の入力済みモバイル棚卸数を表示します。
フッタ部		
[OK]	—	内容を反映します。
[クリア]	—	内容をクリアします。
[入力補助]	—	入力項目の入力補助画面を呼び出します。

第6章 運用管理のための操作

[閉じる]	—	本画面を閉じます。
[設定]	—	本画面の入力に関する設定を行います。 設定内容は Windows の (ユーザー) アカウント毎に記憶されます。

ヒント!

HT 実棚に 1 以上の数が表示されている場合、[OK] を押すと [上書] または [加算] の選択ができます。(下図参照)

The screenshot shows a dialog box with the title '棚卸入力 - 上書/加算'. It contains a table with the following data:

数量	10
論理数	0
HT実棚	3

Below the table are two buttons: '上書' (highlighted in blue) and '加算'.

この例の場合、反映した結果のモバイル棚卸数 (HT 実棚) は、
[上書] だと 10、[加算] だと 13 となります。

ヒント!

本画面は、ノートPC / タブレットPC とバーコードスキャナーを利用した現場入力を想定しており、他の画面より文字がひとまわり大きくなっています。

[5] モバイル棚卸数（詳細）

マルチデバイスオプションに加入またはシステム設定で「実棚入力を使用する」が有効な場合、棚卸画面の明細で右クリックメニュー[モバイル棚卸数（詳細）]が表示されます。

PC 棚卸数	モバイル 棚卸数	合計 棚卸数	差異数	単位	差異	備考
	25	25	20	個	<input checked="" type="checkbox"/>	

コピー(C)

列幅を内容に合わせる(A)

一覧フォントサイズ >

モバイル棚卸数（詳細）

[モバイル棚卸数詳細]をクリックすると選択した棚卸明細について、モバイル棚卸入力履歴情報が表示されます。

モバイル棚卸数（詳細） (3件)

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	ロット1	ロット2	在庫状態	ロケーション	モバイル 棚卸数	単位
009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1			通常品	A-1	25	個

登録日時	作業担当者	モバイル 入力数	単位	上書	削除済
2020/08/20 14:20:20	鈴木 一郎 (i_suzuki)	10	個	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2020/08/20 11:20:30	山田 太郎 (t_yamada)	15	個	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2020/08/18 10:20:15	山田 太郎 (t_yamada)	5	個	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

全3件 : 1~3件 表示件数 自動 1 /1ページ 先頭 ←前へ 次へ→ 最後

閉じる(C)

ヒント！

モバイル棚卸数（詳細）画面で表示されるのは

- ・マルチデバイスオプション（アプリケーション Version1.50 以降）で入力
- ・実棚入力で入力

のいずれかの場合です。

第6章 運用管理のための操作

ヘッダ部		
Keyコード 品目コード 品目名1 品目名2 ロット1 ロット2 在庫状態 ロケーション モバイル棚卸数 単位	表示	棚卸明細情報を表示します。
明細部		
ソート順：登録日時(降順)		
登録日時	表示	棚卸入力を行った日時を表示します。
作業担当者	表示	棚卸入力作業を行った担当者を表示します。
モバイル入力数	表示	モバイル機器で入力した棚卸数を表示します。
単位	表示	品目の単位を表示します。
上書	表示	上書登録かどうかを表示します。
削除済	表示	上書登録の結果、削除された明細はチェックがONになります。
フッタ部		
[閉じる]	—	画面を閉じます。

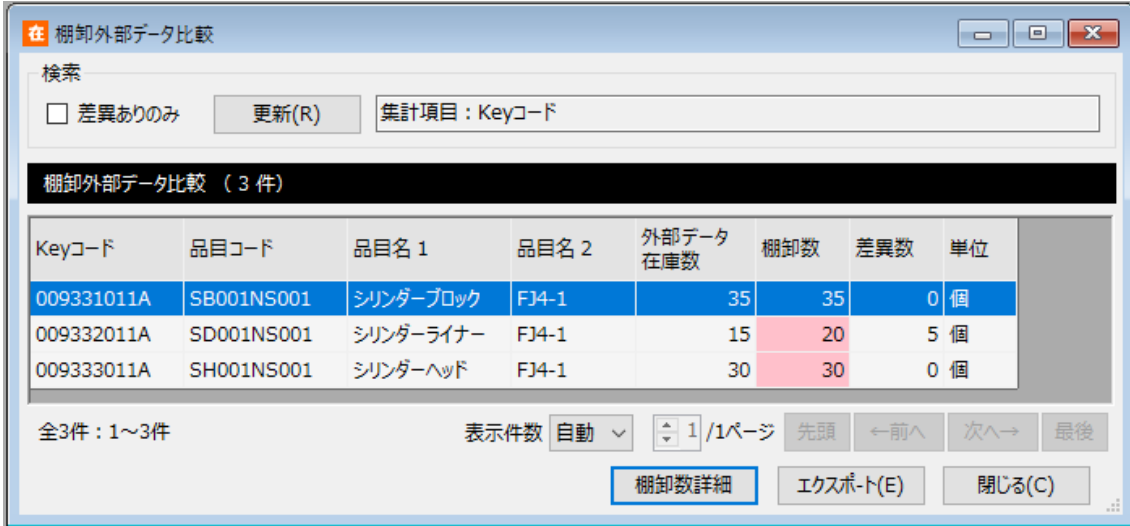
[6] 棚卸外部データ項目指定

外部データ対象項目を指定します。

メイン部		
Keyコード 在庫数	入力	Keyコード・在庫数が外部データ CSV ファイルの何番目の項目かを指定します。
ロット1 ロット2 在庫状態 ロケーション	入力	使用する項目にチェックを入れ、各項目が外部データ CSV ファイルの何番目の項目かを指定します。
フッタ部		
[インポート]	—	外部データのインポートを行い、棚卸外部データ比較画面を表示します。
[キャンセル]	—	画面を閉じます。

[7] 棚卸外部データ比較

棚卸外部データと棚卸結果との比較結果を表示します。



ヘッダ部		
差異ありのみ	入力	外部データ比較結果を差異ありのみに絞り込む場合は、チェックを ON にして[更新]ボタンをクリックします。
条件	表示	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順: ロケーション(昇順) > 品目コード(昇順) > Key コード(昇順) > 在庫状態(昇順) > ロット 1 (昇順) > ロット 2 (昇順)		
Key コード 品目コード 品目名 1 品目名 2 ロット 1 ロット 2 在庫状態 ロケーション	表示	棚卸明細の情報が表示されます。 ロット 1・ロット 2・在庫状態・ロケーションは、棚卸外部データ項目指定画面で指定した場合のみ表示されます。
外部データ在庫数	表示	外部データの在庫数が表示されます。
棚卸数	表示	棚卸明細の合計棚卸数を集計項目で集計した数量を表示します。
差異数	表示	棚卸数と外部データ在庫数の差が表示されます。
単位	表示	品目の単位が表示されます。
フッタ部		
[棚卸数詳細]	—	選択した行の棚卸数詳細を棚卸画面で表示します。
[エクスポート]	—	棚卸外部データ比較ファイルをエクスポートします。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

ヒント！

棚卸外部データ比較は棚卸外部データをインポートした PC でのみ実施しており、確認できるのもその PC のみです。

棚卸外部データ比較のデータは画面を閉じると破棄されます。データを残したい場合は、エクスポートを行ってください。

棚卸外部データ比較は何度でも実施できます。

ヒント！

棚卸外部データ比較の概要については「4 - 5 [3] 外部システムの在庫データとの比較」をご覧ください。

[8] 棚卸一覧

棚卸一覧画面を表示するには、まず一覧表示を行うための絞り込み条件を入力します。

棚卸一覧 - 条件指定

検索条件

棚卸番号 ~

棚卸日付 ~

棚卸状態 <条件なし>

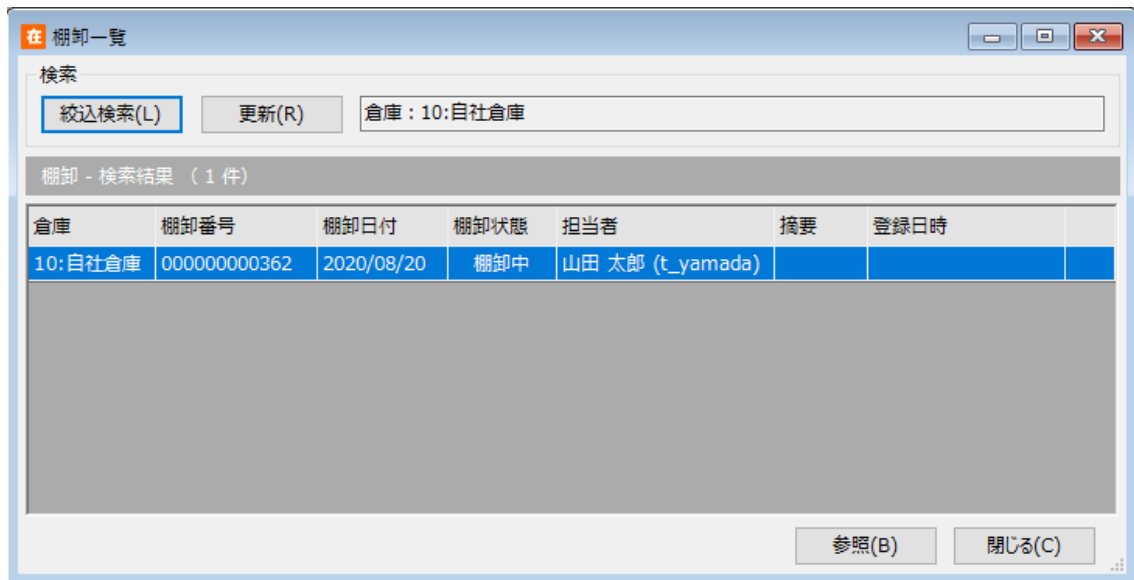
倉庫 10:自社倉庫

摘要

条件クリア(R) OK キャンセル(C)

メイン部		
棚卸番号	テキスト	絞り込む棚卸番号の範囲を指定します。
棚卸日付	テキスト	絞り込む棚卸日付の範囲を指定します。
棚卸状態	リスト	絞り込む棚卸状態を選択します。
倉庫	リスト	絞り込む倉庫を選択します。
摘要	テキスト	絞り込む摘要を入力します。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[OK]	—	絞り込みを行い、棚卸一覧を表示します。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

第6章 運用管理のための操作



ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	表示	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順: 棚卸番号(昇順)		
倉庫 棚卸番号 棚卸日付 棚卸状態 担当者 摘要 登録日時	表示	条件で絞り込まれた棚卸のヘッダ情報を表示します。
フッタ部		
[参照]	—	棚卸を参照します。
[閉じる]	—	一覧画面を閉じます。

6-2 品目台帳

在庫スイートクラウドで扱う品目はこの品目台帳に登録されている必要があります。

品目台帳の登録時に Key コードが空だった場合、自動的に [品目コード] を [Key コード] として転記します。既にそのコードが別の品目の [Key コード] として登録済みの場合は登録できません。

[1] 品目台帳画面

品目台帳 - 新規

登録内容

Keyコード

品目コード

品目名1

品目名2

カナ

略称

品目分類

推奨ロケーション

単位

単価

標準原単価

発注点

入数

画像1

画像1リンク

画像2

説明

品目のKeyコードを入力します。他のKeyコードとの重複は不可。省略不可。桁数は1桁～32桁。数字、英字、記号（を除く）が入力可能です。

登録(R) コピー(O) 削除(D) 閉じる(C)

メイン部		
Key コード	入力(必)	他の Key コードとの重複はできません。省略もできません。
品目コード	入力	任意の品目コードを入力します。重複・省略可能です。
品目名 1	入力	品目の名称を入力します。
品目名 2	入力	規格・色・サイズなど、品目 1 とは分けたい場合に利用します。
カナ	入力	品目名のフリガナを入力します。
略称	入力	品目名の略称を入力します。 マルチデバイスオプションでは、品目台帳の「略称」が設定されていれば略称を表示、設定されていなければ、品目名 1 + 品目名 2 を表示します。

第6章 運用管理のための操作

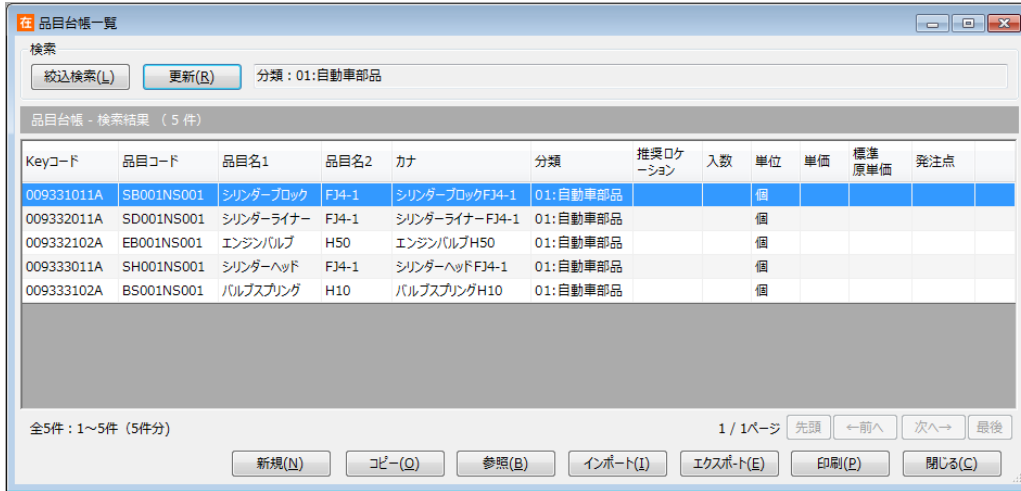
品目分類	リスト	分類台帳に登録されている内容がリストで表示されます。
推奨 ロケーション	リスト	この品目の推奨ロケーションを選択します。 ロケーション台帳に登録されている内容がリストで表示されます。本項目は倉庫毎に設定されます。
単位	入力	品目の単位を入力します。品目台帳で既に入力された単位があれば、リスト表示されますので選択することも可能です。
単価	入力	最小単位（バラ）ひとつあたりの販売金額です。
標準原単価	入力	最小単位（バラ）ひとつあたりの原価です。
発注点	入力	この品目の発注点を入力します。この値が [発注点割り込み通知] の基準値となります。本項目は倉庫毎に設定されます。
入数	入力	1箱に入っている品目数です。 箱に複数の品目が入っている場合に登録します。登録することで箱数での数量入力が可能となります。
JAN/UPC コード1～3	入力	JAN/UPCを入力します。重複して設定することはできません。
JAN/UPC コード1～3入数	入力	JAN/UPC 1～3に紐づく入数です。
ITF/GS1(GTIN-14) コード1～3	入力	ITF/GS1(GTIN-14)を入力します。重複して設定することはできません。
ITF/GS1(GTIN-14) コード1～3 入数	入力	ITF/GS1(GTIN-14) 1～3に紐づく入数です。
画像1～3	入力	商品画像の配置先を指定します。
画像1～3 リンク	入力	商品画像をタッチすると呼び出されるリンク先を指定します。
サムネイル画像	入力	在庫参照や履歴画面で表示されるサムネイル画像を指定します。
予備項目 1～10	入力	予備項目
注意メッセージ (共通)	入力	帳票やマルチデバイスオプションで表示される、注意メッセージ(共通)を指定します。
注意メッセージ (入荷)	入力	帳票やマルチデバイスオプションで表示される、注意メッセージ(入荷)を指定します。
注意メッセージ (出荷)	入力	帳票やマルチデバイスオプションで表示される、注意メッセージ(出荷)を指定します。
注意メッセージ (注意付き 現品票)	入力	注意付き現品票で表示される、注意メッセージ(注意付き現品票)を指定します。
ロット1入力	ラジオ ボタン	ロット1の入力が必須かどうかを指定します。※
ロット2入力	ラジオ ボタン	ロット2の入力が必須かどうかを指定します。※
トレース情報入力	ラジオ ボタン	トレース情報の入力が必須かどうかを指定します。※
フッタ部		
[登録]	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには [登録] は表示されません。

第6章 運用管理のための操作

[コピー]	—	参照しているデータを新規登録画面に転記します。
[削除]	—	参照モード時のみ有効です。
[閉じる] [キャンセル]	—	品目台帳画面を閉じます。 新規モードと参照モードでは [閉じる]、修正モードでは [キャンセル] になります。

※現時点では未対応です。

[2] 品目台帳一覧画面



ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順: Keyコード(昇順)		
Keyコード 品目コード 品目名1 品目名2 カナ 分類 推奨ロケーション 入数,単位 単価 標準原単価 発注点	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[コピー]	—	選択したデータを転記した新規登録画面を表示します。
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	品目台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	品目台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	帳票種別とレイアウトを選択し、品目台帳一覧を印刷します。 絞り込まれたリストが印刷されます。 帳票種別は、[品目一覧表][品目バーコードラベル]から選択します。
[閉じる]	—	一覧画面を閉じます。

6-3 品目分類台帳

在庫スイートクラウドで扱う品目分類はこの品目分類台帳に登録されている必要があります。

[1] 品目分類台帳画面

品目分類台帳 - 新規

登録内容

分類コード

分類名

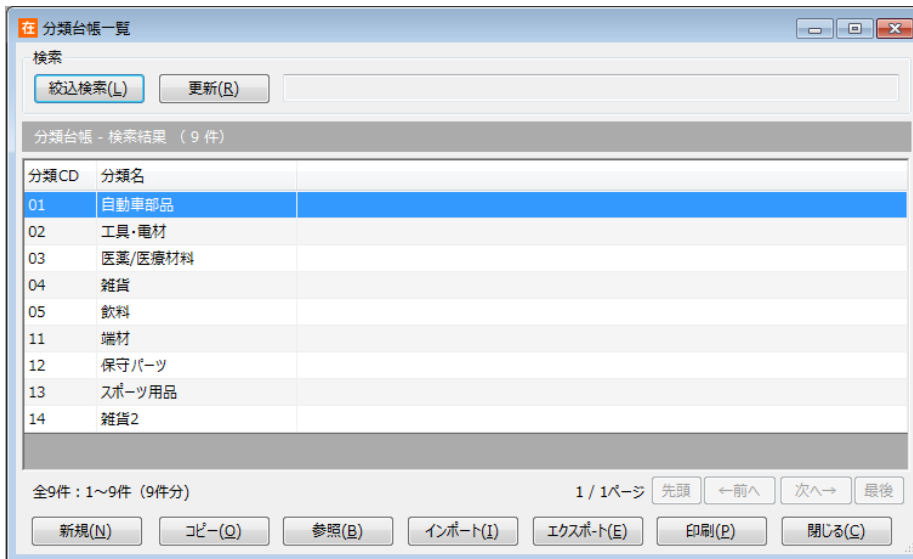
説明

品目分類コードを入力します。他の品目分類コードとの重複は不可。省略不可。桁数は1桁～4桁。数字、英字、記号（'を除く）が入力可能です。

登録(R) コピー(O) 削除(D) 閉じる(C)

メイン部		
分類コード	入力(必)	品目分類コードを入力します。他の品目分類コードとの重複はできません。省略もできません。
分類名	入力	品目分類の名称を入力します。
フッタ部		
[登録]	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには [登録] は表示されません。
[コピー]	—	参照しているデータを新規登録画面に転記します。
[削除]	—	参照モード時のみ有効です。
[閉じる]	—	品目分類台帳画面を閉じます。

[2] 品目分類台帳一覧画面



ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 分類コード(昇順)		
分類 CD 分類名	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで台帳画面を呼び出します。
[コピー]	—	選択したデータを転記した新規登録画面を表示します。
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	品目分類台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	品目分類台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	品目分類台帳一覧を印刷します。
[閉じる]	—	一覧画面を閉じます。

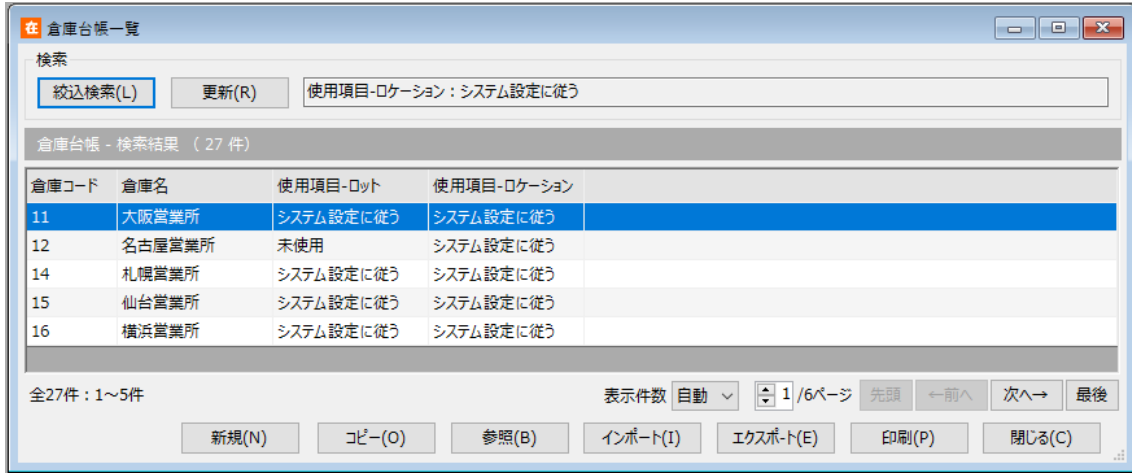
6-4 倉庫台帳

在庫スイートクラウドで扱う倉庫はこの倉庫台帳に登録されている必要があります。

[1] 倉庫台帳画面

メイン部		
倉庫コード	入力(必)	他の倉庫コードとの重複はできません。省略もできません。
倉庫名	入力	倉庫の名称を入力します。
使用項目 ロット	ラジオ ボタン	モバイル機器でロットを表示するかどうかを選択します。未使用の場合は倉庫間入荷時にロットをクリアします。
使用項目 ロケーション	ラジオ ボタン	モバイル機器でロケーションを表示するかどうかを選択します。
フッタ部		
[登録]	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには [登録] は表示されません。
[閉じる]	—	倉庫台帳画面を閉じます。

[2] 倉庫台帳一覧画面



ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順: 倉庫コード(昇順)		
倉庫コード 倉庫名 使用項目-ロット 使用項目-ロケーション	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。
[インポート]	—	倉庫台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	倉庫台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	帳票レイアウトを選択し、倉庫台帳一覧を印刷します。
[閉じる]	—	一覧画面を閉じます。

6-5 ゾーン台帳

[1] ゾーン台帳画面

登録内容

ゾーンコード

ゾーン名

倉庫

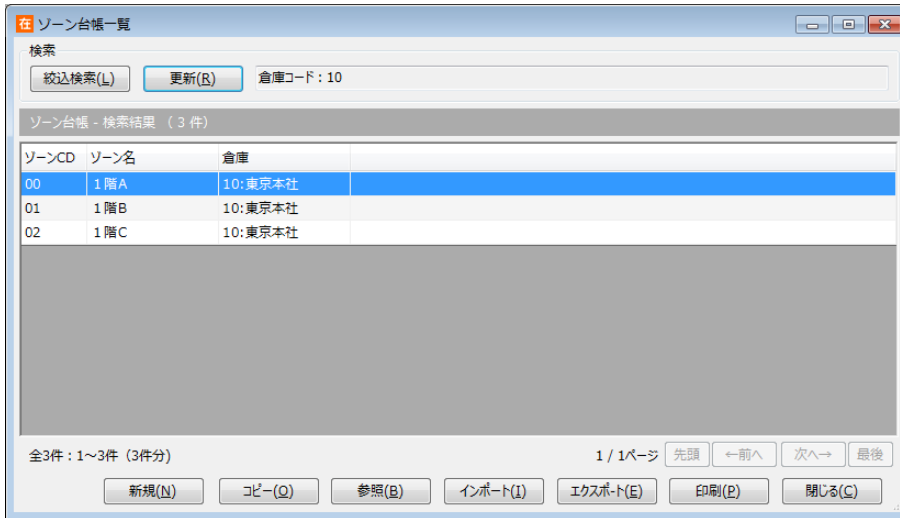
説明

ゾーンコードを入力します。同じ倉庫内で、他のゾーンコードとの重複は不可。省略不可。桁数は1桁～2桁。数字、英字、記号（'を除く）が入力可能です。

登録(R) コピー(O) 削除(D) 閉じる(C)

メイン部		
ゾーンコード	入力(必)	ゾーンコードを入力します。他のゾーンコードとの重複はできません。省略もできません。
ゾーン名	入力	ゾーンの名称を入力します。
倉庫	リスト	関連付ける倉庫を選択します。
フッタ部		
[登録]	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには [登録] は表示されません。
[コピー]	—	参照しているデータを新規登録画面に転記します。
[削除]	—	参照モード時のみ有効です。
[閉じる]	—	ゾーン台帳画面を閉じます。

[2] ゾーン台帳一覧画面



ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 倉庫コード(昇順) > ゾーンコード(昇順)		
ゾーン CD ゾーン名 倉庫	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[コピー]	—	選択したデータを転記した新規登録画面を表示します。
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	ゾーン台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	ゾーン台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	ゾーン台帳一覧を印刷します。
[閉じる]	—	一覧画面を閉じます。

6-6 ロケーション台帳

ロケーション管理するには、あらかじめロケーション台帳にロケーションを登録する必要があります。

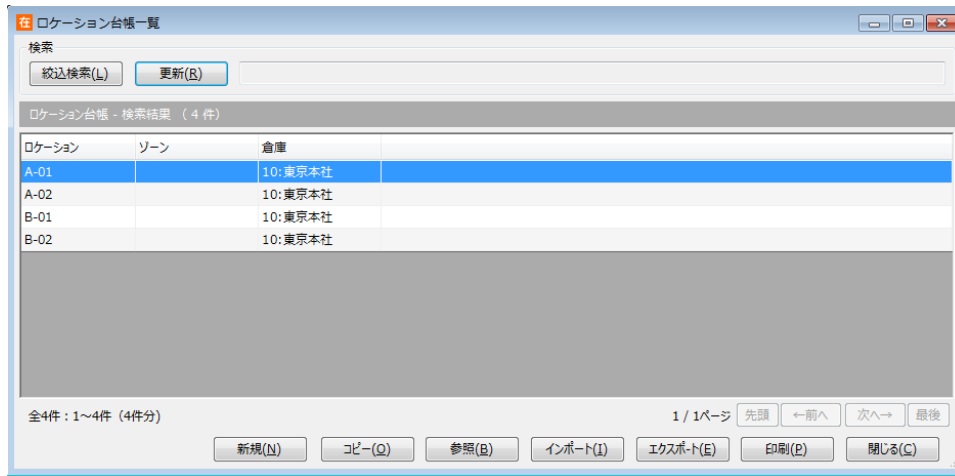
[1] ロケーション台帳画面

メイン部		
ロケーション	入力(必)	ロケーションを入力します。他のロケーションとの重複はできません。省略もできません。
ゾーン	リスト	関連付けるゾーンを選択します。
倉庫	リスト	関連付ける倉庫を選択します。
フッタ部		
[登録]	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには [登録] は表示されません。
[コピー]	—	参照しているデータを新規登録画面に転記します。
[削除]	—	参照モード時のみ有効です。
[閉じる]	—	ロケーション台帳画面を閉じます。

注意！

ゾーンはゾーン台帳に登録されたものから選ぶ必要があります。
データインポートの場合、未登録のゾーンが含まれるとエラーとして扱われ、インポートできませんので注意してください。

[2] ロケーション台帳一覧画面



ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 倉庫コード(昇順) > ロケーション(昇順)		
ロケーション ゾーン 倉庫	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[コピー]	—	選択したデータを転記した新規登録画面を表示します。
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	ロケーション台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	ロケーション台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	帳票種別とレイアウトを選択し、ロケーション台帳一覧を印刷します。
[閉じる]	—	一覧画面を閉じます。

6-7 ユーザー台帳

ユーザーID を、起動時に設定しログインすることで在庫スイートクラウドを起動します。
在庫スイートクラウドを利用する為にはユーザー台帳への登録が必要です。

[1] ユーザー台帳画面

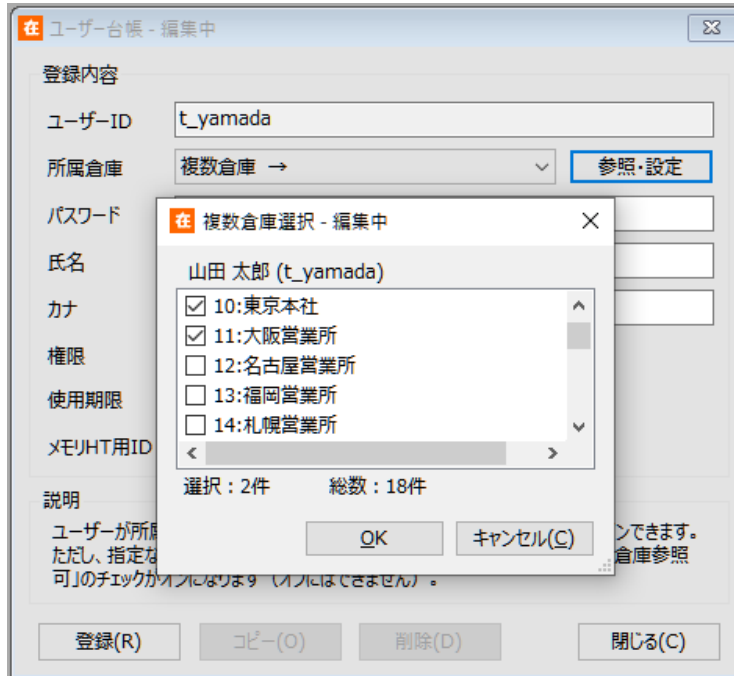
メイン部		
ユーザーID	入力(必)	ユーザーIDを入力します。他のユーザーIDとの重複はできません。省略もできません。大文字/小文字は区別しません。
所属倉庫	リスト	ユーザーが所属する倉庫を選択します。ユーザーは所属する倉庫にのみログインできます。
[参照・設定]	—	所属倉庫で「複数倉庫」を選択した場合のみ表示されます。複数倉庫選択画面を表示します。
パスワード	入力	ログイン時のパスワードを入力します。省略可能です。大文字/小文字を区別します。
氏名	入力	ユーザーの氏名を入力します。
カナ	入力	ユーザーのカナを入力します。
権限	リスト	ユーザーの権限を選択します。
仕入先	リスト	仕入先担当者限定項目。 仕入先を選択します。

第6章 運用管理のための操作

同一仕入先担当者のメンテナンス可	チェックボタン	仕入先担当者限定項目。 同一仕入先担当者のメンテナンス（追加・変更・削除）の可／不可を設定します。
有効期限	入力	ユーザー毎の有効期限の設定です。該当ユーザーに有効期限を設定しない場合は、有効期限なしにチェックします。
メールアドレス	入力	ユーザーのメールアドレスです。
電話番号	入力	ユーザーの電話番号です。
メモリ HT 用 ID	入力	メモリ HT オプション利用時にのみ設定出来ます。 メモリ HT 用 ID を設定します。
フッタ部		
[登録]	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには [登録] は表示されません。
[コピー]	—	参照しているデータを新規登録画面に転記します。
[削除]	—	参照モード時のみ有効です。
[閉じる]	—	ユーザー台帳画面を閉じます。

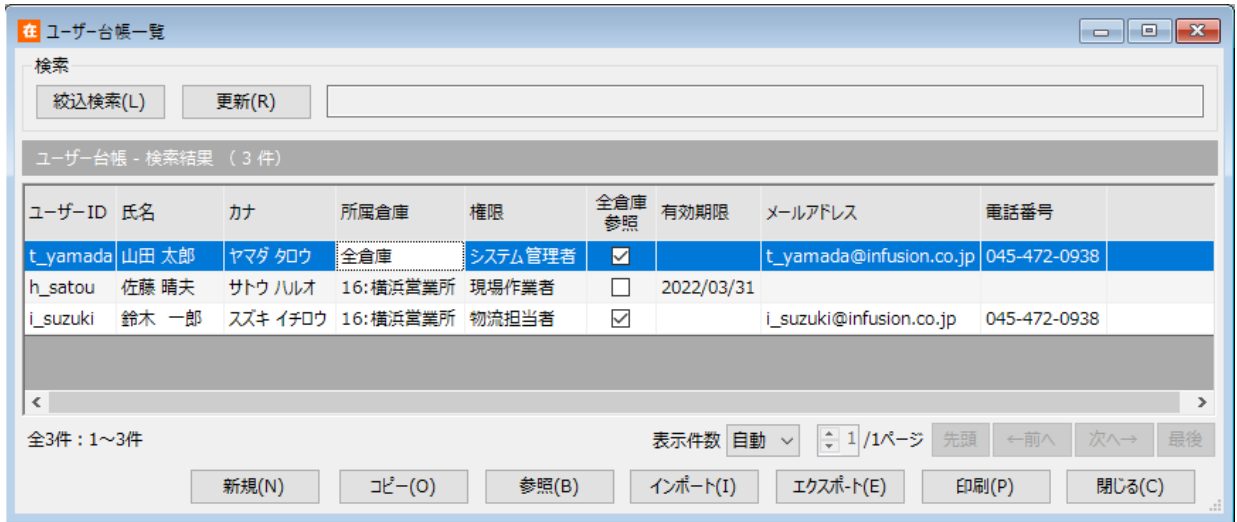
[2] 複数倉庫選択画面

複数の倉庫を指定する場合は「複数倉庫」を選択し、複数倉庫選択画面にて倉庫を指定します。



メイン部		
ユーザー	表示	編集中のユーザーを表示します。
所属倉庫	リスト	ユーザーが所属する倉庫を選択します。所属倉庫を 1 つのみ指定する場合は、ユーザー台帳画面の所属倉庫で特定の倉庫を指定してください。
選択	表示	選択した倉庫の件数を表示します。
総数	表示	倉庫の総数を表示します。
フッタ部		
[修正]	—	編集モードに変わります。参照モード時のみ表示されます。
[閉じる]	—	画面を閉じます。
[OK]	—	編集内容を決定して参照モードに戻ります。編集モード時のみ表示されます
[キャンセル]	—	編集内容をキャンセルして参照モードに戻ります。

[3] ユーザー台帳一覧画面



ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 所属倉庫(全倉庫/複数倉庫/単一倉庫の倉庫コード) > ユーザーID(昇順)		
ユーザーID 氏名 カナ 所属倉庫 権限 全倉庫参照 有効期限 メールアドレス 電話番号	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[コピー]	—	選択したデータを転記した新規登録画面を表示します。
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	ユーザー台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	ユーザー台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	帳票種別とレイアウトを選択し、ユーザー台帳一覧を印刷します。
[閉じる]	—	一覧画面を閉じます。

6-8 休止・再開設定

在庫スイートクラウド棚卸は4カ月目より、月単位で休止・再開が可能です。

設定期限は前月20日ですので、それまでに設定します。

なお、本設定はシステム管理者権限を持ったユーザーのみ実行できます。

[1] 設定画面

システム運用中は、[ツール] → [休止・再開設定] で設定画面を開きます。

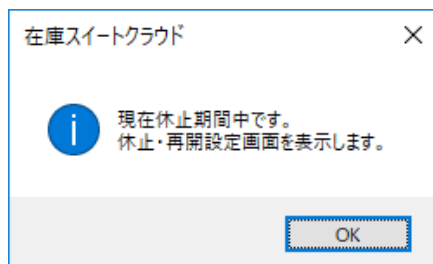
本画面で、休止・再開とその開始月を設定します。



[2] 休止時のログインと設定画面

システム休止中にシステム管理者権限ユーザーでログインすると、以下のメッセージが表示されます。

[OK] クリックで設定画面を開きます。



6-9 データベースのメンテナンス

在庫スイートクラウドは円滑な運用を行う為に、データベースに関するメンテナンス機能があります。
なお、メンテナンスを行う場合の注意点は以下の通りです。

- ・ メンテナンスを行う場合は全てのウィンドウを閉じる必要があります。
- ・ データベースのメンテナンスは、システム管理者権限を持ったユーザーのみが実行できます。他のユーザーでログインした場合、メニューを選択できません。
- ・ リストア（データの復元）を行う場合は、他のユーザーがログインしていないことを確認してください。ログイン中のユーザーがいる場合は、リストアを実行できません。
- ・ バックアップ処理中は、ログイン中のユーザーによるデータ参照のみ可能となります。処理完了までデータの登録・更新・削除および新規ログインはできません。

[1] バックアップ

データベースのバックアップを取ることで、重要データ削除などの問題発生時に元の状態に復旧することが可能となります。

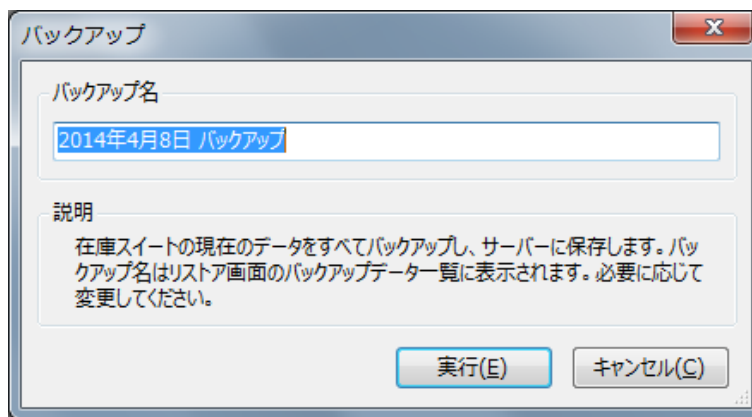
(1) 操作方法

[ツール] → [バックアップ] でバックアップ画面を開きます。

バックアップデータの説明文を [バックアップ名] の欄に記入することができます。

(500 文字まで)。

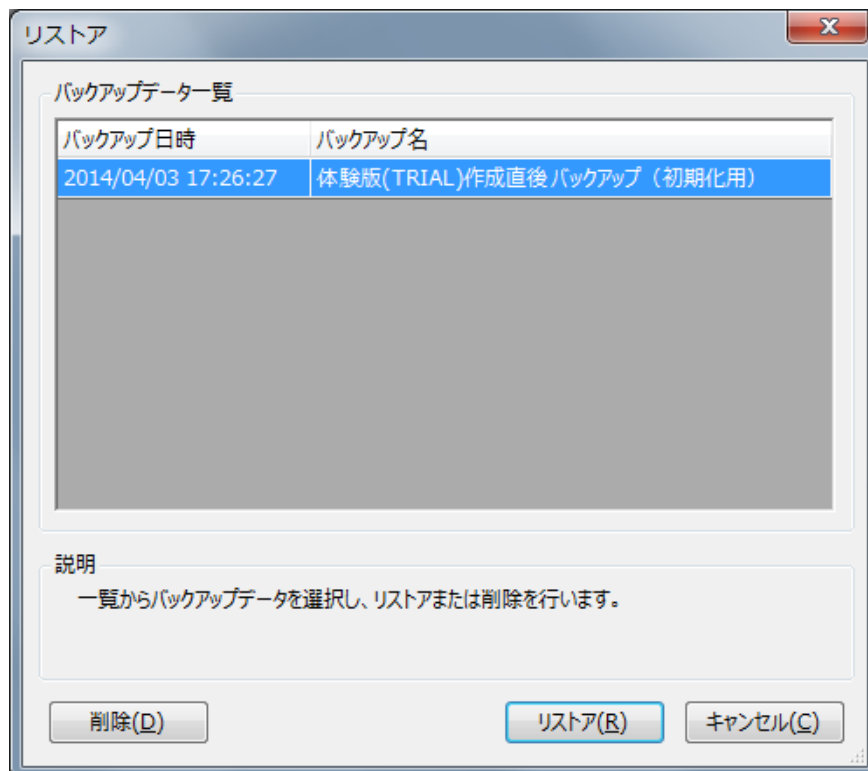
[OK] クリックでバックアップを実行します。



バックアップデータはクラウドサーバー上(Azure)に保管されます。

[2] リストア

バックアップデータを取込む（リストアする）事で、バックアップ時点の状態に戻ります。リストアを行なうには [ツール] → [リストア] を選択します。



なお、リストア実行時は、他のユーザーはログアウトしておいてください。
バックアップデータを一覧から選択し、[OK] クリックでリストアされます。
リストア完了後は自動的に在庫スイートクラウドが再起動されます。

[削除] ボタンクリックで選択したバックアップデータが削除されます。削除すると復旧は出来ませんのでご注意ください。

[3] 初期化

サービス開始時には初期化用のバックアップデータを用意していますので、初期化の際は本バックアップデータをリストアしてください。

なお、残したい台帳データがあれば、リストア前に台帳ファイルをエクスポートし、初期化バックアップデータをリストア後、台帳ファイルをインポートします。

[4] データ整理

〔整理対象日付〕に指定された日付と、各伝票の伝票日付を比較し、整理対象日付以前（同日含む）の伝票をデータベースから一括削除します。

データ整理を行うには〔ツール〕→〔データ整理〕を選択します。

データ整理

整理対象日付 2020/06/10 以前

バックアップ名
2022年7月8日 データ整理時バックアップ

説明
整理対象日付を指定して下さい。伝票日付が指定された日付以前（同日含む）の伝票をデータベースから消去します。

OK キャンセル(C)

データ整理実行前に自動的にバックアップも行われます。リストアの際に別のバックアップデータと区別できるように任意のバックアップ名を入力することができます（最大 1000 文字）。〔OK〕ボタン押下でデータ整理を行います。

ヒント！

データ整理は長時間かかる可能性があるため、はじめは1か月など短い期間で行ってください。
(あまりにも時間がかかるときは〔キャンセル〕ボタン押下で中止し、短い期間でやり直してください)

6-10 運用状況確認

在庫スイートクラウドは円滑な運用を行なう為に、使用データ量などの利用状況を確認することができます。また、項目名称の変更などお客様ご自身で行える設定があります。

〔運用状況確認〕は、そうしたお客様特有の運用状況を一覧で確認できる画面です。

画面の内容は印刷やファイルエクスポートも可能ですので、システムの診断情報や問題発生時の調査のための情報として弊社サポート宛てにお送りいただく事もございます。

本機能を利用するには、システム管理者権限が必要です。

カテゴリ	項目	値
契約情報	グループID	Shinyoko
	お客様名	株式会社新横浜物流
	ご担当者様名 (敬称略)	山田 太郎
	ご連絡先	TEL:045-472-0938
	製品名	在庫スイートクラウド Lite
	使用開始日	2014/01/15
	使用期限	
DB利用状況	最大ユーザー数	10
	DB最大容量	1GB
	DB使用済み容量	44.80MB
	品目件数	1,082件
	在庫件数	3,289件
	入荷件数	伝票 1,218件、明細 13,410件
	出荷件数	伝票 96件、明細 418件
クライアントアプリ	振替件数	伝票 151件、明細 315件
	棚卸件数	棚卸表 23件、明細 202件
	アプリバージョン	Ver.0.90
	インストール元URL	なし

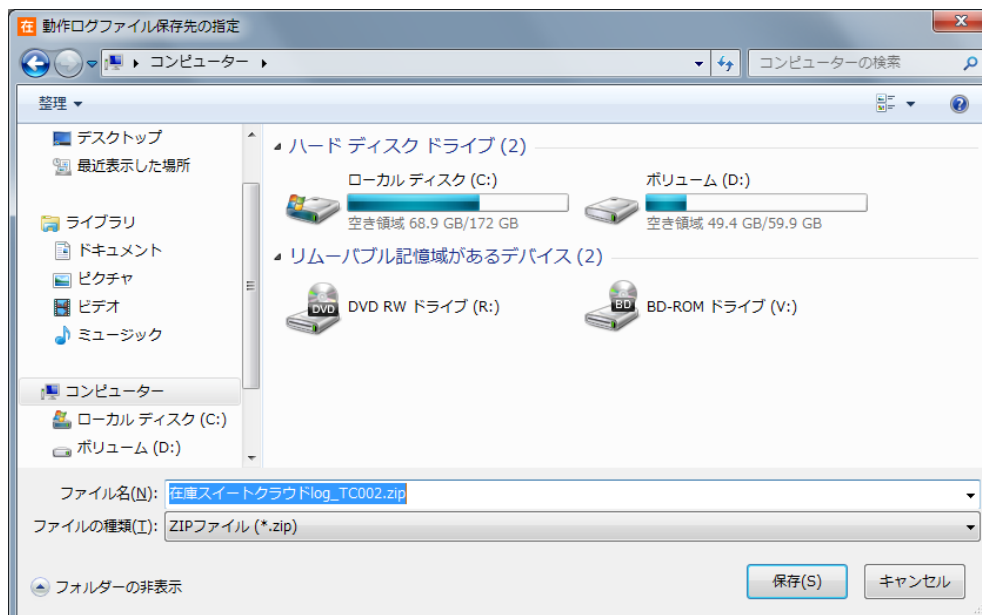
6-1-1 クライアントログ保存

〔運用状況確認〕と同様、システム診断のための機能です。
日常運用の中で使用することは無く、問題発生時の調査のために使用します。

在庫スイートクラウドは起動・終了やエラー等の動作情報を日付別のログファイルとして PC 内に記録しており、〔クライアントログ保存〕によってそれら全てのログファイルを1個の圧縮ファイルにして任意の場所に保存できます。問題発生時に、調査のための情報としてそのファイルをお送りいただくよう弊社サポート担当よりお願いする場合がございます。

操作方法

システム管理者または物流担当者で在庫スイートクラウドにログインし、
〔ツール〕 → 〔クライアントログ保存〕で保存先指定画面を開きます。



保存先とファイル名を指定して〔保存〕を押すとファイルが作成されます。
(圧縮処理に数分間かかる場合があります)

6-12 アクセスログ

本画面でサーバーへのアクセスログを確認できます。

履歴画面では確認できない、IP アドレスやデータ参照、削除、ダウンロードなどの実施記録も確認できます。

アクセスログは1年間保存されます。

本機能を利用するには、システム管理者権限が必要です。

No.	アクセス日時	ユーザー	倉庫	機能	パラメーター
69	2014/04/03 17:55:34.124	システム管理者 (ADMINISTRATOR)		Customer_Search	
70	2014/04/03 17:55:39.996	システム管理者 (ADMINISTRATOR)		Receiver_Search	
71	2014/04/03 17:55:44.139	システム管理者 (ADMINISTRATOR)		Receiver_Import	208 bytes
72	2014/04/03 17:55:48.487	システム管理者 (ADMINISTRATOR)		Receiver_Search	
73	2014/04/03 17:55:53.768	システム管理者 (ADMINISTRATOR)		Customer_Import	848 bytes
74	2014/04/03 17:55:55.031	システム管理者 (ADMINISTRATOR)		Customer_Search	
75	2014/04/03 17:56:00.649	システム管理者 (ADMINISTRATOR)		Receiver_Import	208 bytes
76	2014/04/03 17:56:01.870	システム管理者 (ADMINISTRATOR)		Receiver_Search	
77	2014/04/03 17:56:34.344	システム管理者 (ADMINISTRATOR)	TEST:TEST倉庫	Arrival_ResultGetInitialSlip	PC
78	2014/04/03 17:56:34.788	システム管理者 (ADMINISTRATOR)	TEST:TEST倉庫	Arrival_GetTargetWarehouseList	False
79	2014/04/03 17:56:42.333	システム管理者 (ADMINISTRATOR)	TEST:TEST倉庫	Logout	
80	2014/04/03 17:56:57.749	テスト太郎 (test)		Login	trial/test
81	2014/04/03 17:56:58.034	テスト太郎 (test)		Setting_LoadItemNames	
82	2014/04/03 17:56:58.252	テスト太郎 (test)		Setting_LoadAccountSettings	test
83	2014/04/03 17:56:58.158	テスト太郎 (test)		Setting_LoadSystemSettings	
84	2014/04/03 17:57:36.519	テスト太郎 (test)	TEST:TEST倉庫	Arrival_ResultGetInitialSlip	PC
85	2014/04/03 17:57:36.938	テスト太郎 (test)	TEST:TEST倉庫	Arrival_GetTargetWarehouseList	False
86	2014/04/03 17:57:39.461	テスト太郎 (test)	TEST:TEST倉庫	Supplier_Search	
87	2014/04/03 17:57:41.039	テスト太郎 (test)	TEST:TEST倉庫	Supplier_Select	S1001
88	2014/04/03 17:57:41.842	テスト太郎 (test)	TEST:TEST倉庫	Supplier_Select	S1001
89	2014/04/03 17:57:42.871	テスト太郎 (test)	TEST:TEST倉庫	Article_SearchCount	
90	2014/04/03 17:57:43.058	テスト太郎 (test)	TEST:TEST倉庫	Article_Search	

主な項目	内容
アクセス日時	処理を行った日時
ユーザー	処理を行ったユーザー
機能	機能名称でどのような処理を行ったかを確認できます。 機能名称の詳細は、「別紙 アクセスログ機能一覧」をご確認ください。
パラメーター	PC やモバイル機器からサーバーへ渡している情報を確認できます。 例) 棚卸明細登録 → 登録するデータ 在庫参照 → 参照検索条件 などを確認できます。
結果	機能（処理）に対しての結果を確認できます。 例) 棚卸明細登録 → 登録が成功したかどうか 在庫参照 → 検索でヒットした明細数 などを確認できます。
処理時間	サーバーの処理時間(秒単位)を表示します。 処理時間が 0.000 秒未満の場合は「0.000」と表示されます。

第7章 システム設定・ユーザー別設定

7-1 システム設定

在庫スイートクラウドの運用前にはじめに行わなければならないのが、システム設定です。

メニューの [ツール] から [システム設定] を選ぶと、システム設定画面が起動します。

システム設定には、[自社情報] [システム運用] [項目名] [表示] [入力] [帳票] [モバイル設定] [モバイル設定(拡張)] [権限] がありますので、それぞれ設定してください。

本機能を利用するには、システム管理者権限が必要です。

[モバイル設定] は、モバイルオプションまたはマルチデバイスオプション加入時のみ表示されます。

[モバイル設定(拡張)] は、マルチデバイスオプション加入時のみ表示されます。

[権限] の「ストレージ画像メンテナンス」は、画像ストレージオプション加入時のみ表示されます。

[1] 自社情報

グループ名		
グループ名	入力	グループIDと紐づく名称です。タイトルバーに表示する組織名や社名を設定します。空の場合は表示されません。
自社設定		
会社名 1	入力	会社名を入力します。
会社名 2	入力	支店名など会社名 1 と区別したい場合に入力します。
カナ	入力	会社名のカナを入力します。
郵便番号	入力	郵便番号を入力します。
住所 1	入力	住所を入力します。
住所 2	入力	ビル名など住所 1 と区別したい場合に入力します。
電話番号	入力	電話番号を入力します。
FAX 番号	入力	F A X 番号を入力します。

[2] システム運用

システム設定

自社情報 システム運用 項目名 表示 入力 帳票 モバイル モバイル

数量

小数入力 禁止 (整数のみ許可)
 許可 小数桁 2

在庫管理(Z)

通常品以外の在庫状態を拡張する

使用項目

品目コード 品目名2
 品目台帳-予備項目 品目台帳-注意メッセージ
 品目台帳-ロット入力
 倉庫台帳-使用項目

棚卸(T)

論理現品数

なし
 前回棚卸結果
 棚卸数初期値 初期値なし
 論理現品数を初期値にする
 開始時に選択する

変更した値を使用する

説明

OK キャンセル(C) 適用(A)

数量		
小数入力	選択ボタン	小数許可の場合は設定した小数桁で固定表示。小数禁止の場合は整数のみの表示ですが、途中で設定を変更して小数値が存在する場合は有効桁までを表示します。
小数桁	入力	数量の小数桁を設定します。
在庫管理		
通常品以外の在庫状態を拡張する	チェックボタン	通常品以外の在庫状態を標準の3種類(不良品・修理中・確保)より増やす場合にオンにします。オンにした在庫状態の項目名や背景色は項目名タブにて設定します。
使用項目		
品目コード	チェックボタン	画面に品目コードを表示するかどうかを設定します。伝票、在庫参照、履歴参照など、システム全体に作用します。
品目名2	チェックボタン	画面に品目名2を表示するかどうかを設定します。伝票、在庫参照、履歴参照など、システム全体に作用します。
品目台帳-予備項目	チェックボタン	品目台帳の予備項目1～10を表示するかどうかを設定します。

第7章 システム設定

品目台帳- 注意メッセージ	チェックボ タン	注意メッセージを表示するかどうかを設定します。
品目台帳- ロット入力	チェックボ タン	品目台帳のロット入力を表示するかどうかを設定します。
倉庫台帳- 使用項目	チェックボ タン	倉庫台帳の使用項目を表示するかどうかを設定します。
棚卸		
論理現品数	選択 ボタン	論理現品数（帳簿在庫数）の指定方法を選択します。
棚卸数初期値	選択 ボタン	棚卸開始時、論理現品数（帳簿在庫数）を棚卸数の初期値にするか どうかを指定します。「開始時に選択する」を指定すると棚卸開始時に選 択する画面が表示されます。
実棚入力を使 用する	チェックボ タン	PCでの実棚入力を使用するかどうかを設定します。

[3] 項目名

※ここで指定した名称がシステム全体の各画面で使用されます。

品目台帳		
Key コード	入力	Key コード項目の表示名称を変更します。
品目コード	入力	品目コード項目の表示名称を変更します。
品目名 1	入力	品目名 1 項目の表示名称を変更します。
品目名 2	入力	品目名 2 項目の表示名称を変更します。
予備項目 1 ~ 10	入力	予備項目 1 ~ 10 項目の表示名称を変更します。
明細		
ロット 1	入力	ロット 1 項目の表示名称を変更します。
ロット 2	入力	ロット 2 項目の表示名称を変更します。
ロケーション	入力	ロケーションの表示名称を変更します。
備考	入力	備考項目の表示名称を変更します。
トレース情報	入力	トレース情報の表示名称を変更します。
在庫状態		

第7章 システム設定

不良品	入力ボタン	在庫状態項目の [不良品] の表示名称及び背景色を変更します。
修理品	入力ボタン	在庫状態項目の [修理品] の表示名称及び背景色を変更します。
確保	入力ボタン	在庫状態項目の [確保] の表示名称及び背景色を変更します。
状態 4~9	入力ボタン	在庫状態項目の [状態 4]~[状態 9]の表示名称及び背景色を変更します。本設定はシステム運用タブで有効にした在庫状態のみ表示されます。
<p>※在庫状態の名称変更以前に作成された伝票データがある場合、変更後は新しい在庫状態名称で表示されます。但し、棚卸のデータについてのみ、変更前の在庫状態名称のまま残ります。</p> <p>※設定した背景色は詳細在庫参照画面や入力補助画面(在庫)で表示されます。</p>		

[4] 表示

システム設定

会社情報 システム運用 項目名 表示 入力 帳票 モバイル モバイル

画像ポップアップ

サムネイル画像表示の初期条件

画像ポップアップ画面

標準原単価表示

現場作業権限ユーザーも表示

説明

OK キャンセル(C) 適用(A)

画像ポップアップ		
サムネイル画像表示の初期条件	リスト	条件指定画面で「画像を表示する」チェックの初期値を設定します。
画像ポップアップ画面	リスト	サムネイル画像をクリック（またはタッチ）した際に表示されるポップアップ画面の内容を設定します。
原価表示	チェックボタン	画像ポップアップ画面が品目台帳情報の時、原価表示を含めるかどうかを設定します。
現場作業権限ユーザーも表示	チェックボタン	画像ポップアップ画面が品目台帳情報の時、現場作業権限ユーザーにも表示するかどうかを設定します。

[5] 入力

システム設定

自社情報 システム運用 項目名 表示 入力 帳票 モバイル モバイル

品目バーコード読み取り
標準検索項目 Keyコード

特殊品目バーコード読み取り(I)
 QRコード現品票
 独自バーコード

入力補助(I)

	形式	用途
日付入力 ロット1	なし	
ロット2	なし	

説明

OK キャンセル(C) 適用(A)

品目バーコード読み取り		
標準検索項目	リスト	システム運用タブの使用項目で品目コードが ON の時、品目バーコードを読んだ際の標準の検索項目を指定します。 詳しくは、「4 - 1 [2] モノに関する管理項目」をご覧ください。
特殊品目バーコード読み取り		
QRコード 現品票	チェックボ タン	QRコード現品票の対応について指定します。
独自バーコード	チェックボ タン	独自バーコードの対応について指定します。 標準検索項目が品目コードの場合、独自バーコード全体が品目コードと同一になる設定はできません。 詳しくは、「4 - 10 独自バーコード」をご覧ください。
入力補助		
日付入力	リスト	ロット1・ロット2を日付項目として使用する場合の形式と用途を指定します。 形式を設定すると、ロット入力時に指定の日付形式に整形します。 「なし」以外を指定した場合は、カレンダー形式の日付入力補助画面が使用可能となります。

		また、用途に「入荷日」を指定すると、PCとマルチデバイスオプションのQRコード現品票発行時に当日の日付が自動入力されます。
--	--	---

[6] 帳票

システム設定

自社情報 システム運用 項目名 表示 入力 帳票 モバイル モバイル

現品票発行

シリアル現品票を利用する 通し番号桁数 4

注意付き現品票を利用する

共通設定

明細書／現品票／品目台帳バーコード Keyコード

説明

OK キャンセル(C) 適用(A)

現品票発行		
シリアル現品票を利用する	チェックボタン	現品票発行画面において、シリアル現品票発行の有無を設定します。
通し番号桁数	入力	シリアルに含まれる通し番号の桁数を設定します。
注意付き現品票を利用する	チェック	注意付き現品票の利用の有無を設定します。
共通設定		
明細書／現品票／品目台帳バーコード	リスト	帳票の明細書や現品票、品目台帳で印字するバーコードの値を設定します。

[7] モバイル設定 (オプション)

モバイルオプションまたはマルチデバイスオプション加入時に有効となります。

メニュー選択		
棚卸	チェック ボタン	棚卸にメニュー表示の有無を設定します。
在庫参照	チェック ボタン	在庫参照にメニュー表示の有無を設定します。
使用項目		
ロット1	チェック ボタン	ロット1項目の使用を設定します。使用しない場合、モバイル機器ではロット1の表示・入力が無くなります。*1
ロット2	チェック ボタン	ロット2項目の使用を設定します。使用しない場合、モバイル機器ではロット2の表示・入力が無くなります。*1
ロケーション	チェック ボタン	ロケーション項目の使用を設定します。使用しない場合、モバイル機器ではロケーションの表示・入力が無くなります。*2
項目名		
品	入力	品目の項目名を設定します。
L1	入力	ロット1の項目名を設定します。
L2	入力	ロット2の項目名を設定します。

第7章 システム設定

棚卸設定		
棚卸設定	チェック ボタン	在庫状態の入力を自動でスキップするかどうかを選択します。 自動スキップの場合は、「通常品」が自動入力されます。

*1 倉庫台帳の使用項目-ロットが未使用の場合、ロットが非表示となります。

*2 倉庫台帳の使用項目-ロケーションが未使用の場合、ロケーションが非表示となります。

[8] モバイル（拡張）（オプション）

マルチデバイスオプション加入時に有効となります。

キー取込時の処理		
流通バーコード自動判定を有効にする	チェックボタン	流通バーコード自動判定を行うかどうかを指定します。
直接取込時の処理 UPC-A		
先頭に"0"を付加する	チェックボタン	UPC-A 読み取り時、先頭に 0 を付加する場合にチェックします。
直接取込時の処理 CODE39		
チェックデジットの照合を有効にする	チェックボタン	CODE39 読み取り時、チェックデジットの照合を行うかどうかを設定します。
読み取りデータからチェックデジットを取り除く	チェックボタン	チェックデジットの照合を行う場合、読み取りデータからチェックデジットを取り除くかどうかを設定します。
品目バーコード取込後 専用検索項目の利用		
品目台帳-JAN/UPC	チェックボタン	専用検索項目 JAN/UPC を利用する場合にチェックします。

第7章 システム設定

品目台帳-ITF/GS1 (GTIN-14)	チェックボタン	専用検索項目 ITF/GS1 を利用する場合にチェックします。
インジケータ違いも検索する	チェックボタン	上記「品目台帳-ITF/GS1(GTIN-14)」有効時、ITF/GS1(GTIN-14)に一致する品目が無い場合に異なる梱包インジケータの品目も検索します。
品目バーコード取込後 標準検索項目の自動切換		
CODE128	リスト	特定の種類のバーコードに対して、標準検索項目を自動的に切り替える場合に設定します。
JAN/UPC	リスト	
ITF	リスト	
表示項目		
注意メッセージ	チェックボタン	注意メッセージ(共通)を表示するかどうかを設定します。
自動ログアウト		
ログアウト時間	リスト	無操作の状態で自動ログアウトするまでの時間を選択します。
Android 端末 動作設定		
[参照・設定]*1	—	通常はカメラアイコン表示、数量入力時のソフトウェアキー自動起動が有効です。ハンディターミナルの場合は、これらの動作を変更することで快適にご使用いただけるようになります。 1 件以上設定するとボタンの右に設定数を表示します。

ヒント!

キー取込、直接取込については、「4 - 3 [1] 2つのバーコード取込方式とバーコード種による検索項目の指定」をご覧ください。

第7章 システム設定

- *1 Android 端末 動作設定の[参照・設定]ボタン押下で
Android 端末 動作設定画面が表示されます。

設定内容		
モデル	入力(必)	Android 端末のモデルの名称を指定します。
カメラアイコン表示	チェックボタン	ハンディターミナルは、カメラでの読み取りが不要なため OFF にします。
数量入力ソフトウェアキー自動起動	チェックボタン	数字のテンキーボタンのあるハンディターミナルは OFF にします。
フッターメニュー背景色	表示	フッターメニューの背景色を設定します。(フッターメニューの左から順に 1～4) [色変更]ボタン押下またはセルをダブルクリックして背景色の変更が可能です。
[追加]	—	新しい行を末尾に追加します。
[削除]	—	選択されている行を削除します。
[色変更]	—	フッターメニューの背景色を変更する際に使用します。

ヒント！

モデルの名称は、マルチデバイスオプション Android アプリの設定・確認＞デバイス情報で確認できます。

[9] 権限

システム設定

項目名 表示 入力 帳票 モバイル モバイル(拡張) 権限

現場作業権限

追加機能 ストレージ画像メンテナンス

仕入先担当者権限

仕入先別最大ユーザー数 1

機能 現品票発行 品目入力補助 在庫入力補助

説明

OK キャンセル(C) 適用(A)

現場作業権限		
ストレージ画像 メンテナンス	チェック ボタン	画像ストレージオプション加入時のみ表示されます。 現場作業員に対しストレージ画像メンテナンスを許可する場合にチェックし ます。
仕入先担当者権限		
仕入先別最大 ユーザー数	入力	1つの仕入先に対する最大ユーザー数を設定します。
品目入力補助	チェック ボタン	仕入先担当者に対し品目入力補助の利用について設定します。
在庫入力補助	チェック ボタン	仕入先担当者に対し在庫入力補助の利用について設定します。

7-2 その他管理者設定

在庫スイートクラウドの運用前に必要に応じて設定するのが、その他管理者設定です。

メニューの [ツール] [その他管理者設定] から設定画面が起動します。

[IP アドレス制限設定] があります。

本機能を利用するには、システム管理者権限が必要です。

[1] IP アドレス制限設定

IP アドレス制限を設定すると、本サービスへのアクセスを自社のネットワークだけに許可し、社外からのアクセスを遮断できます。グローバル IP アドレスは、複数指定できます。

IPアドレス制限設定

IPアドレス制限を有効にする

許可IPアドレス範囲

現在のクライアントIPアドレス: xxx.xxx.xxx.xxx +

備考	開始IPアドレス	終了IPアドレス
拠点A	xxx.xxx.xxx.xxx	xxx.xxx.xxx.xxx
▶ 拠点B	yyy.yyy.yyy.yyy	yyy.yyy.yyy.yyy

追加(A)

削除(D)

説明

許可するIPアドレスの範囲を入力します。行の追加・削除はボタンで行います。備考欄には任意の文字列を設定できます(○○倉庫固定IPJなど)。

OK キャンセル(C) 適用

ヒント!

バックアップファイルをリストアしても IP アドレス制限設定は (バックアップを取った時の設定ではなく) 従来設定が引継がれます。

7-3 ユーザー別設定

ユーザー毎に行う設定があります。

メニューの [ツール] から [ユーザー別設定] を選ぶと、設定画面が起動します。

[1] 最大表示件数

ユーザー毎に各画面で表示できる最大件数を設定できます。

最大件数が多いと検索結果が大量にあった場合、動作が遅くなります。

利用する PC のスペックや通信スピードなどに応じて適宜設定してください。

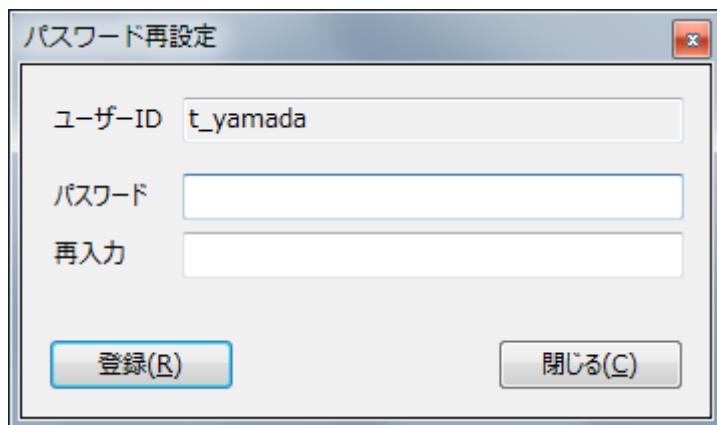
最大表示件数		
台帳一覧	入力	最大 1,000,000 件まで設定可能です。
在庫参照	入力	最大 3,000 件まで設定可能です。

ヒント!

最大表示件数を超えた場合は、メッセージを表示し可能な範囲で表示します。

[2] パスワード再設定

ユーザーは自身のパスワードを変更することができます。
必要に応じて適宜変更してください。



パスワード再設定		
パスワード	入力	新たなパスワードを入力します。
再入力	入力	新たなパスワードを再度入力します。

ヒント!

パスワードを忘れてしまいログインできない場合は、システム管理者権限をもつユーザーが対象ユーザーのパスワードを再設定してください。
なお、パスワードの再設定は、ユーザー台帳画面から行います。

株式会社 インフュージョン

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-3-8 KDX 新横浜ビル

Tel 045-472-0938

在庫スイートクラウド 棚卸 本体マニュアル

2024年02月07日 第5.5版

本書に掲載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本製品はグレープシティ株式会社の FlexGrid for .NET・ActiveReports for .NET を使用しています。

FlexGrid for .NET Copyright (C) 2007 ComponentOne LLC.

ActiveReports for .NET Copyright (C) 2007 DataDynamics, Ltd.